

現行(第3次計画)

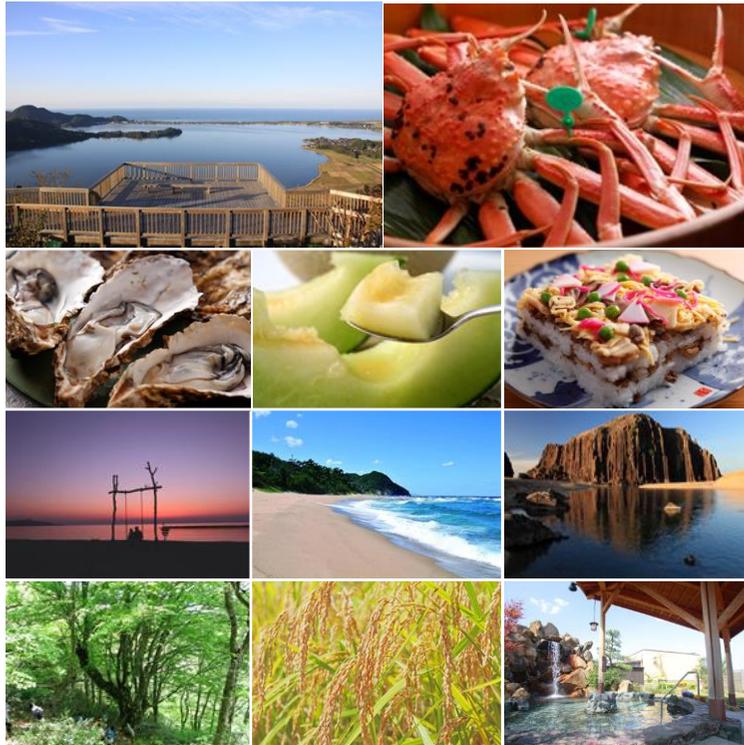
改正案(第4次計画)

変更理由等

第3次京丹後市観光振興計画

“旬”でもてなす食のまち

ジオの魅力あふれる「滞在型観光地」へ



平成30年3月
京丹後市



第4次京丹後市観光振興計画
彩り・味わい京丹後
海・森・里山 つながりの郷



令和 年月
京丹後市

※軽微な文言修正又は単純な時点修正による変更については、コメントを省略しています。

コンセプト変更に伴う修正

現 行 (第3次計画)	改正案 (第4次計画)	変更理由等
市長あいさつ	市長あいさつ	

現 行 (第3次計画)		改正案 (第4次計画)		変更理由等
< 目 次 >		< 目 次 >		
序章 計画策定の概要		序章 計画策定の概要		
1 計画の目的	1	1 計画の趣旨	1	
2 計画の位置づけ	2	2 計画の位置づけ	2	
3 計画策定の背景	4	3 計画策定の背景	3	
4 計画概要	7	4 計画概要	9	
5 計画の策定及び推進の体制	8	5 計画の策定及び推進の体制	10	
第1章 現状と課題		第1章 現状と課題		
1 観光の現状	9	1 観光の現状	9	
2 観光の課題及び対策の方向性	23	2 観光の課題及び対策の方向性	20	
第2章 将来ビジョン		第2章 将来ビジョン		
1 コンセプト	25	1 コンセプト	22	
2 目標数値	25	2 目標数値	22	
3 基本方針と基本戦略	26	3 基本方針と基本戦略	23	
第3章 戦略プロジェクト		第3章 <u>アクションプロジェクト</u>		戦略プロジェクトからア クションプロジェクトへ 変更
1 戦略プロジェクト	28	1 <u>アクションプロジェクト</u>	25	
2 エリア別目標・地域別プロジェクト	38	2 エリア別目標・地域別プロジェクト	31	
<参考資料>		<参考資料>		
1 京丹後市観光立市推進条例及び同条例施行規則	42	1 京丹後市観光立市推進条例及び同条例施行規則	35	
2 計画策定の経緯	48	2 <u>京丹後市安全で安心な市民生活と観光立市のための新型 コロナウイルス感染症等対策条例</u>	41	新型コロナウイルス感染 症等対策条例を追加
3 観光の現状データ	50	3 計画策定の経緯	43	
4 第2次京丹後市観光振興計画の主な実績及び成果・課題	63	4 観光の現状データ	45	
5 主要観光資源一覧	72	5 第3次京丹後市観光振興計画の主な実績及び成果・課題	57	
6 第2次京丹後市総合計画・基本計画（抜粋）	78	6 主要観光資源一覧	58	
7 「海の京都観光圏」計画概要	93	7 第2次京丹後市総合計画・基本計画（抜粋）	64	
8 「海の京都」京丹後市マスタープラン	94			削除 削除

現 行 (第3次計画)	改正案 (第4次計画)	変更理由等
<p>9 <u>観光関連事業の補助制度</u>・関係法令 102</p>	<p><u>8</u> 関係法令 76</p>	<p>補助制度削除</p>

現 行 (第3次計画)	改正案 (第4次計画)	変更理由等
序章 計画策定の概要	序章 計画策定の概要	
<p>1 計画の<u>目的</u></p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>	<p>1 計画の<u>趣旨</u></p> <p><u>観光は、グローバル化する社会経済のもと地方創生の重要なテーマで、地域の経済から文化に至るまで多様な波及効果を生むことから、まちづくりの原動力となっています。このため、本市の個性を活かして持続的に発展できる観光の将来を構築していくことが望まれます。</u></p> <p><u>第4次京丹後市観光振興計画は、引き続き「京丹後市観光立市推進条例」に基づき、これまでの本市観光振興計画の経緯を踏まえ、国内外の社会経済の変化、観光市場の動向などを理解した上で、本市の観光の現状と課題を整理し、市、市民、観光事業者、観光関係団体等が、「観光立市の実現」という共通の目的に向かって総合的かつ計画的に取り組むための施策の内容を明らかにします。</u></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p><u>○京丹後市観光立市推進条例 (平成21年京丹後市条例第18号)</u></p> <p><u>(目的)</u></p> <p><u>第1条 この条例は、観光立市を実現するための基本理念を定め、市の責務並びに市民、観光事業者及び観光関係団体の役割を明らかにするとともに、観光立市の実現に関する施策の基本となる事項を定めることにより、その施策を総合的かつ計画的に推進し、もって活力ある地域づくり、交流人口の拡大、本市経済の持続的な発展及び市民生活の向上に資することを目的とする。</u></p> <p><u>(京丹後市観光振興計画)</u></p> <p><u>第8条 市長は、観光立市の実現に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、京丹後市観光振興計画（以下「振興計画」という。）を定めなければならない。</u></p> <p><u>2 振興計画には、次に掲げる事項を定めるものとする。</u></p> <p><u>(1) 観光立市の実現に関する施策についての基本的な方針</u></p> <p><u>(2) 観光立市の実現に関する目標</u></p> <p><u>(3) 観光立市の実現に関し、市が総合的かつ計画的に講じるべき施策</u></p> <p><u>(4) 前3号に掲げるもののほか、観光立市の実現に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項</u></p> </div>	<p>計画の「目的」を「趣旨」に変更</p> <p>第3次計画の本ページ部分「目的」は、“概況”と“趣旨”で構成されているが、第4次計画では、“概況”についてはP8（計画案）で後述することとし、ここでは“趣旨”のみを記述する。</p>

現 行 (第3次計画)	改正案 (第4次計画)	変更理由等
<p>【参考】京丹後市観光立市推進条例</p> <p><u>この条例は、観光立市を実現するための基本理念を定め、市の責務及び市民、観光事業者、観光関係団体の役割を明らかにするとともに、観光立市の実現に関する施策の基本となる事項を定めたもので、京丹後市議会（観光振興条例調査特別委員会）により提案され、平成21年4月1日に施行されました。</u></p> <p>※京丹後市観光立市推進条例の全文は「参考資料」を参照</p> <p>2 計画の位置づけ</p> <p>(1) 関連計画などとの整合性</p> <p>○ 観光立国推進基本法・観光立国推進基本計画【国】</p> <p>平成19年1月に施行された「観光立国推進基本法」に基づき、観光立国の実現に関する諸施策の総合的かつ計画的な推進を図るために策定された「観光立国推進基本計画」（平成24年3月策定_____）の基本的な方針（以下のとおり）との整合を図ります。</p> <p>_____</p> <div data-bbox="134 810 891 1024" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(1) 国民経済の発展—観光が、日本経済を牽引し、地域を再生する—</p> <p>(2) 国際相互理解の増進—観光が、真に開かれた国をつくる—</p> <p>(3) 国民生活の安定向上—観光が、明日への活力を生む—</p> <p>(4) 災害、事故等のリスクへの備え</p> <p style="text-align: center;">—安全・安心な観光の実現と東北の観光復興—</p> </div> <p>○ 「明日の日本を支える観光ビジョン」—世界が訪れたい日本へ—【国】</p> <p>「観光先進国」の実現に向け策定された「明日の日本を支える観光ビジョン」（平成28年3月策定）の3つの視点（以下のとおり）との整合を図ります。</p> <div data-bbox="183 1225 945 1369" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>視点1 観光資源の魅力を極め、地方創生の礎に</p> <p>視点2 観光産業を革新し、国際競争力を高め、我が国の基幹産業に</p> <p>視点3 すべての旅行者が、ストレスなく快適に観光を満喫できる環境に</p> </div>	<p>2 計画の位置づけ</p> <p>(1) 関連計画などとの整合性</p> <p>○ 観光立国推進基本法・観光立国推進基本計画【国】</p> <p>平成19年1月に施行された「観光立国推進基本法」に基づき、観光立国の実現に関する諸施策の総合的かつ計画的な推進を図るために策定された「観光立国推進基本計画」（平成24年3月策定、平成29年4月変更）の基本的な方針_____との整合を図ります。</p> <p>※現在、策定中</p> <div data-bbox="1088 810 1859 1024" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p><削除></p> </div> <p>_____</p> <p>_____</p> <div data-bbox="1088 1225 1859 1369" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p><削除></p> </div>	<p>基本的な方針を削除</p> <p>現在、国で計画を策定中であるため、整合は図るが、基本的な方針に見直しが入る可能性があるため削除</p> <p>明日の日本を支える観光ビジョンを削除</p> <p>新たな観光立国推進基本計画に基づき、明日の日本を支える観光ビジョンに見直しが入る可能性があるため削除</p>

現 行 (第3次計画)	改正案 (第4次計画)	変更理由等
<p>〇 海の京都観光圏整備実施計画・「海の京都」観光地域づくり戦略【海の京都DMO】 「海の京都」を構成する北部7市町を圏域とする「海の京都観光圏整備実施計画」（平成26年7月国認定）と「『海の京都』観光地域づくり戦略」（平成29年策定）のコンセプト（以下のとおり）、目標及び事業との整合を図ります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「海の京都」 『天地山海にいきづく和の源流』</p> </div> <p>〇 京丹後市まちづくり基本条例【京丹後市】 平成20年に施行された、「京丹後市まちづくり基本条例」に定められている、まちづくりを進めていくうえでの基本的な考え方やルールとの整合を図ります。</p> <p>〇 第2次京丹後市総合計画【京丹後市】 平成29年3月に策定した「第2次京丹後市総合計画・基本計画」に定められている「5つの重点項目」（以下のとおり）及び「施策4 滞在型観光・スポーツ観光の促進」の内容との整合を図ります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>《1》【地域づくり】地域が元気に“輝く”、市民主役のまち 《2》【ひとづくり】若者が希望に“輝く”、「おもろい」まち 《3》【ものづくり】“輝く” 匠の技と資源が集積するまち 《4》【魅力づくり】“輝く” 豊富な「食材」を活かしたまち 《5》【基盤づくり】“輝く” 未来に、社会の基盤を築くまち</p> </div>	<p>〇 「持続可能な開発のための2030 アジェンダ」【国】 平成27年に国連サミットで採択され、国際社会全体の目標として、令和12年までに達成を目指す必要がある「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals=SDGs）」との整合を図ります。</p> <p>〇 海の京都観光圏整備__計画・「海の京都」観光地域づくり戦略【海の京都DMO】 「海の京都」を構成する北部7市町を圏域とする「海の京都観光圏整備__計画」（平成31年1月国認定）と「『海の京都』観光地域づくり戦略」（平成29年策定）の__目標及び事業との整合を図ります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>『天地山海にいきづく和の源流』</p> </div> <p>〇 京丹後市まちづくり基本条例【京丹後市】 平成20年に施行__した、「京丹後市まちづくり基本条例」に定められている、まちづくりを進めていくうえでの基本的な考え方やルールとの整合を図ります。</p> <p>〇 第2次京丹後市総合計画【京丹後市】 令和3年2月に策定した「第2次京丹後市総合計画・基本計画」に定められている「4つの重点プロジェクト」（以下のとおり）及び「施策4 滞在型観光・スポーツ観光の促進」の内容との整合を図ります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>《1》【かせぐ】多彩な産業・地域経済の成長・発展へ“かせぐ”地方創生プロジェクト” 《2》【はぐくむ】まちの将来を担う“未来人材育成プロジェクト” 《3》【ささえる】安全・安心で誰ひとり置き去りにしない “支え合いのまちづくりプロジェクト” 《4》【つなぐ】まちの「宝」を“未来につなぐプロジェクト”</p> </div>	<p>持続可能な開発のための2030 アジェンダ追加</p> <p>時点修正及びコンセプト修正</p> <p>総合計画の見直しに伴う変更部分を修正</p>

現 行 (第3次計画)	改正案 (第4次計画)	変更理由等
<p>○ 京丹後『食の王国』のまちづくり宣言に関する決議 平成28年3月に京丹後市議会で決議された「京丹後『食の王国』のまちづくり」宣言との整合を図ります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 一、京丹後の食と地域を誇りに思う心を育みます。 一、地元の安心・安全な農水産品の地産地消に努めます。 一、京丹後の「食」を国内外に発信します。 一、食によるおもてなしで、京丹後市の魅力を高めます。 一、調和のとれた食生活の実践に励み、健康長寿のまちづくりに努めます。 一、豊かな食を生かしたまちづくりに努めます。 </div> <p>3 計画策定の背景</p> <p>(1) 観光政策の動向</p> <p>① 「観光」は、地域づくりの基本的なテーマで、地方創生の「キーワード」 <u>「観光」の語源は、中国の古い書物によると「国の光を観る」と記されています。観光の「光」とは、景色の意味ではなく、国や地域が持つ光、文化や芸術などの様々な魅力を観ることであり、地域の側からは「魅力ある資源を発見し、磨き上げ、観てもらふ知恵」のことであり、観光は旅人が他の地域を訪ね、その地域にしかない、その地域にだけある知恵と工夫を観ることが本来の意味です。観光は物見遊山の遊びではなく、地域振興の永遠のテーマであることが、古い時代の書物からも推察されます。</u> <u>特に近年では、少子高齢化による人口減少と地域産業の衰退が著しい地方の創生には、「観光」がカギを握る重要な課題となっています。</u></p> <p>② 「観光」は国の基幹産業として位置づけられ、国際観光が注目 <u>先進諸国やアジア地域の近隣諸国では、観光産業は国家にとって重要な基幹産業と位置づけられ、国策として、組織的には観光省の設立のもと、強力な施策が展開されています。特に、アジア地域は、世界の観光産業をリードする観光需要が急速に拡大しており、世界が国際観光に注目しています。</u></p>	<p>○ 京丹後『食の王国』のまちづくり宣言に関する決議 平成28年3月に京丹後市議会で決議された「京丹後『食の王国』のまちづくり」宣言との整合を図ります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 一、京丹後の食と地域を誇りに思う心を育みます。 一、地元の安心・安全な農水産品の地産地消に努めます。 一、京丹後の「食」を国内外に発信します。 一、食によるおもてなしで、京丹後市の魅力を高めます。 一、調和のとれた食生活の実践に励み、健康長寿のまちづくりに努めます。 一、豊かな食を生かしたまちづくりに努めます。 </div> <p>3 計画策定の背景</p> <p>(1) 観光政策の動向</p> <p>① <u>観光は地方創生に不可欠の課題 ～交流の拡大で豊かさを実感できる地域を実現～</u> <u>観光は、「国の光を観る」という中国の古典に記された言葉です。「光を観る」という語源のため、物見遊山な“Sightseeing”の意味合いがありますが、本来の意味は「国がもつ光（国や地域が持つ文化など様々な魅力）に触れ、学び、体験すること“Tourism”であり、地域がこの魅力を発見し、磨き、知恵と工夫をもって観てもらふことで地域が豊かになること」を意味します。特に、少子高齢化、地場産業の衰退が著しい地方の創生には、地域資源を活用し交流人口を増やす「観光」への取組が不可欠となっています。</u></p> <p>② <u>観光は国の基幹産業、観光立国は国民の幸せを追求する課題</u> <u>観光は国の基幹産業として位置づけられ、先進諸国は観光省の設立の下、国民の休暇取得を社会制度化して幸せを保障することによって豊かなライフスタイルを構築するとともに、国際観光に積極的に取り組んでいます。今後、わが国を含む東アジア地域は国際観光需要の急速な進展がみられ、世界はこの市場に注目していますが、国民が豊かに暮らす幸せな国づくりが進まない観光立国の実現は難しいと考えられます。</u></p>	<p>よりわかりやすくなることを目的に、文章表現を修正</p> <p>第3次計画の②③を合わせて時点修正</p>

◆旅行・観光開発指数※トップ10 世界経済フォーラム（ダボス会議）2022年6月発表

1位	日本（初）	6位	スイス
2位	アメリカ	7位	オーストラリア
3位	スペイン	8位	イギリス
4位	フランス	9位	シンガポール
5位	ドイツ	10位	イタリア

④ 環境に配慮した観光地づくり

ア 環境対策等に対応した周遊への配慮

グリーンスローモビリティ、水素バス、EVバス、観光Ma a S※、自動車のEV化などにより、環境に配慮した周遊観光への対応が求められています。

イ 環境に優しい宿泊施設等

選ばれる宿泊施設は、感染対策、省エネ対策がなされることはもとより、再生資源を活用したアメニティグッズ、環境に配慮したシャンプー・リンス、持参型のタオル・歯ブラシ、ごみの対応など詳細な環境への配慮が求められています。

ウ 有機の地域食材を活用した環境の保全

宿泊施設、飲食施設で提供される食材は、地産地消を原則に自然に優しいオーガニックの素材、調理手法により提供されることが重視されます。また、食材の廃棄をなくして食料ロスにも対応する必要があります。

オーガニックの原理 IFOAM（国際有機農業運動連盟）

- Health（健康）：生産者の健康、田畑の土壌（微生物や虫も含む）の健康、育てる作物の健康、家畜の健康オーガニック生産地周辺の自然環境の健康
- Ecology（自然との調和）：生態系のバランス
- Fairness（公正）：人間の働く環境や待遇にも配慮
- Care（健康な社会）：未来を見据えた、次世代への思いやり

（4）観光活動の動向

① 求められる「オンリーワン」の観光

どこにでもある観光商品や土産物、一時のイベントは継続せず、そこにしかない資源を活かした商品を提供する「オンリーワン」の観光が求められるようになっていきます。地産地消による、そこにしかない「食」の提供も重要なテーマです。

第3次計画「観光活動の動向」は、第4次計画「観光市場の動向」に移行

現 行 (第3次計画)	改正案 (第4次計画)	変更理由等																										
	<p style="text-align: center;"><u>京丹後市の観光を取り巻く取組等の経緯</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%; text-align: center;">年</th> <th style="text-align: center;">主なトピック</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成20年</td> <td>京丹後市観光協会発足</td> </tr> <tr> <td>平成21年</td> <td>・京丹後市観光立市推進条例制定 ・第1次京丹後市観光振興計画「極上のふるさと観光づくり」策定</td> </tr> <tr> <td>平成22年</td> <td>山陰海岸ジオパーク認定</td> </tr> <tr> <td>平成25年</td> <td>・北部7市町が連携する「海の京都」事業がスタート ・第2次京丹後市観光振興計画「極上のふるさと観光づくり」策定</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>海の京都観光圏整備実施計画を国が認定</td> </tr> <tr> <td>平成27年</td> <td>・海の京都博開催 ・山陰海岸ジオパークが「ユネスコ世界ジオパーク」に認定 ・京都縦貫自動車道が全線開通 ・ふるさと納税スタート</td> </tr> <tr> <td>平成28年</td> <td>・海の京都DMOが発足 ・山陰近畿自動車道「京丹後大宮インターチェンジ」まで延伸</td> </tr> <tr> <td>平成29年</td> <td>300年を紡ぐ絹が織りなす丹後ちりめん回廊 日本遺産認定</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>第3次京丹後市観光振興計画「“旬”でもてなす食のまち」策定</td> </tr> <tr> <td>令和元年</td> <td>京丹後市観光公社（一般社団法人 京都府北部地域連携都市圏振興社 京丹後地域本部 以下、「京丹後市観光公社」という）設立</td> </tr> <tr> <td>令和2年</td> <td>・新型コロナウイルス感染症の影響始まる ・京丹後市安全で安心な市民生活と観光立市のための新型コロナウイルス感染症等対策条例の制定 ・新型コロナウイルス感染症対策事業展開</td> </tr> <tr> <td>令和3年</td> <td>新型コロナウイルス感染症対策事業継続</td> </tr> </tbody> </table>	年	主なトピック	平成20年	京丹後市観光協会発足	平成21年	・京丹後市観光立市推進条例制定 ・第1次京丹後市観光振興計画「極上のふるさと観光づくり」策定	平成22年	山陰海岸ジオパーク認定	平成25年	・北部7市町が連携する「海の京都」事業がスタート ・第2次京丹後市観光振興計画「極上のふるさと観光づくり」策定	平成26年	海の京都観光圏整備実施計画を国が認定	平成27年	・海の京都博開催 ・山陰海岸ジオパークが「ユネスコ世界ジオパーク」に認定 ・京都縦貫自動車道が全線開通 ・ふるさと納税スタート	平成28年	・海の京都DMOが発足 ・山陰近畿自動車道「京丹後大宮インターチェンジ」まで延伸	平成29年	300年を紡ぐ絹が織りなす丹後ちりめん回廊 日本遺産認定	平成30年	第3次京丹後市観光振興計画「“旬”でもてなす食のまち」策定	令和元年	京丹後市観光公社（一般社団法人 京都府北部地域連携都市圏振興社 京丹後地域本部 以下、「京丹後市観光公社」という）設立	令和2年	・新型コロナウイルス感染症の影響始まる ・京丹後市安全で安心な市民生活と観光立市のための新型コロナウイルス感染症等対策条例の制定 ・新型コロナウイルス感染症対策事業展開	令和3年	新型コロナウイルス感染症対策事業継続	<p>第3次計画P23の「京丹後市の観光を取り巻く主な出来事」は、第4次計画では、「京丹後市の観光を取り巻く取組等の経緯」として、年表形式（ダイジェスト）で記載</p>
年	主なトピック																											
平成20年	京丹後市観光協会発足																											
平成21年	・京丹後市観光立市推進条例制定 ・第1次京丹後市観光振興計画「極上のふるさと観光づくり」策定																											
平成22年	山陰海岸ジオパーク認定																											
平成25年	・北部7市町が連携する「海の京都」事業がスタート ・第2次京丹後市観光振興計画「極上のふるさと観光づくり」策定																											
平成26年	海の京都観光圏整備実施計画を国が認定																											
平成27年	・海の京都博開催 ・山陰海岸ジオパークが「ユネスコ世界ジオパーク」に認定 ・京都縦貫自動車道が全線開通 ・ふるさと納税スタート																											
平成28年	・海の京都DMOが発足 ・山陰近畿自動車道「京丹後大宮インターチェンジ」まで延伸																											
平成29年	300年を紡ぐ絹が織りなす丹後ちりめん回廊 日本遺産認定																											
平成30年	第3次京丹後市観光振興計画「“旬”でもてなす食のまち」策定																											
令和元年	京丹後市観光公社（一般社団法人 京都府北部地域連携都市圏振興社 京丹後地域本部 以下、「京丹後市観光公社」という）設立																											
令和2年	・新型コロナウイルス感染症の影響始まる ・京丹後市安全で安心な市民生活と観光立市のための新型コロナウイルス感染症等対策条例の制定 ・新型コロナウイルス感染症対策事業展開																											
令和3年	新型コロナウイルス感染症対策事業継続																											

現 行 (第3次計画)	改正案 (第4次計画)	変更理由等
<p>4 計画概要</p> <p>(1) 計画の役割・期間・意義</p> <p>① 計画の役割 京丹後市観光立市推進条例の趣旨に基づき、観光立市の実現に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための具体的な取組として策定<u>しました。</u></p> <p>② 計画の期間 5年間 (平成30年度～ 34年度) とし、5年ごとに見直します。</p> <p>③ 計画の意義</p> <p>○ 第3次計画は、第2次計画の実績や_____環境の変化を踏まえて、市、観光関係団体、観光事業者、市民などがその内容を十分認識し、<u>「観光立市の実現」</u>という目標に向かって、さらにそれぞれの立場で実行するものです。</p> <p>○ 第3次計画では、上位計画である「第2次京丹後市総合計画・基本計画」の「<u>5つの重点項目</u>」を踏まえ、<u>新たに「旬」でもてなす食の観光</u>を柱としたコンセプトを掲げます。</p> <p>(2) 明らかにすべき計画の内容</p> <p>① 京丹後市の観光の現状と課題を明らかにします。</p> <p>○ 観光入込客数と観光形態、観光施設などの利用状況、特徴的な観光資源など、現状を明らかにします。</p> <p>○ 観光の課題及び対策の方向性を明らかにします。</p> <p>② 将来ビジョンを明らかにします。</p> <p>○ 観光振興のコンセプトを明らかにします。</p> <p>○ 将来の目標数値を明らかにします。</p> <p>○ 基本方針と、それらに基づく基本戦略を明らかにします。</p> <p>③ 実行性のある「<u>戦略プロジェクト</u>」を明らかにします。</p> <p>○ 基本方針と基本戦略に基づく、「戦略プロジェクト」を明らかにします。</p> <p>○ 地域の現状と特色を活かした「エリア別目標・地域別プロジェクト」を明らかにします。</p>	<p>4 計画概要</p> <p>(1) 計画の役割・期間・意義</p> <p>① 計画の役割 京丹後市観光立市推進条例の趣旨に基づき、観光立市の実現に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための具体的な取組として策定_____するものです。</p> <p>② 計画の期間 5年間 (令和5年度から令和9年度) とし、5年ごとに見直します。</p> <p>③ 計画の意義</p> <p>○ 第4次計画は、第3次計画の実績や<u>新型コロナウイルス感染症等に伴う環境の変化</u>を踏まえて、市、観光関係団体、観光事業者、市民などがその内容を十分認識し、<u>「観光立市の実現」</u>という目標に向かって、さらにそれぞれの立場で実行するものです。</p> <p>○ 第4次計画では、上位計画である「第2次京丹後市総合計画・基本計画」の「<u>4つの重点プロジェクト</u>」を踏まえ、_____「<u>彩り・味わい京丹後 海・森・里山 つながりの郷</u>」を_____コンセプトに掲げます。</p> <p>(2) 明らかにすべき計画の内容</p> <p>① 京丹後市の観光の現状と課題を明らかにします。</p> <p>○ 観光入込客数と観光形態、観光施設などの利用状況、特徴的な観光資源など、現状を明らかにします。</p> <p>○ 観光の課題及び対策の方向性を明らかにします。</p> <p>② 将来ビジョンを明らかにします。</p> <p>○ 観光振興のコンセプトを明らかにします。</p> <p>○ 将来の目標数値を明らかにします。</p> <p>○ 基本方針と、それらに基づく基本戦略を明らかにします。</p> <p>③ 実行性のある「<u>アクションプロジェクト</u>」を明らかにします。</p> <p>○ 基本方針と基本戦略に基づく、「<u>アクションプロジェクト</u>」を明らかにします。</p> <p>○ 地域の現状と特色を活かした「エリア別目標・地域別プロジェクト」を明らかにします。</p>	<p>計画期間変更</p> <p>コンセプト変更</p>

現 行 (第3次計画)	改正案 (第4次計画)	変更理由等
<p>④ 第2次計画の見直し項目等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 計画の構成を簡素化するなど、より分かりやすい計画にします。 ○ 「目標数値」には、<u>滞在型観光を重視するため、「観光消費額」等</u> <u>の新たな指標を加えます。</u> ○ <u>第2次計画に定められていた具体的な事業の提案「アクションプラン」に代わり、</u> <u>戦略の内容を整理した「戦略プロジェクト」を示します。</u> ○ <u>第2次計画に定められていた旧6町ごとの「地域別計画」は、「海岸エリア」と「里</u> <u>山エリア」に分け、それぞれの特色と取組の方向性を整理した「エリア別の目標・地域</u> <u>別プロジェクト」として整理します。</u> <p>5 計画の策定及び推進の体制</p> <p>(1) 検討組織</p> <p>京丹後市観光立市推進条例に基づき京丹後市観光立市推進会議を設置し、第2次計画の進捗状況の確認及び第2次計画の見直しについて協議・検討を行いました。また、京丹後市観光立市推進会議には、検討部会を設け、見直しの考え方、内容などについて審議・検討を行いました。</p> <p>※京丹後市観光立市推進会議の設置、組織などについては、参考資料「京丹後市観光立市推進条例及び同条例施行規則」「計画策定の経緯」を参照</p> <p>(2) 第3次計画の推進及び見直し</p> <p>必要に応じて京丹後市観光立市推進会議において、第3次計画の推進についての確認を行うとともに、社会・経済情勢の変化に的確かつ柔軟に対応できるよう、第3次計画の見直しについて検討し、改正を行います。</p>	<p>④ 第3次計画の見直し項目等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 計画の構成を簡素化するなど、より分かりやすい計画にします。 ○ 「目標数値」には、<u>通年型観光を推進するため、「再来訪意向率」、「宿泊者数平準化率」の新たな指標に変更します。</u> <p>○ 第3次計画に定められていた<u>「海岸エリア」と「里山エリア」に加え、それぞれ</u> <u>をつなぐ新たな概念として、「グリーンベルト」を定義づけします。</u></p> <p>5 計画の策定及び推進の体制</p> <p>(1) 検討組織</p> <p>京丹後市観光立市推進条例に基づき京丹後市観光立市推進会議を設置し、第3次計画の進捗状況の確認及び第3次計画の見直しについて協議・検討を行いました。また、京丹後市観光立市推進会議には、検討部会を設け、見直しの考え方、内容等<u>の審議・検討</u>を行いました。</p> <p>※京丹後市観光立市推進会議の設置、組織などについては、参考資料「京丹後市観光立市推進条例及び同条例施行規則」「計画策定の経緯」を参照</p> <p>(2) 第4次計画の推進及び見直し</p> <p>必要に応じて京丹後市観光立市推進会議において、第4次計画の推進についての確認を行うとともに、社会・経済情勢の変化に的確かつ柔軟に対応できるよう、第4次計画の見直しについて検討し、改正を行います。</p>	<p>目標数値を「再来訪意向率」「宿泊者数平準化率」に変更</p> <p>グリーンベルトを新たに定義づけ</p>

現行(第3次計画)	改正案(第4次計画)	変更理由等
<p style="text-align: center;">第1章 現状と課題</p> <p>1 観光の現状</p> <p>(1) 概況</p> <p>① 「京丹後市」の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市制施行 平成16年4月1日 ○ 面積 501.43平方キロメートル ○ 人口 55,851人(平成30年1月末現在:住民基本台帳による) <p>京丹後市は日本列島のほぼ中央、京都府北部の日本海に面する位置にあり、<u>「ユネスコ世界認定」を受けている「山陰海岸ジオパーク」の美しい海岸線や四季の表情豊かな自然、豊富な温泉、新鮮な魚介類やお米、果物など海や山の幸、そして歴史と伝説、文化にあふれ、あらゆる観光資源に恵まれています。</u></p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <p>② アクセス状況</p> <p>京都縦貫自動車道の全線開通(平成27年)、山陰近畿自動車道「京丹後大宮インターチェンジ」供用開始(平成28年) <u>などの高速道路網の整備が進み、京阪神や中京圏などからの車でのアクセス条件は大きく改善されてきました。</u></p> <hr/> <hr/> <p><u>しかし、鉄道については、京都からの特急車両がリニューアルされたものの、大阪から京丹後市への直通特急がなくなるなど、地域の公共交通の利便性に課題が残されています。</u></p> <p><u>また、首都圏からのアクセス条件は悪く、今後、首都圏からの誘客を推進させるためには、飛行機などによるアクセスの改善が望まれます。</u></p> <hr/> <hr/>	<p style="text-align: center;">第1章 現状と課題</p> <p>1 観光の現状</p> <p>(1) 概況</p> <p>① 「京丹後市」の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市制施行 平成16年4月1日 ○ 面積 501.44平方キロメートル ○ 人口 52,187人(令和4年9月末現在:住民基本台帳による) <p>京丹後市は日本列島のほぼ中央、京都府北部の日本海に面する位置にあります。</p> <hr/> <hr/> <p style="text-align: right;">良好な景観が続く市内海岸線全てが</p> <p><u>山陰海岸国立公園と丹後天橋立大江山国定公園に指定されており、日本海形成の過程で生まれた貴重な地形・地質は、市民の暮らしや文化を育む大地の公園「山陰海岸ジオパーク」として、ユネスコから世界認定を受けています。</u></p> <p><u>この豊かな自然は、美しい景観だけでなく、四季折々の旬の食材や京都府下最多となる40の温泉源をもたらし、さらには、古代「丹後王国」として栄えてきた数々の歴史、伝説、文化を生み、日本遺産「300年を紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊」に認定された丹後ちりめんなど多くの地場産業を育みました。</u></p> <p><u>このように、市域全体に広がる多種多様な地域資源は、無限の観光価値を有しています。</u></p> <hr/> <hr/> <p>② アクセス状況</p> <p>京都縦貫自動車道の全線開通(平成27年)、山陰近畿自動車道「京丹後大宮インターチェンジ」供用開始(平成28年)、<u>北近畿豊岡自動車道「但馬空港インターチェンジ」供用開始(令和2年)</u>などの高速道路網の整備が進み、京阪神や中京圏などからの車でのアクセス条件は大きく改善されてきました。<u>また、山陰近畿自動車道「(仮称)大宮峰山インターチェンジ」も整備中であり、完成により、更なる経済活動の拡大、市民生活の安全・安心と質の向上が期待されます。</u></p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <p><u>高速バスは、京都駅から3往復半(上り4便、下り3便)、大阪駅・大阪(伊丹)空港から3</u></p>	<p>時点修正</p> <p>多種多様な資源があることを追記して修正</p> <p>時点修正</p>

現行(第3次計画)	改正案(第4次計画)	変更理由等
<p style="text-align: center;">第1章 現状と課題</p> <hr/> <hr/> <hr/> <p>○ 主な都市からのアクセス所要時間【図-1参照】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■京都から 車：約2時間 列車：約2時間30分 ■大阪、神戸から 車：約2時間 列車：約2時間30分 ■名古屋から 車：約3時間30分 列車：約3時間 ■岡山から 車：約3時間20分 列車：約3時間10分 ■広島から 車：約4時間50分 列車：約4時間 ■東京から <ul style="list-style-type: none"> ・車：(東名・名神高速道路、京都縦貫自動車道、山陰近畿自動車道)で約7時間 ・列車：(新幹線、在来線特急)で約4時間30分 ・飛行機：(大阪(伊丹)空港、コウノトリ但馬空港経由)で約3時間30分 ■近隣観光地から <ul style="list-style-type: none"> ・天橋立から車で約30分、丹後半島1周ルートで約2時間、列車で約30分 ・城崎温泉から車で20分～50分、列車で40分～60分 ■関西国際空港から <ul style="list-style-type: none"> ・車：(阪和自動車道、近畿自動車道、第二京阪道路、京都縦貫自動車道、山陰近畿自動車道)で約3時間 ・列車：約4時間 	<p style="text-align: center;">第1章 現状と課題</p> <p><u>往復運行されており、鉄道についても、京都からの特急車両が「丹後の海」としてリニューアルされたほか、老朽化した特急車両の後継車両が今後導入される予定です。</u></p> <p><u>しかしながら、片側1車線の京都縦貫自動車道は、観光のピークと帰省が重なる時期の混雑や大雪・風雨災害等による通行止めなど課題もあります。</u></p> <p>○ 主な都市からのアクセス所要時間【図-1参照】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■京都から 車：約1時間30分 列車：約2時間30分 <u>高速バス：約2時間40分</u> ■大阪、神戸から 車：約2時間 列車：約2時間30分 <u>高速バス：約3時間20分</u> ■名古屋から 車：約3時間30分 列車：約3時間 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ■広島から 車：約4時間50分 列車：約3時間30分 ■東京から <ul style="list-style-type: none"> ・車：(東名・名神高速道路、京都縦貫自動車道、山陰近畿自動車道)で約7時間 ・列車：(新幹線、在来線特急)で約4時間30分 ・飛行機：(大阪(伊丹)空港、コウノトリ但馬空港経由)で約3時間30分 ■近隣観光地から <ul style="list-style-type: none"> ・天橋立から車で約30分、丹後半島1周ルートで約2時間、列車で約30分 ・城崎温泉から車で20分～50分、列車で40分～60分 ■関西国際空港から <ul style="list-style-type: none"> ・車：(阪和自動車道、近畿自動車道、第二京阪道路、京都縦貫自動車道、山陰近畿自動車道)で約3時間 ・列車：約4時間 	<p>岡山を削除 (広島に近いため)</p>

第1章 現状と課題

◇図-1 京丹後市交通アクセス図



(2) 入込客数の状況と観光形態

① 日帰り客の伸びに比べ、宿泊客と観光消費額の伸びが小さい

【図-2、図-3、図-4参照】

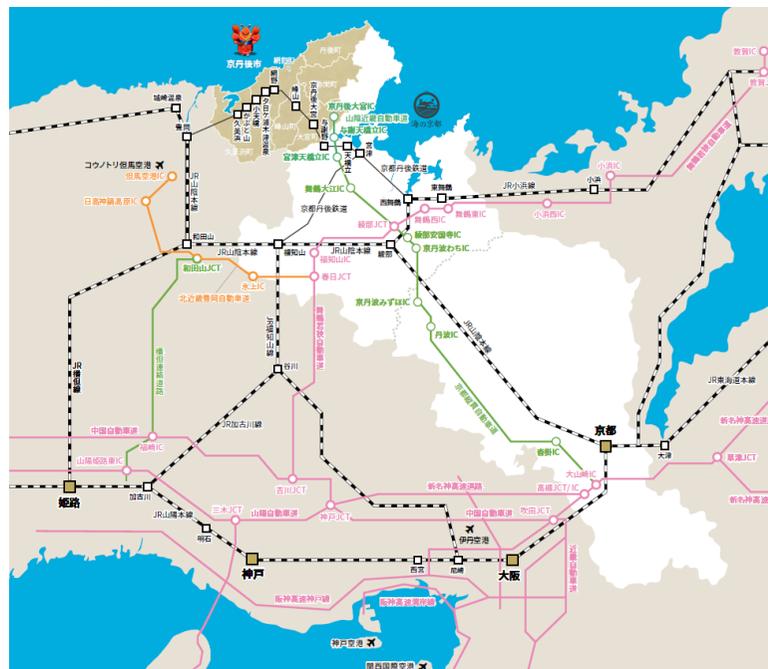
○平成27年の「海の京都」ターゲットイヤーの取組強化や、京都縦貫自動車道全線開通、平成28年の山陰近畿自動車道「京丹後大宮インターチェンジ」までの延伸効果などにより、平成27年、平成28年には観光入込客数は219万人まで回復しました。

○観光客中「日帰り客の割合」は約84%、「宿泊客」は16%。また「日帰り客数の伸び」は平成24年から平成27年の間で13.1%である一方、「宿泊客数の伸び」は同11.1%と、宿泊客の伸びが小さい状況です。

○入込客数の伸びに比べ、消費額の伸びは小さく、観光客一人あたりの消費額は平成23年は3,589円でしたが、平成28年は3,113円と減っています。

第1章 現状と課題

◇図-1 京丹後市交通アクセス図



(2) 観光入込客数の状況と観光形態

京丹後市観光公社の使用
するマップに変更

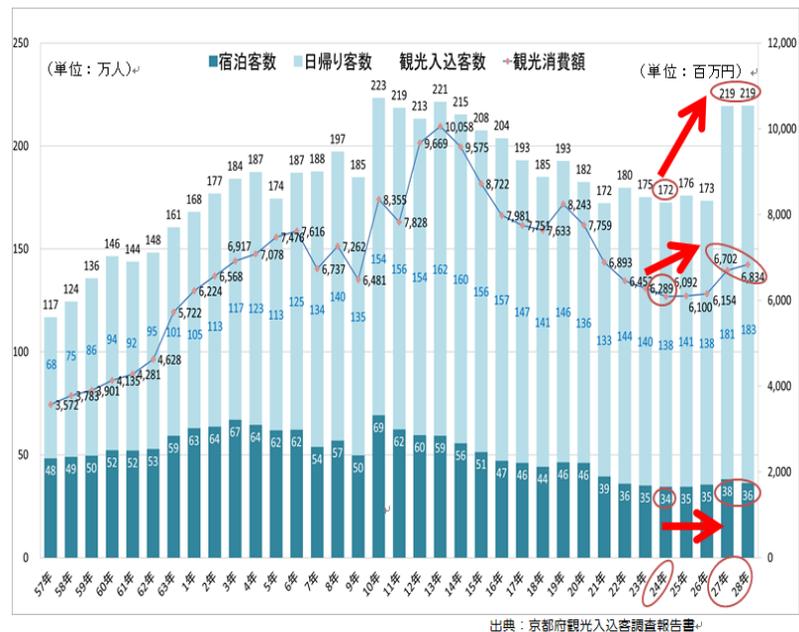
時点修正

現 行 (第3次計画)	改正案 (第4次計画)	変更理由等
<p data-bbox="421 118 622 146">第1章 現状と課題</p> <hr data-bbox="107 466 824 469"/> <hr data-bbox="129 545 972 549"/> <hr data-bbox="147 587 972 590"/> <hr data-bbox="129 632 972 635"/> <hr data-bbox="147 673 972 676"/>	<p data-bbox="1370 118 1572 146">第1章 現状と課題</p> <div data-bbox="1447 172 1912 386" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p data-bbox="1500 258 1859 287"><簡易なデータ (グラフ等) を挿入></p> </div> <p data-bbox="1048 443 1765 472">⑧ <u>全観光圏と比較してもリピーター率は高く、再来訪意向率も高いです。</u></p> <p data-bbox="1662 481 1944 510" style="text-align: right;"><u>【参考資料 図 - 18、図 - 19】</u></p> <p data-bbox="1070 520 1944 590"><u>○観光客のリピーター率は、コロナ前の令和元年度は71.8%、令和2年度が76.5%、令和3年度が67.3%となっています。全観光圏のリピーター率の66.0%よりも高い水準です。</u></p> <p data-bbox="1070 600 1944 670"><u>○観光客の再来訪意向率は、コロナ前の令和元年度は67.0%、令和2年度が75.6%、令和3年度は75.2%となっています。全観光圏の再来訪意向率の71.1%よりも高い水準です。</u></p> <div data-bbox="1473 699 1939 912" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p data-bbox="1527 785 1886 813"><簡易なデータ (グラフ等) を挿入></p> </div>	<p data-bbox="1966 443 2168 507">詳細なデータは「参考資料」に移行</p>

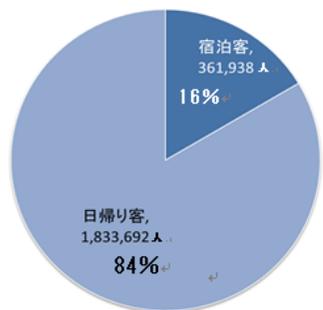
第1章 現状と課題

第1章 現状と課題

図一2 京丹後市観光入込客数・観光消費額の推移（昭和57年～平成29年）



◇図一3 平成28年京丹後市観光入込客数（宿泊客・日帰り客別）



※出典：京都府観光入込客調査報告書

<削除>

詳細なデータは「参考資料」に移行

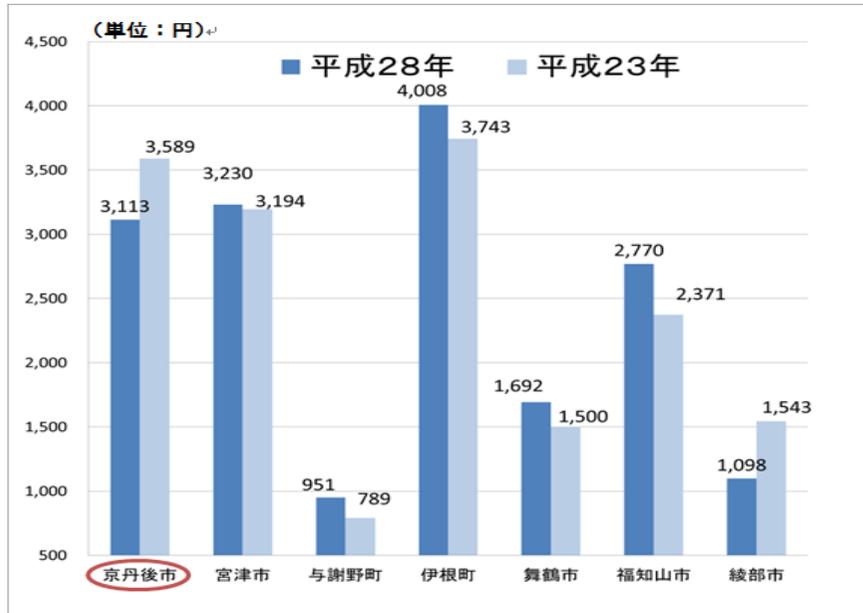
<削除>

詳細なデータは「参考資料」に移行

第1章 現状と課題

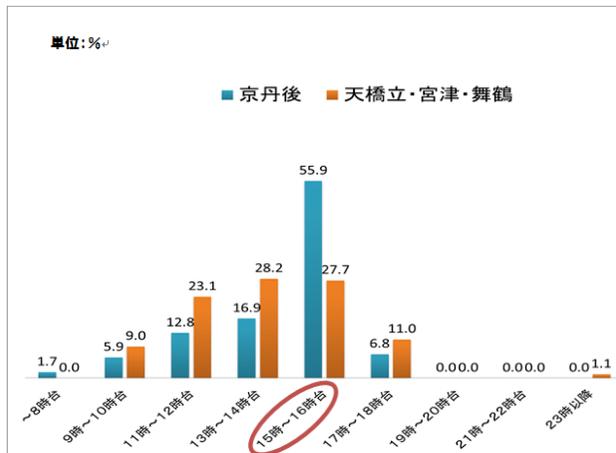
第1章 現状と課題

◇図-4 観光客一人あたり消費額・他市町との比較(平成23年・平成28年)



※出典：京都府観光入込客調査報告書

◇図-5 宿泊客が宿泊エリアに到着した時間



※出典：じゃらんリサーチセンター「じゃらん宿泊旅行調査2016」

<削除>

詳細なデータは「参考資料」に移行

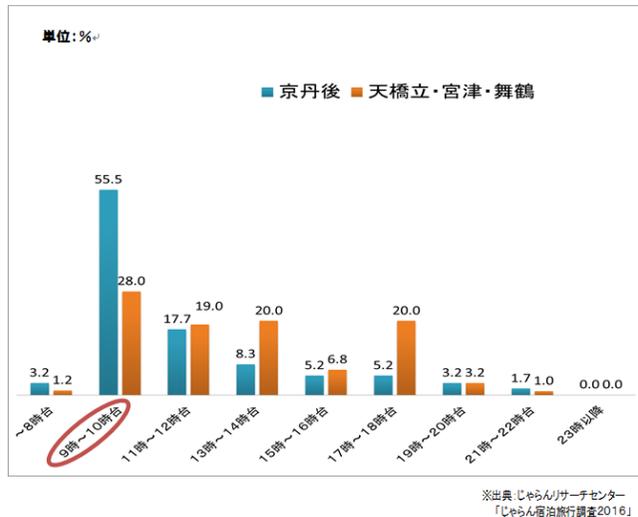
<削除>

詳細なデータは「参考資料」に移行

第1章 現状と課題

第1章 現状と課題

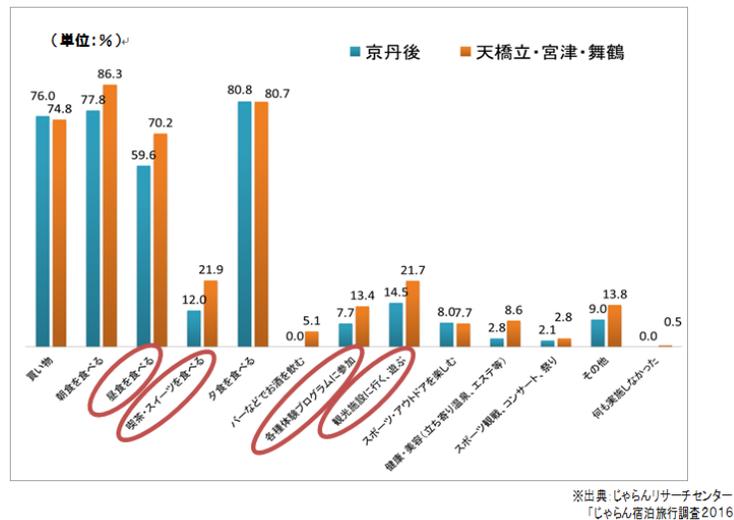
◇図-6 宿泊客が宿泊エリアから出た時間



<削除>

詳細なデータは「参考資料」に移行

◇図-7 宿泊旅行の際に実施したこと



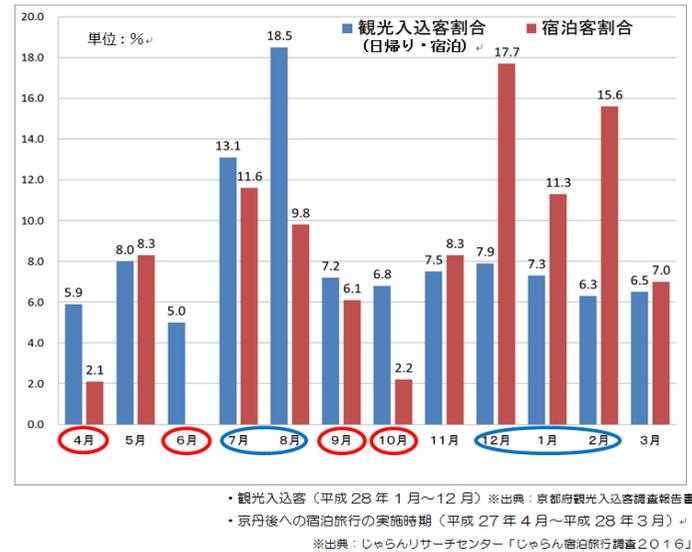
<削除>

詳細なデータは「参考資料」に移行

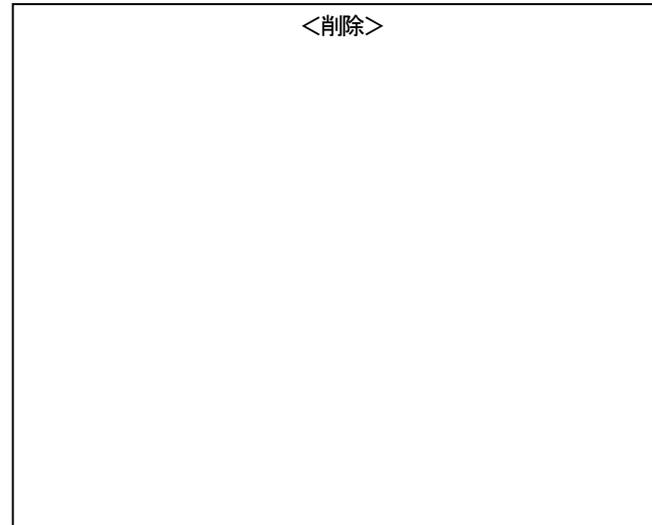
第1章 現状と課題

第1章 現状と課題

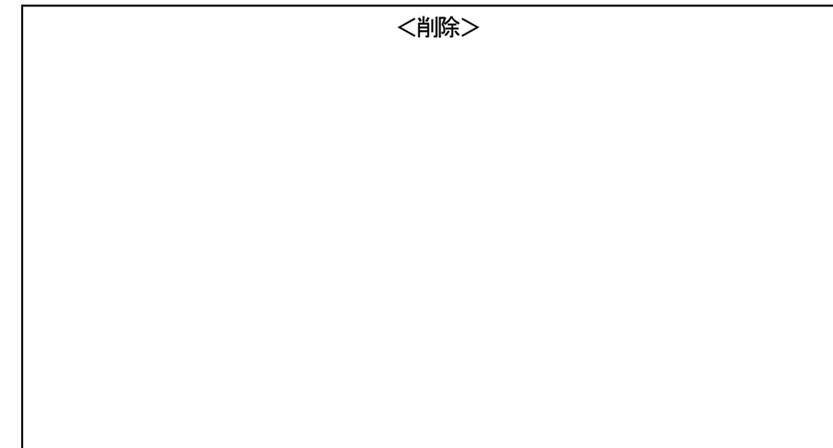
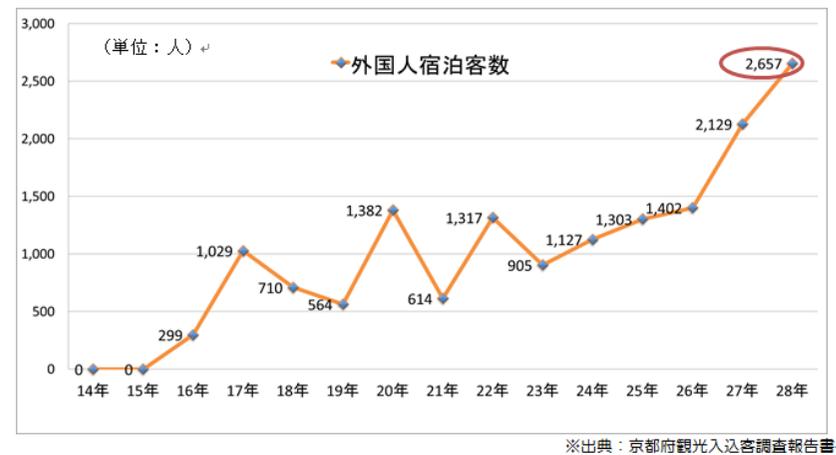
◇図—8 観光客の月別割合(観光入込客、宿泊客別)



◇図—8 観光客の月別割合(観光入込客、宿泊客別)



◇図—9 京丹後市外国人宿泊客数の推移(平成14年以降)



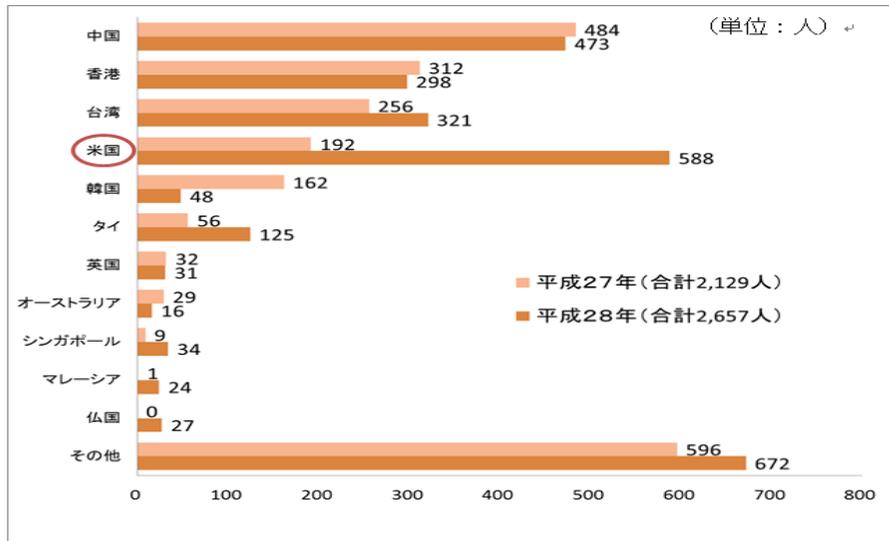
詳細なデータは「参考資料」に移行

詳細なデータは「参考資料」に移行

第1章 現状と課題

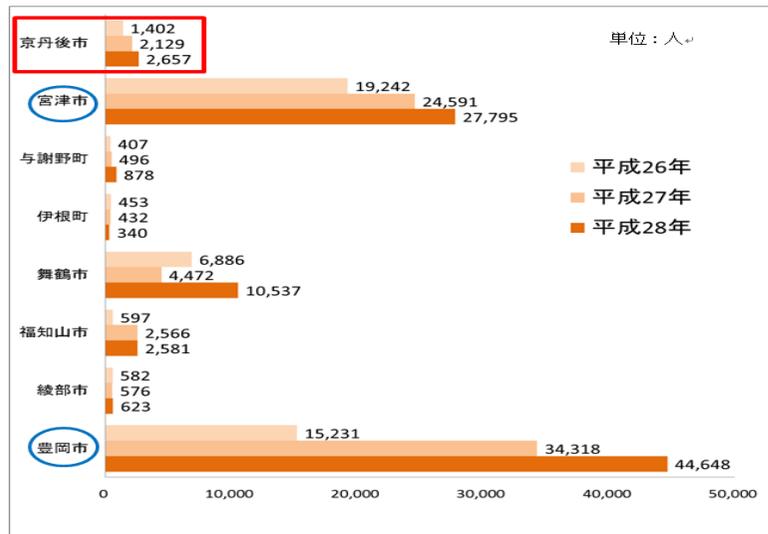
第1章 現状と課題

◇図-10 京丹後市外国人宿泊客の国・地域別人数(平成27年・平成28年)



※出典：京都府観光入込客調査報告書

◇図-11 外国人宿泊客数・他市町との比較(平成26年~平成28年)



※出典：京都府観光入込客調査報告書・豊岡市

<削除>

詳細なデータは「参考資料」に移行

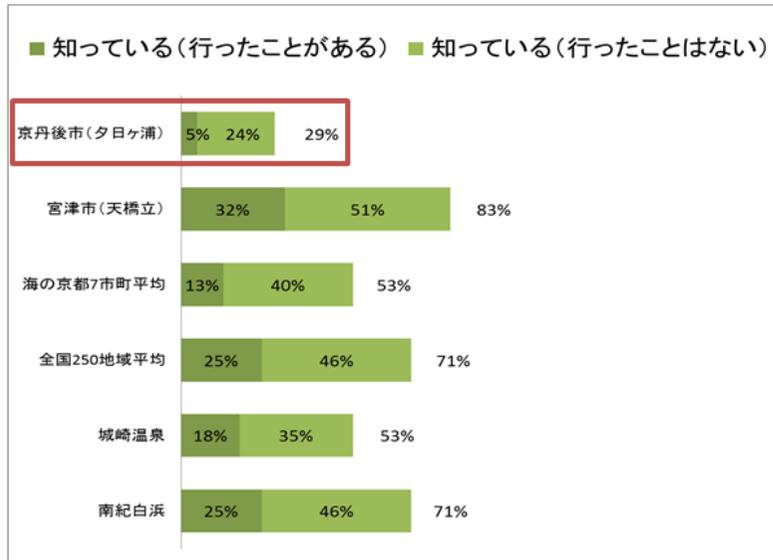
<削除>

詳細なデータは「参考資料」に移行

第1章 現状と課題

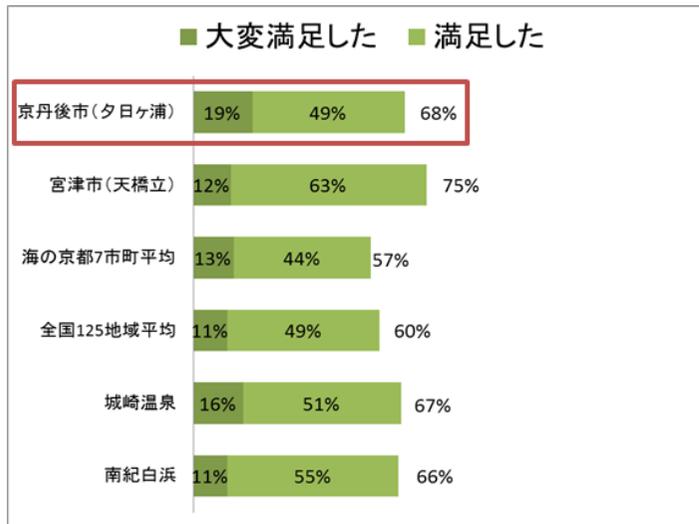
第1章 現状と課題

◇図-12 観光地の認知度（全国）



※出典：「海の京都」観光地域づくり戦略マーケティング調査（2017.3）

◇図-13 来訪者のトータル満足度（全国）



※出典：「海の京都」観光地域づくり戦略マーケティング調査（2017.3）

<削除>

詳細なデータは「参考資料」に移行

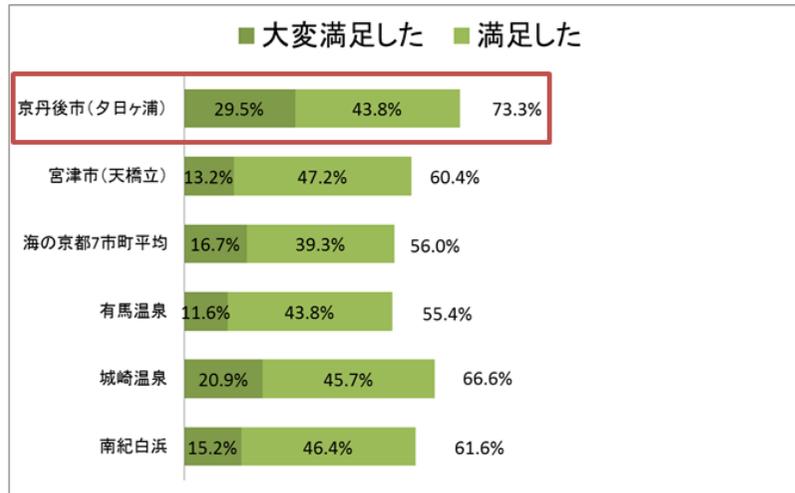
<削除>

詳細なデータは「参考資料」に移行

第1章 現状と課題

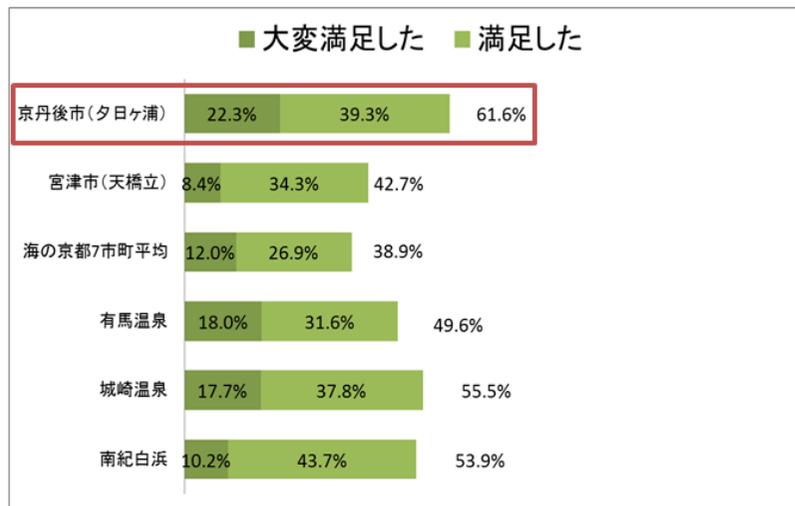
第1章 現状と課題

◇図-14 来訪者の「地域の料理・食材」に対する満足度(全国)

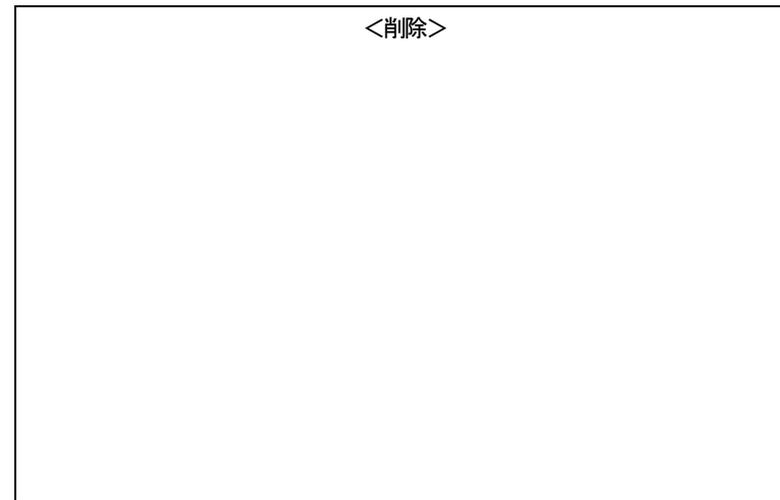
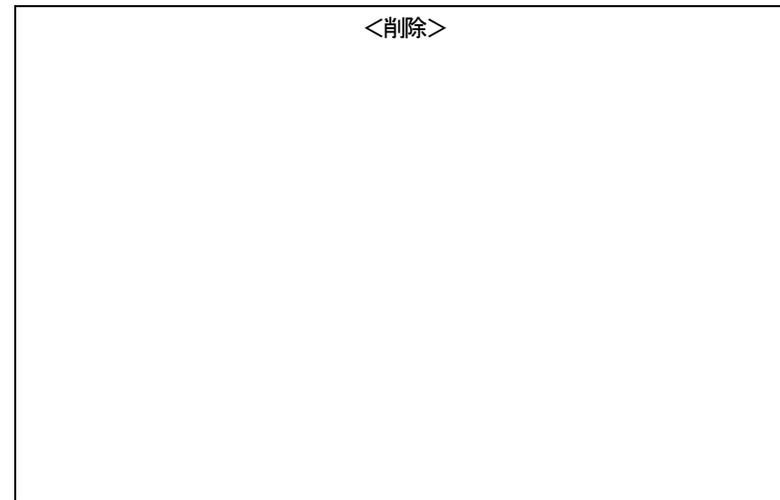


※出典:「海の京都」観光地域づくり戦略マーケティング調査(2017.3)

◇図-15 来訪者の「宿泊施設」に対する満足度(全国)



※出典:「海の京都」観光地域づくり戦略マーケティング調査(2017.3)



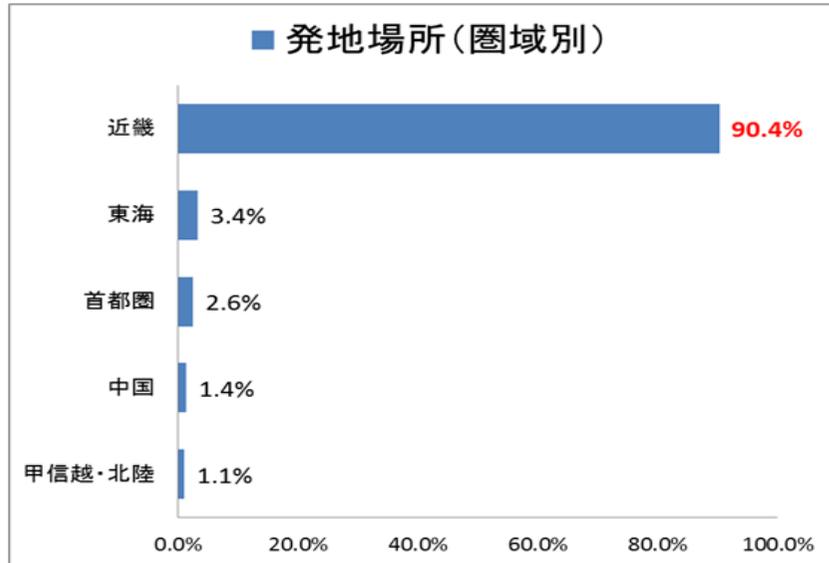
詳細なデータは「参考資料」に移行

詳細なデータは「参考資料」に移行

第1章 現状と課題

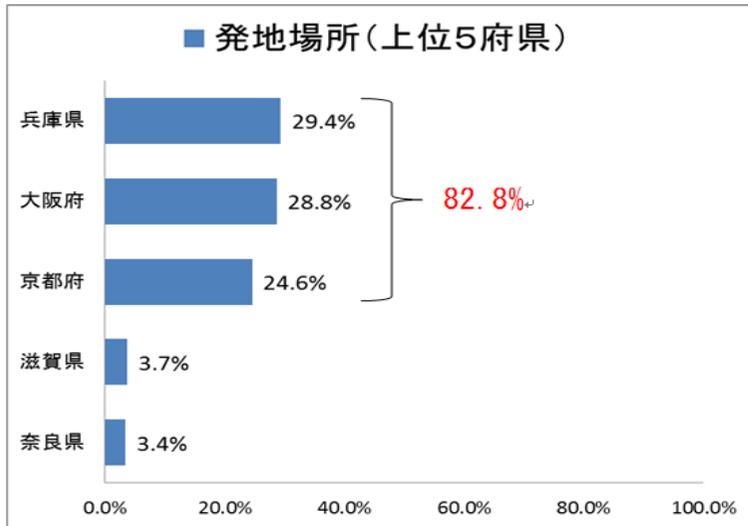
第1章 現状と課題

◇図-16 観光客の発地場所(圏域別)

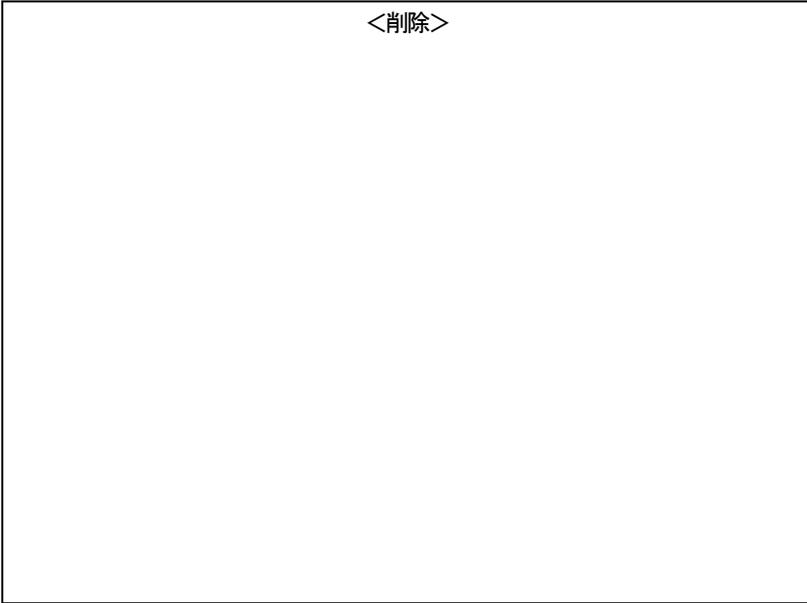


※出典:「海の京都」海の京都エリア観光動態調査レポート資料(2017.1)

◇図-17 観光客の発地場所(上位5都道府県)



※出典:「海の京都」海の京都エリア観光動態調査レポート資料(2017.1)



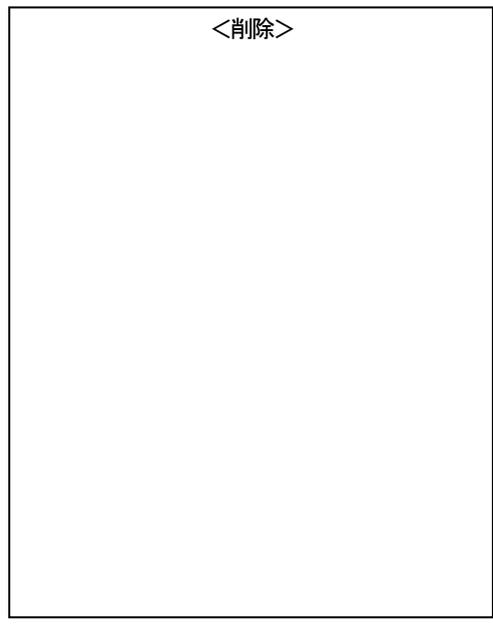
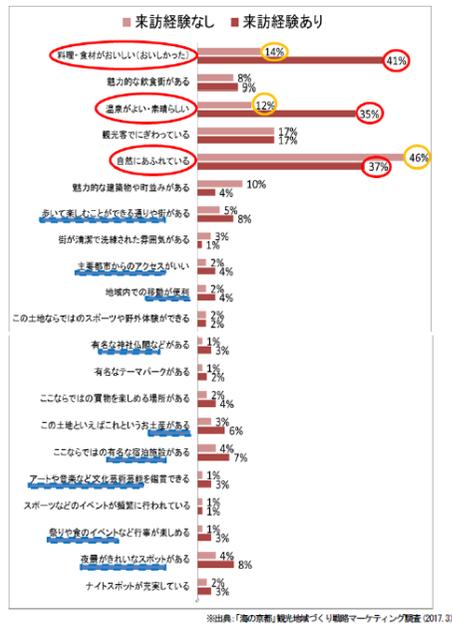
詳細なデータは「参考資料」に移行

詳細なデータは「参考資料」に移行

第1章 現状と課題

第1章 現状と課題

◇図-18 京丹後のイメージ（来訪経験なし、来訪経験あり別）



詳細なデータは「参考資料」に移行

(3) 観光施設などの利用状況

① 観光施設などの状況と特徴

- 公的観光施設については、平成18年9月から指定管理者制度を導入し、民間のノウハウによる利用増進を図っています。
- 市内の道の駅（3施設）の利用者数（入込客数）は、増加傾向にあり、特に平成27年4月にリニューアルオープンした、西日本最大級の道の駅「丹後王国『食のみやこ』」は、平成28年で45万人を越す入込みとなっています。
- アウトドア施設を含め他の観光施設については、入込客数は減少傾向にあります。

(3) 観光施設などの利用状況

① 観光施設などの状況と特徴

- 旧町時代に整備された公的観光施設（指定管理者制度※による運営）は、年数の経過とともに施設の老朽化が進んでおり、修繕が必要な箇所が多くなってきています。一方で、民間のノウハウを活用した誘客の取組が展開されています。
- 新型コロナウイルス感染症に伴うアウトドアブームにより、アウトドアの観光施設については、入込客数は増加傾向にあります。
- 老朽化や洋式化できていない海浜トイレなどの修繕、リニューアル等が必要な状況にあ

第1章 現状と課題

第1章 現状と課題

(4) 観光業を取り巻く雇用の状況

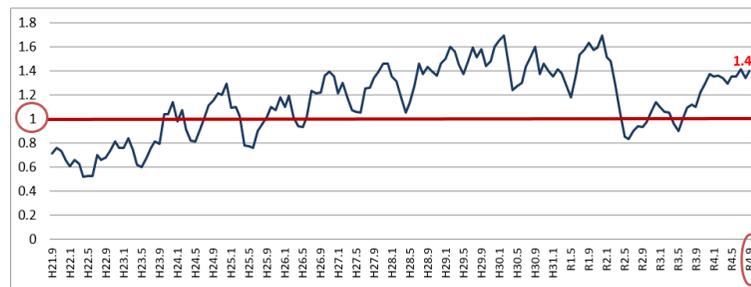
① 「人手不足」の傾向が進んでいます。【図-19参照】
 有効求人倍率が平成26年頃から1.0倍を常に上回り、平成29年10月には1.44倍となるなど、全職業トータルで見ると「人手不足」の傾向が顕著となっています。

② 観光関連(飲食物料理、接客・給仕)の職業は、さらに「人手不足」の状況です。
 【図-20、図-21、図-22、図-23参照】
 「飲食物料理の職業」の有効求人倍率は、常用が3.56倍、パートが4.07倍、「接客・給仕の職業」では、常用が2.22倍、パートが7.24倍となっており、観光に関連する職業においては、さらに深刻な「人手不足」の状況です。

(4) 観光業を取り巻く雇用の状況

① 慢性的な「人手不足」が続いています。【図-20】
 全業種トータルの有効求人倍率※は、平成29年12月の1.44倍から、令和元年12月には1.69倍と上昇し、人手不足が加速しています。コロナ禍で一時1.0倍を下回ったものの、令和3年7月から再び上回り、令和4年9月時点で1.40倍となっています。

◇図-20 京丹後市の有効求人倍率の推移(全職業)



② 観光関連(飲食物料理、接客・給仕)の「人手不足」はさらに深刻です。
 【参考資料 図-21、図-22、図-23、図-24】
 令和4年の「飲食物料理の職業」の有効求人倍率は、常用が1.56倍、パートが2.76倍、「接客・給仕の職業」では、常用が3.27倍、パートが11.14倍となっており、観光に関連する職業の人手不足は、さらに深刻な状況です。

<簡易なデータ(グラフ等)を挿入>

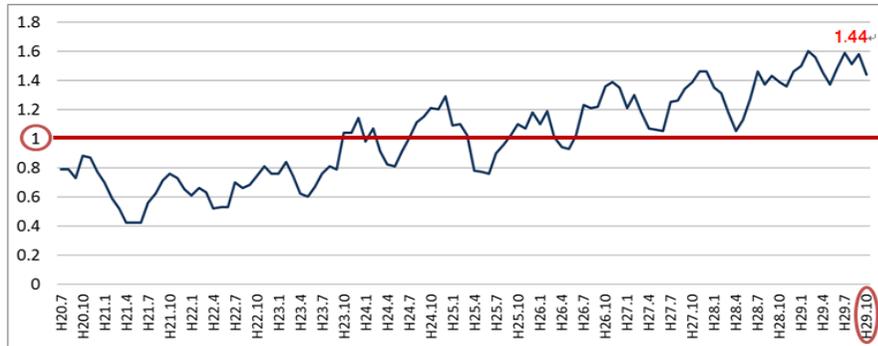
データ位置変更

詳細なデータは「参考資料」に移行

第1章 現状と課題

第1章 現状と課題

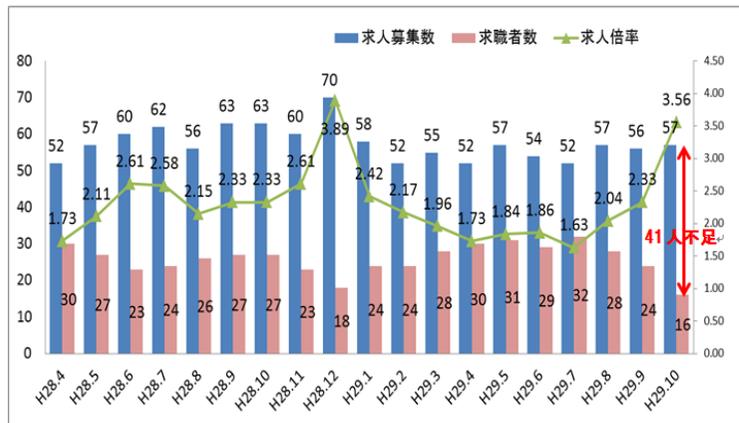
◇図—19 京丹後市の有効求人倍率の推移（全職業）



※出典：ハローワーク峰山発行の「月報峰山速報」

<位置変更>

◇図—20 求人募集数・求職者数・求人倍率の推移（飲食物料理の職業・常用）



※出典：ハローワーク峰山発行の「月報峰山速報」

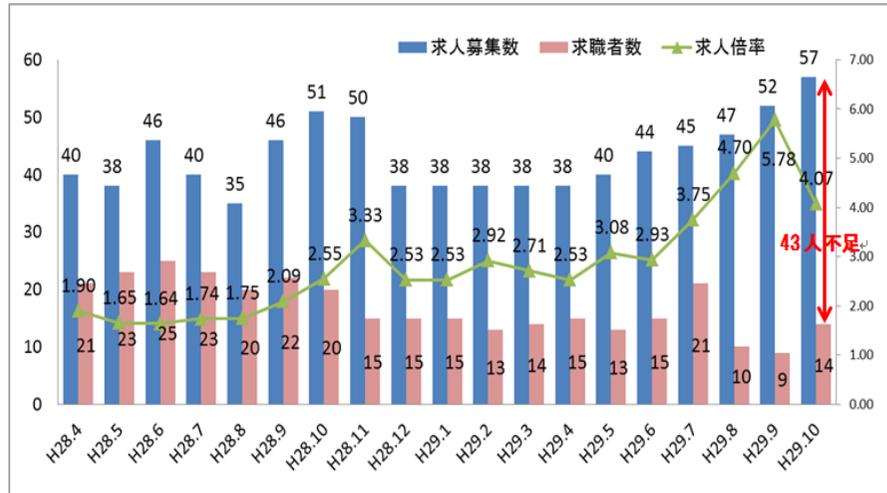
<削除>

詳細なデータは「参考資料」に移行

第1章 現状と課題

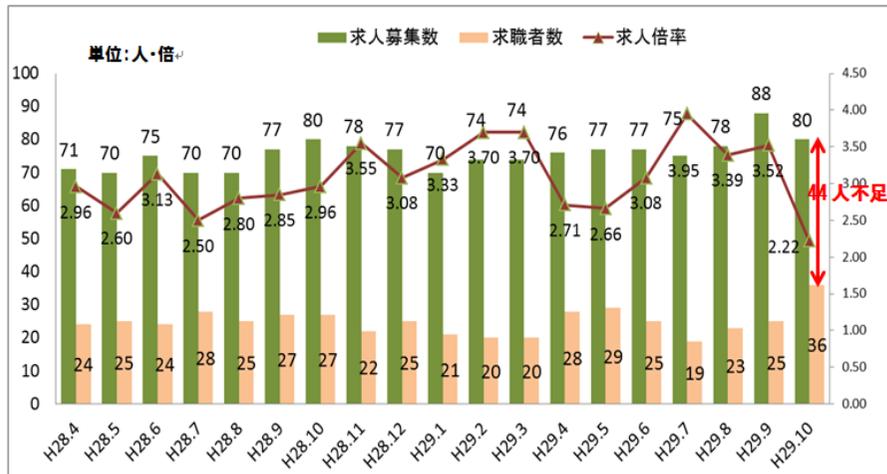
第1章 現状と課題

◇図—2 1 求人募集数・求職者数・求人倍率の推移（飲食物料理の職業・パート）



※出典：ハローワーク峰山発行の「月報峰山速報」

◇図—2 2 求人募集数・求職者数・求人倍率の推移（接客・給仕の職業・常用）



※出典：ハローワーク峰山発行の「月報峰山速報」

<削除>

詳細なデータは「参考資料」に移行

<削除>

詳細なデータは「参考資料」に移行

第1章 現状と課題

第1章 現状と課題

◇図—23 求人募集数・求職者数・求人倍率の推移(接客・給仕の職業・パート)



※出典：ハローワーク峰山発行の「月報峰山速報」

<削除>

詳細なデータは「参考資料」に移行

現 行 (第3次計画)	改正案 (第4次計画)	変更理由等
<p>(5) 特徴的な資源</p> <p>【食】</p> <p><u>豊かな自然がもたらす食に恵まれ、食味ランキングで「特A」を通算12回獲得している「丹後産コシヒカリ」のほか、「京たんご梨」、「京丹後メロン」などの果物、最高級ブランドの「間人ガニ」や「久美浜かき」「丹後ばらずし」「地酒」など、食の魅力にあふれています。</u></p> <p>【ジオパーク】</p> <p><u>「ユネスコ世界ジオパーク」に認定されている「山陰海岸ジオパーク」に市全域が含まれており、立岩や屏風岩、青の洞窟に代表される奇岩や断層など、貴重で特色ある地質遺産が各地に存在します。</u></p> <p>【海・山_____】</p> <p><u>海岸線のすべてが国立公園または国定公園に指定されており、経ヶ岬から丹後松島、屏風岩、立岩へと続く海岸景観、鳴砂の浜で国の天然記念物及び名勝に指定される琴引浜、夕日の名勝として知られる夕日ヶ浦、北近畿一のロングビーチで約8kmも続く小天橋～浜詰海岸（丹後砂丘）、かぶと山山頂から絶景が望める久美浜湾などが有名です。</u></p> <p><u>山地には北近畿最大級のブナ林など緑豊かな風景が広がっています。</u></p> <hr/> <p>【温泉】</p> <p>海岸線を中心に40カ所の温泉に恵まれ、温泉宿、日帰り温泉とも充実しています。</p> <p>【歴史・文化】</p> <p><u>歴史遺産・伝承も多く、日本海側最大級の網野銚子山古墳、神明山古墳など数多くの遺跡があり、「古代丹後王国」が存在したと提唱され、また、「鬼退治伝説」や時代を超えた女性の伝説・伝承として、「静御前」「細川ガラシャ」「羽衣天女」「小野小町」「間人皇后」「乙姫」「川上摩須郎女」の7人の姫物語「京丹後七姫伝説」があります。</u></p>	<p>(5) 特徴的な資源</p> <p>【食】</p> <p><u>国内外に誇る丹後産コシヒカリ、各種フルーツ、間人ガニ、久美浜かきや丹後とり貝、地酒等に加え、令和3年から新たに「活イカ」の市内流通の取組が始まりました。また、令和元年から京丹後美食都市研究推進会が中心となり、京丹後ガストロノミカ、たんちよす月間といった料理人、生産者等による「食のまち」づくりの取組が展開されています。</u></p> <p>【ジオパーク】</p> <p><u>市全域が「山陰海岸ユネスコ世界ジオパーク」に認定されており、市内に6つのジオトレイルコースがあります。立岩、屏風岩、青の洞窟といった特徴ある世界基準の観光価値を活用し、京丹後縦断トレイルや、香美町との交流事業、教育旅行などの取組が始まっています。また、令和2年に事業者、教育関係者、行政等による「京丹後市ジオパーク最大活用会議」が発足し、より活用に向け動き出しています。</u></p> <p>【海・山・薬草】</p> <p><u>小天橋から夕日ヶ浦海岸まで約8km続くロングビーチや鳴き砂の琴引浜をはじめとする美しい海岸線、ブナが自生する森、アユが遡上する川、ホタルが舞う里山など、市域全体に森と海がつながる豊かな自然環境があります。多種多様な薬草が自生し、中国4大薬都の一つ「亳州市」とは、平成18年から協定※を締結し交流を深めています。</u></p> <p>【宿泊施設】</p> <p><u>ホテル、旅館、民宿等の多様な宿泊施設を、京都市に次いで府下2番目に多い約180軒有しています。</u></p> <p>【温泉】</p> <p>海岸線を中心に40カ所の温泉源に恵まれ、温泉宿、日帰り温泉とも充実しています。</p> <p>【伝説・伝承】</p> <p><u>「鬼退治伝説※」や「京丹後七姫伝説※」、「日本最古の羽衣天女伝説※」、羽衣天女が祀られた奈具神社※をはじめとする「元伊勢の地※」、稲作発祥の地と伝えられる「月の輪田※」、果物やお菓子作りに関係する「売布神社※」、天鈿女命との関係を伝える大宮売神を祀る「大宮売神社※」、日本の国づくりに重要な役割を果たしたヤマトタケルの祖母ヒバスヒメの縁の地※な</u></p>	<p>「食材」だけでなく、市域で行われている、「食の取組」も資源であると言及</p> <p>「ジオサイト」だけでなく、市域で行われている、「ジオパーク活用取組」も資源であると言及</p> <p>海岸線だけでなく、森・川・里山についても言及あわせて、薬草についても言及</p> <p>多様で数の多い宿泊施設が資源であると言及</p> <p>第3次計画では「歴史・文化」と一括りにしていた資源について、第4次計画では、ソフトとハードに分</p>

現 行 (第3次計画)	改正案 (第4次計画)	変更理由等
<p>○ インバウンドや教育旅行など、季節を問わない旅行、春・秋のニーズが高い観光を一層推進することが必要です。</p> <p>○ 四季を通じて楽しめる「ジオ・スポーツ」や「ジオ・アクティビティ」のさらなる推進を図ることが必要です。</p>	<p>【課題2】異業種連携が不十分であり、宿泊客の市内周遊・滞在につながっていません。</p> <p><対策の方向性></p> <p>市民、地域の産業等の連携により幅広く観光価値を高め、観光による効果を全市に広げて、総合的に活用していく必要があります。</p> <p>○ 宿泊客の市内滞在長期化による市域全体の観光消費の増大が必要です。</p> <p>○ 異業種連携や市民参画による、地域資源を観光価値化した体験・周遊コンテンツづくりが必要です。</p> <p>○ 雨天時等に立ち寄ることのできる観光拠点やランチができる食事処の整備が必要です。</p> <p>○ 京丹後市観光公社の会員加入と、農漁業、ちりめん、ものづくり産業など様々な異業種連携による会員拡大が必要です。</p>	<p>「長期滞在」の個別項目</p> <p>・本市の強みである「宿泊」を活かし、“滞在から宿泊につなげる”という考えから“宿泊客を周遊滞在させる”という考え方に転換</p> <p>・「異業種連携」を明確に記述</p>
<p>【課題3】外国人旅行者の誘致（インバウンド）が不十分です。</p> <p><対策の方向性></p> <p>○ 国の政策と連動したインバウンド施策やジオパークの魅力を活用し、外国人旅行者の受け入れ態勢を整備し、国際観光・国際交流を推進する必要があります。</p> <p>○ 近隣市町と連携しながら、効果的な観光プロモーションを展開する必要があります。</p>	<p>【課題3】「観光地としての認知度」が低く、関西圏とともに、関東圏をはじめ全国的・広域的な誘客が必要です。</p> <p><対策の方向性></p> <p>関西圏からの集客を強化するとともに誘客対象エリアを拡大し、認知度向上を図ります。</p> <p>○ 京丹後市観光公社を中心としたマーケティングとデジタルプロモーションの強化が必要です。</p> <p>○ ターゲットとコンテンツを連動させ、全国から誘客できるプロモーションが必要です。</p> <p>○ 海の京都DMO等の広域関係団体や民間OTAと連携し、情報発信を強化する必要があります。</p> <p>○ 京丹後ならではの魅力を磨き、伝えていく必要があります。</p> <p>○ 2025大阪・関西万博（レガシー含む）を見据えた、国内外向け観光プロモーションの展開が必要です。</p>	<p>「認知度」の個別項目</p> <p>・認知度向上に向けた具体的な方向性を記述</p> <p>・大阪・関西万博に言及</p>
<p>【課題4】「観光地としての認知度」が低いなど、効果的な観光情報の発信ができていません。</p> <p><対策の方向性></p>		

現 行 (第3次計画)	改正案 (第4次計画)	変更理由等
<p><u>ります。</u></p> <p><u>○ 子育て環境など「観光業に携わる女性の働きやすい環境」などを整える必要があります。</u></p> <p><u>○ 春、秋の観光客を増やし「四季型の観光地」の実現による通年雇用、正規雇用の増加など、観光業の雇用形態や雇用条件を改善する必要があります。</u></p>	<p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p>	

現 行 (第3次計画)	改正案 (第4次計画)	変更理由等
<p style="text-align: center;">第2章 将来ビジョン</p>	<p style="text-align: center;">第2章 将来ビジョン</p>	
<p>1 コンセプト</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <h2 style="margin: 0;">“旬”でもてなす食のまち</h2> <p style="margin: 0;">ジオの魅力あふれる「滞在型観光地」へ</p> </div> <p>京丹後市には、自然、温泉、食、歴史、文化など素晴らしいふるさとの資源が市域全体にわたって存在し、地域の将来の発展に向けては、これらの貴重な資源を活かした観光を振興することが最も重要な課題です。「観光産業なくして京丹後市の発展はない」ことが出発点です。</p> <p>豊富な観光資源を有しているだけでは、激化する国内観光地との競争に打ち勝つことはできません。他地域との差別化を図り、本市の強みを最大限に活かした、絞り込みの観光戦略が必要です。</p> <p>このため、「旬」や「こだわり」などの強みを持つ、「食でもてなす観光」(いわゆる※「美食観光」)を核としながら、ジオパークが生み出す魅力あふれる多様な資源の中から“売れる資源”をさらに磨き、活かすことにより、「海の京都」を代表する、四季を通じた滞在型の観光地づくりを推進し、地域の雇用の増大と幅広い分野にわたる地域経済の活性化を図り、「観光立市の実現」を目指します。</p> <p>※「美食観光」… “京丹後ならではの旬やこだわりの食・料理でもてなす観光” (説明)</p> <p>京丹後には海、山、里の豊かな自然や地域の伝統、技術、こだわりなどを持つ人の手によって育まれた旬の食材、安全・安心な食材、またその食材を用いた料理や加工品があります。</p> <p>これら京丹後ならではの「旬」や「こだわり」のある食や料理、さらには地域の食生活、食文化、体験などを観光客に提供することで、京丹後の大きな魅力、強味である「食」を一層活かし、観光誘客をはじめ地域産業の活性化を図ります。</p>	<p>1 コンセプト</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <h2 style="margin: 0;">彩り・味わい京丹後</h2> <p style="margin: 0;">海・森・里山 つながりの郷</p> </div> <p>京丹後市には、太古から連綿と続く海、森、里山を大切に守り暮らしてきた人々が唯一無二のふるさとを形成しています。</p> <p>森に振った雨が川となり、海に注ぎ、里山を潤す自然の循環は、海の恵み、里山の実りをもたらし、魅力ある味わいを通して「長寿」を支えるとともに、丹後ちりめんやものづくりなどの「技」をも育んでいます。自然と人が織りなす彩り豊かな営みは、長く歴史となり、文化として継承され、なつかしさと未来への想像力をあわせもつ“日本のふるさと”を想起します。</p> <p>素晴らしい彩りと味わいに満ちた資源は、多様で奥深い物語として観光客を惹きつける「海・森・</p>	<p>コンセプト変更及びコンセプトの解説文を修正</p> <p>「食」をメインに打ち出した第3次計画のコンセプトから、第4次計画では、自然、食、産業、歴史、文化、長寿、安全・安心、それらと向き合い暮らす「人」など多彩な資源に満ち溢れていること、それらの「つながり」こそが最大の資源(魅力)であると整理。</p> <p>事業者、市民など、多様な「つながり」が、さらに大きな観光価値となり、交流をもたらし、豊かさを実感できる観光立市が進められる、というコンセプトになっている</p>

現行（第3次計画）	改正案（第4次計画）	変更理由等
	<p><u>里山 つながりの郷</u>を創造します。“笑顔”と“安全・安心”が生まれるまちづくりを活かして、訪れる人々と地域の人々の相互理解と交流を促進し、観光を核とした地域協働により、幅広い雇用の増大と産業の活性化を図ります。そして、地域の住民が誇りと愛着を持つことのできる活力に満ちた地域社会づくりにつなげていきます。</p> <p><u>観光事業者、観光関係団体、行政はもとより、農林漁業者をはじめとする多様な事業者や市民が一体となり、四季折々の無限に存在する地域資源を磨き上げ、発信し、真のふるさとの豊かさを求め集う人々と総合的につながる「住んでよし、訪れてよし」の観光立市を目指します。</u></p>	
<p>2 目標数値（滞在、宿泊を重視した目標とする）</p> <p>※ _____ 現状は平成28年、目標は平成34年の数値</p> <p>1 年間観光入込客数 _____ 現状219万人 目標235万人 約7%増</p> <p>2 年間宿泊客数 _____ 現状36万人 目標46万人 約28%増</p> <p>3 年間外国人宿泊客数 _____ 現状2,657人 目標9,000人 約238%増</p> <p>4 年間観光消費額 _____ 現状68億円 目標85億円 約25%増</p> <p>5 年間「ジオ・スポーツ」「ジオ・アクティビティ」参加者数 _____ 現状12,686人 目標17,000人 約34%増</p> <p>6 食（地域の料理・食材）に関する観光客満足度 _____ 現状73.8% 目標80.0% 約9%増</p> <p>7 京丹後（夕日ヶ浦）の認知度 _____ 現状29% 目標50% 約72%増</p>	<p>2 目標数値（通年型観光を重視した目標とする）</p> <p>※コロナ前は令和元年、現状は令和3年、目標は令和9年の数値</p> <p>1 年間観光入込客数 <u>コロナ前211万人</u> 現状128万人 目標240万人 削除</p> <p>2 年間宿泊客数 <u>コロナ前36万人</u> 現状29万人 目標55万人 削除</p> <p>3 年間外国人宿泊客数 <u>コロナ前5,025人</u> 現状2,797人 目標10,000人 削除</p> <p>4 年間観光消費額 <u>コロナ前71億円</u> 現状68億円 目標85億円 削除</p> <p>5 再来訪意向率 <u>コロナ前67.0%</u> 現状75.2% 目標85.0% 削除</p> <p>6 宿泊者数平準化率 <u>コロナ前42.0%</u> 現状34.9% 目標50.0% 削除</p>	<p>・1～4の指標は、第3次計画からの継続指標（目標値は、第2次総合計画のR6年度目標値とする）</p> <p>・「通年型観光」を目指すことを旨として、「再来訪意向率」と「宿泊者数平準化率」を新たな指標に掲げる（目標値は、「再来訪意向率」は現状からの約10%up、「宿泊者数平準化率」は50%とする）</p>

現 行 (第3次計画)	改正案 (第4次計画)	変更理由等
<p>3 基本方針と基本戦略</p> <p><基本方針1> 「“旬”でもてなす食の観光」を徹底的に推進します</p> <p>【基本戦略】</p> <p>① 豊富で質の高い食材の魅力に磨きをかけ、価値を高めます</p> <p>② 旬の地元食材を活用した“地産来消”に取り組みます</p> <p>③ 食を活用した様々な「商品化」と付加価値を高める「ブランド化」に取り組みます</p> <p>④ 「“旬”でもてなす食の観光」の戦略的な発信とプロモーションを行います</p> <p>⑤ 「“旬”でもてなす食の観光」の戦略を関係者が共有し、機運を高め、一体的に進めます</p> <p><基本方針2> ジオパークや四季の魅力を活かした「体験・滞在型の観光地」をつくります</p> <p>【基本戦略】</p> <p>① 「ユネスコ世界認定」を受けた「山陰海岸ジオパーク」の資源を守り、積極的に活用します</p> <p>② 海、山、里の地域資源を活かした四季折々の“ほんまもん体験”を提供します</p> <p>③ 日本遺産「丹後ちりめん回廊」の織物業や「ハイテクランド」を構成する機械金属業など地域の特色ある産業を活かした「産業観光」を展開します</p> <p>④ 「丹後王国」などの歴史や遺跡、ふるさと伝説を観光へ活用します</p> <p>⑤ 「海の京都観光圏整備実施計画」を踏まえた「滞在型の観光地」をつくります</p>	<p>3 基本方針と基本戦略</p> <p><基本方針1> 豊潤な“食”の魅力を最大限発揮し「旨いものを食べるなら京丹後」を実現します</p> <p>【基本戦略】</p> <p>① 多種高品質なフルーツを前面に押し出し、年間を通した誘客につなげます。</p> <p>② 四季折々の農産物、水産資源の“地産来消”を促進し、「味わう×体験する」観光を推進します。</p> <p>③ 「食のまち」の機運を醸成し、豊潤な食材の魅力に磨きをかけ国内外に発信します。</p> <p>④ 京丹後の旬の味覚を堪能できる食事処・土産物販売店等の充実に取り組みます。</p> <p><基本方針2> 多彩な“人”の魅力を観光価値化し「何度でも訪れたい京丹後」を創出します</p> <p>【基本戦略】</p> <p>① ビーチでのアクティビティやイベントを充実させ、年中「人」が集うビーチづくりを進めます。</p> <p>② 「人」を介して、森・川・海や産業、社会活動等の魅力を掘り起こし、観光資源化します。</p> <p>③ 「健康長寿」を最大限活かし、ヘルス&ウエルネス観光を確立します。</p> <p>④ スポーツ施設を活用したスポーツ大会や合宿の誘致・開催のほか、企業、大学等と連携したビジネス観光を推進します。</p> <p><基本方針3> 多種多様な“文化資源”を活かし「なつかしい日本のふるさと・京丹後」を創造・発信します</p> <p>【基本戦略】</p> <p>① 多様な史跡、文化財を活かした「文化観光」に取り組みます。</p>	<p>「食」に関する基本戦略を変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フルーツを最大活用 ・「食」と「体験」の掛け合わせ ・食のまち機運醸成 ・旬の食提供店の充実 <p>ジオパークに関しては、<基本方針4：SDGsに対応した「持続的で環境にやさしい観光地・京丹後」を推進します>の中に包含</p> <p>「人」の魅力を観光価値とする方針・戦略を新たに掲げる</p>

現 行 (第3次計画)	改正案 (第4次計画)	変更理由等
<p>◇図-24 「課題」と「基本方針」の相関図</p> <p>【課題1】滞在時間が短く、宿泊客数が伸び悩み</p> <p>【課題2】二季型の観光地</p> <p>【課題3】インバウンドが不十分</p> <p>【課題4】観光地としての認知度が低い</p> <p>【課題5】「食」の魅力活用が不十分</p> <p>【課題6】ジオパークの魅力活用が不十分</p> <p>【課題7】一体となって取り組む体制、機運づくり</p> <p>【課題8】観光業の人材不足</p> <p><基本方針1> 「旬」でもてなす食の観光を徹底的に推進します</p> <p><基本方針2> ジオパークや四季の魅力を活かした「体験・滞在型の観光地」をつくります</p> <p><基本方針3> 外国人旅行者、宿泊客等の誘致を強化します</p> <p><基本方針4> 「ジオ・スポーツ」や「ジオ・アクティビティ」で観光交流人口の拡大を目指します</p> <p><基本方針5> 徹底したマーケティング手法で戦略的に観光情報を発信します</p> <p><基本方針6> 地域総ぐるみの観光地づくりを推進します</p>	<p>◇図-25 「課題」と「基本方針」の相関図</p> <p>【課題1】夏、冬に偏重した「二季型の観光地」で年間を通じて安定した誘客ができていません。</p> <p>【課題2】異業種連携が不十分であり、宿泊客の市内周遊・滞在につながっていません。</p> <p>【課題3】「観光地としての認知度」が低く、関西圏とともに、関東圏をはじめ全国的・広域的な誘客が必要です。</p> <p>【課題4】コロナ禍を契機とした観光客の行動変容やインバウンド再開への対応が求められています。</p> <p>【課題5】環境に配慮し、SDGsに対応した観光地のあり方が求められています。</p> <p>【課題6】観光業を支える人材不足への対応と、持続的な観光振興財源の確保が求められています。</p> <p>【課題7】老朽化した観光関連のインフラ整備や交通基盤の強靱化、利便性充実にに向けた取組が必要です。</p> <p><基本方針1> 豊潤な「食」の魅力を最大限発揮し「旨いものを食べるなら京丹後」を実現します</p> <p><基本方針2> 多彩な「人」の魅力を観光価値化し「何度でも訪れたい京丹後」を創出します</p> <p><基本方針3> 多種多様な「文化資源」を活かし「なつかしい日本のふるさと・京丹後」を創造・発信します</p> <p><基本方針4> SDGsに対応した「持続的で環境にやさしい観光地・京丹後」を推進します</p> <p><基本方針5> 安全・安心・快適でユニバーサルな「人にやさしい観光地・京丹後」を推進します</p> <p><基本方針6> デジタル技術を活用し、情報発信やマーケティングを展開する「観光DX・京丹後」を推進します</p> <p><基本方針7> 地域総ぐるみで取り組む「みんながつながる観光地・京丹後」を推進します</p>	

第3章 戦略プロジェクト

1 戦略プロジェクト

戦略プロジェクトは、前章に掲げた基本方針ごとに、観光事業者、観光関係団体、市民、行政などが取り組むべきプロジェクトで、これに基づく効果的な事業を5年以内に実施することを目標とし、_____ます。

その中で、基本方針1及び基本方針2を、「重点的かつ優先的な基本方針」として位置付けます。

<基本方針1> 「旬」でもてなす食の観光」を徹底的に推進します

【重点・優先】

※展開イメージ【◇図—2.5】

■=最優先 ○=主体
□=優先 ○=協力、参加

基本戦略	戦略プロジェクト	取組主体			
		業者	団体	市民	行政
① 豊富で質の高い食の魅力に磨きをかけ、価値を高めます	1 農林漁業者、加工業者等の生産、保存、加工、料理技術の向上	◎	○		○
② 旬の地元食材を活用した“地産来消”に取り組めます	2 飲食店、宿泊施設、土産物店等での旬の地元食材活用、「フードトレイル」の実施など販売の促進	◎	○		○
	3 市内での地元食材流通の仕組みづくり	◎	○		○
	4 地元食材の情報の「見える化」	◎	○		◎
	5 食に関する体験プログラムの提供	◎	○		○
③ 食を活用した様々な「商品化」と付加価値を高める「ブランド化」に取り組めます	6 食に関する共通宿泊プランや旅行商品づくり	◎	◎		○
	7 “健康”、“長寿”、“環境”などを活かす名物となる土産物や料理、食材などの改良、開発	◎	○		○
	8 新たな“海のブランド食材”の開発	◎	◎		○
④ “旬”でもてなす食の観光の戦略的な発信とプロモーションを行います	9 動画、SNSなど効果的な情報発信ツールを活用したPR	◎	◎	○	◎
	10 デザイン性と統一性のあるイメージ戦略の推進		○		◎
	11 食材の魅力、豊かさや食事処、土産処の情報発信	◎	◎	○	○
	12 都市部での食に関するイベント、マ	◎	◎	○	◎

第3章 アクションプロジェクト

1 アクションプロジェクト

アクションプロジェクトは、前章に掲げた基本方針ごとに、観光事業者、観光関係団体、市民、行政などが取り組むべきプロジェクトであり、これに基づく効果的な事業を5年以内に実施することを目標として、以下に「主なアクションプロジェクト」を記します。なお、「主なアクションプロジェクト」の内容は、社会情勢等の変化に対応して適時見直します。

<基本方針1> 豊潤な食の魅力を最大限発揮し「旨いものを食べるなら京丹後」を実現します

■=最優先 ○=主体
□=優先 ○=協力、参加

基本戦略	主なアクションプロジェクト	取組主体			
		業者	団体	市民	行政
①多種高品質なフルーツを前面に押し出し、年間を通じた誘客につなげます。	1 フルーツの6次産業化（フルーツレトルト、フルーツ狩り×宿泊プラン、旬のフルーツ・ランチ・デザート提供など）の促進	◎	○		○
	2 旬のフルーツに特化したPR展開	◎	○		○
	3 フルーツ供給体制の充実	◎	○		○
②四季折々の農産物、水産資源の“地産来消”を促進し、「味わう×体験する」観光を推進します。	4 活イカ、丹後とり貝やカキといった旬の魚介類の活用	◎	○		○
	5 お宿の畑収穫体験や農家とのコラボ	◎	○		○
	6 浜買い体験など新鮮な魚介類の販売	◎	○		○
③「食のまち」の機運を醸成し、豊潤な食材の魅力に磨きをかけ国内外に発信します。	7 日本酒の積極的な活用・発信	◎	○		○
	8 料理人と生産者等異業種交流による技術研鑽と食のまち機運醸成の促進	◎	○		◎
④京丹後の旬の味覚を堪能できる食事処・土産物販売店等の	9 旬の食材をテーマにした料理の発信	◎	○	○	◎
	10 旬の食材を活用した料理の提供店拡大	◎	◎	○	◎

戦略に基づく、具体的な行動（アクション）計画として、「アクションプロジェクト」に変更
「主な～」は、あくまでも現時点のもの。これに縛られることなく、期間中に変更していくこととする

現 行 (第3次計画)

	ルシェ等の実施、参加				
⑤ 「旬」でもてなす食の観光の戦略を関係者が共有し、機運を高め、一体的に進めます	13 食に関する異業種間の事業者連携・交流・研修機会の創出 14 市民、関係者に対する啓発イベント等の実施、参加	◎	◎	◎	◎

◇ 図-25

<基本方針1> 「旬」でもてなす食の観光を徹底的に推進します

京丹後市の観光の課題は？	京丹後の「食」の強みは？
1 夏、冬の「二季型の観光地」である 2 地域資源、四季折々の魅力が十分に活かされていない 3 日帰り客が増加しているが宿泊客の伸びが悪い 4 観光客の滞在時間が短い 5 外国人旅行者の取り込みが不十分である 6 「観光地」としての認知度が低い	1 海、里、山の豊富な旬の食材に恵まれている 2 間人ガニ、丹後産コシヒカリ、京野茶などブランド食材がある 3 「こだわりを持つ食の生産者が多い」 4 各地域に特色ある食文化がある 5 「食」に対する観光客の満足度が高い 6 「冬のカニ」の集客力、発信力が高い

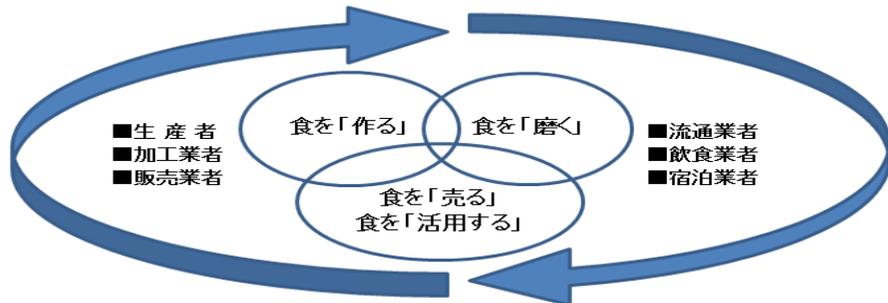
観光の課題を克服するために、強みである「食」を活かした観光の取組が有効

【コンセプト】
京丹後ならではの旬やこだわりの食・料理※でもてなす観光

※地域の伝統、技術、こだわりなどを持つ人の手によって育まれた旬の食材、安全・安心な食材、また、その食材を用いた料理や加工品

取組方針 <「旬」でもてなす食の観光戦略の3本柱>

1 地産消費	地元旬の食材を活用し観光客へ提供します
2 商品化・ブランド化	特色ある良質な食材を活用した商品化・ブランド化を促進します
3 販売・プロモーション	イメージの統一化を図りながら国内外へ食の魅力を発信します



食に関する様々な事業者が連携し、一体的に進めます

改正案 (第4次計画)

充実に取り組みます。

11 旬の食材を活用したお土産品・加工品の開発と販売拡大

◎

◎

○

◎

<削除>

計画全体を軽量化し、読みやすくすることを旨として、イメージ図は省略した

<基本方針2> ジオパークや四季の魅力を活かした「体験・滞在型の観光地」をつくります
 【重点・優先】 ※展開イメージ【◇図-26】

■=最優先 ○=主体
 □=優先 ○=協力、参加

基本戦略	戦略プロジェクト	取組主体			
		業者	団体	市民	業者
① 「ユネスコ世界認定」を受けた「山陰海岸ジオパーク」の資源を守り、積極的に活用します	15 「日本一の砂浜海岸づくり」に向けた砂浜や「ジオサイト」の保全など、自然環境及び景観の保護・保全、清掃活動	○	○	○	○
	16 海浜施設や自然公園施設（トイレ、シャワー、遊歩道など）の適切な維持管理		○		○
	17 市民・関係者へのジオパーク、自然環境保全の普及啓発活動	○	○	○	○
	18 「ジオ」を活用した商品やツアーの開発、イベント実施	○	○		○
② 海、山、里の地域資源を活かした四季折々の“ほんまもん体験”を提供します	19 観光事業者、農漁業者等の連携による、「ジオ」を活用した体験プログラムの提供	○	○		○
	5 食に関する体験プログラムの作成・提供（再掲）	○	○		○
③ 日本遺産「丹後ちりめん回廊」の織物業や「ハイテクランド」を構成する機械金属業など地域の特色ある産業を活かした「産業観光」を展開します	20 織物業や機械金属業などを活用した、見学、体験、まち歩き、食を組み合わせたツアーなどの提供	○	○		○
④ 「丹後王国」などの歴史や遺跡、ふるさとの伝説を観光へ活用します	21 歴史や文化、遺跡、祭りなど文化財の活用	○	○	○	○
	22 京丹後七姫伝説や浦島太郎伝説、鬼退治伝説など、伝説や伝承の活用	○	○	○	○
⑤ 「海の京都観光圏整備実施計画」を踏まえた「滞在型の観光地」をつくります	23 食、温泉、体験、宿泊などをセットにしたルートづくり	○	○		○
	24 自然、街並みなど景観の保全・形成とまち歩き・さと歩き観光の推進	○	○	○	○
	25 「海の京都」京丹後市マスタープランに基づく「戦略拠点」（久美浜・夕日ヶ浦）、「交流地区」（久美浜・網野・丹後）の魅力向上	○	○	○	○

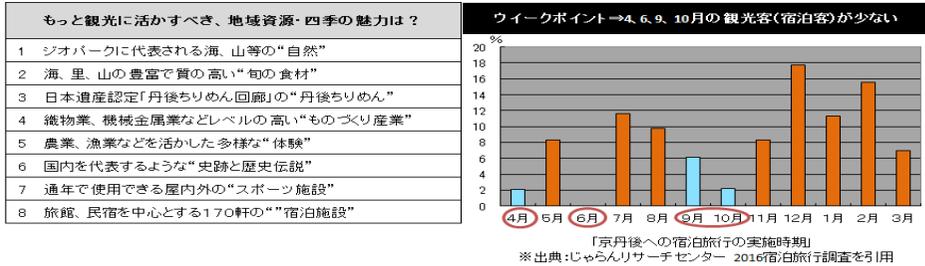
<基本方針2> 多彩な“人”の魅力を観光価値化し「何度でも訪れたい京丹後」を創出します

■=最優先 ○=主体
 □=優先 ○=協力、参加

基本戦略	主なアクションプロジェクト	取組主体			
		業者	団体	市民	行政
①ビーチでのアクティビティやイベントを充実させ、年中「人」が集うビーチづくりを進めます。	12 ビーチを活用した、キャンドルナイトやビーチサウナ等のイベントの充実	○	○	○	○
	13 シーカヤック、SUP、ダイビング、釣り等のマリンアクティビティを推進	○	○		○
	14 春・秋・冬の魅力的な映像発信	○	○		○
	15 里山・里海資源による観光商品づくり	○	○		○
②「人」を介して、森・川・海や産業、社会活動等の魅力を掘り起こし、観光資源化します。	16 eバイクを活用した周遊観光の推進	○	○		○
	17 里山文化案内人等ガイドの養成	○	○	○	○
	18 産業、社会活動等に関するガイドの養成	○	○	○	○
③「健康長寿」を最大限活かし、ヘルス&ウエルネス観光を確立します。	19 ジオトレッキングや長寿食を活かしたヘルスツーリズムの推進	○	○	○	○
④スポーツ施設を活用したスポーツ大会や合宿の誘致・開催のほか、企業、大学等と連携したビジネス観光を推進します。	20 スポーツイベント開催による宿泊促進	○	○	○	○
	21 スポーツ大会・合宿の誘致による宿泊促進	○	○	○	○
	22 MICE、ゼミ受入れやワーケーション等ビジネスユース推進	○	○		○

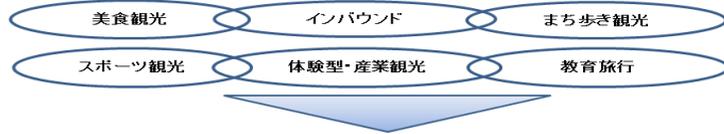
◇図-26

＜基本方針2＞ジオパークや四季の魅力を活かした「体験・滞在型の観光地」を目指します



取組テーマ <春・秋を強化する滞在と宿泊の魅力づくり>

地域資源が活用できる“春・秋”に適したツーリズムは...



それぞれで“春・秋”に照準を合わせたを「アクションプラン」を実行！

<アクションプラン(例)>

- 春、秋の旬の食材に特化した「ランチ企画」「宿泊プラン」などの一体的な実施
- 「スポーツイベント」「アクティビティ」など春・秋の実施と発地に向けた情報発信の強化
- 季節を問わない外国人観光客の誘致強化
- 夏季以外(3月、9月など)のスポーツ等合宿誘致の強化
- 春季がメインシーズンである修学旅行の誘致強化
- 春・秋ならではの体験プログラムを取り入れたツアー造成とPR強化
- 「京丹後ちりめん祭」(4月)など春・秋のイベントを活用したツアー造成
- 春・秋に適した「着物着付け体験」、「着物でまち歩き」などの実施
- イベント、体験プログラム参加者を宿泊につなげる仕組みづくり
- 春・秋の旅行ニーズが高い「シニア層」を狙った商品づくりと情報発信

<削除>

<基本方針3>外国人旅行者、宿泊客等の誘致を強化します

<基本方針3>多種多様な“文化資源”を活かし「なつかしい日本のふるさと・京丹後」を創造・発信します

■=最優先 ○=主体
□=優先 ○=協力、参加

■=最優先 ○=主体
□=優先 ○=協力、参加

基本戦略	戦略プロジェクト	取組主体			
		業者	団体	市民	行政
① ターゲットを明確にし、外国人旅行者のさらなる誘致に取り組みます	26 アジア圏（台湾、タイ、シンガポール等）及び欧州等を主ターゲットとした誘致活動	○	○		○
② 海の京都DMO、豊岡DMOなど広域連携によるインパウンドの取組を強化します	27 海の京都DMOや豊岡DMOと連携した各種プロモーション、誘致活動	○	○		○
③ 外国人旅行者を受け入れる態勢整備や観光関連事業者の機運醸成を推進します	28 宿泊施設、観光施設などでの多言語表示、Wi-Fi、免税店等の受入環境整備	○	○		○
	29 地域全体での受入機運醸成や外国人旅行者対応等へのスキルアップ	○	○	○	○
	30 “民泊サービス（住宅宿泊事業）”、“泊食分離”など、外国人旅行者のニーズに対応した宿泊、食事の提供	○	○		○
	31 あらゆる旅行者を受け入れる「ユニバーサルツーリズム」の導入	○	○		○
④ 教育旅行の受け入れを積極的に進めます	32 “ほんまもん体験”を活かした教育旅行の誘致活動	○	○		○
	33 「分宿」など、“民泊ニーズ”に対応する民宿等での受入態勢の整備	○	○		○
⑤ ゆっくり滞在できる宿泊、温泉の魅力向上を図ります	34 宿泊施設、温泉施設の環境整備、魅力向上と発信強化	○	○		○
	23 食、温泉、体験、宿泊などをセットにしたルートづくり（再掲）	○	○		○

基本戦略	主なアクションプロジェクト	取組主体			
		業者	団体	市民	行政
① 多様な史跡、文化財を活かした「文化観光」に取り組みます。	23 史跡、神社等の観光活用	○	○	○	○
	24 経ヶ岬灯台（周辺含む）の観光活用	○	○	○	○
② 豊富な伝説や伝承を活かして歴史を探访するコンテンツづくりを進めます。	25 伝説・伝承などの歴史文化のストーリーの観光活用	○	○		○
	26 地域の祭りや催事の観光活用	○	○	○	○

<基本方針4> 「ジオ・スポーツ」や「ジオ・アクティビティ」で観光交流人口の拡大を目指します

<基本方針4> SDGsに対応した「持続的で環境にやさしい観光地・京丹後」を推進します

■=最優先 ◎=主体
□=優先 ○=協力、参加

■=最優先 ◎=主体
□=優先 ○=協力、参加

基本戦略	戦略プロジェクト	取組主体			
		業者	団体	市民	行政
① 2020年東京オリンピック・パラリンピックの「ホストタウン」、「ワールドマスターズゲームズ2021 関西」等を通じた文化交流や地域経済の活性化に取り組みます	35 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けたカヌー競技の環境整備、相手国との交流事業等「ホストタウン」の取組	○	○	○	◎
	36 「ワールドマスターズゲームズ2021 関西」その他スポーツイベント等の実施		○		◎
② ジオパークなど豊かな自然や地域特性を活かした、“春・秋”を中心としたスポーツイベントの誘致・支援	37 ビーチスポーツ（ビーチバレーなど）、ウルトラマラソン、TANTANロングライドなど、“春・秋”を中心としたスポーツイベントの誘致・支援	○	◎		◎
	38 スポーツ施設等の必要な整備・管理とスポーツイベント、合宿等への活用	○	○		◎
③ ジオパークの魅力を活かした「ジオ・スポーツ」や「ジオ・アクティビティ」の場や機会を提供します	39 「ジオ」を活かしたカヌー、SUP、釣り、漁体験、ダイビング、トレッキング、サイクリングなど、スポーツやアクティビティ環境の提供	◎	◎		○
	40 安全・快適な海水浴の環境づくり等による誘客促進	○	◎		◎
	19 観光事業者、農漁業者等の連携による「ジオ」を活用した体験プログラムの提供（再掲）	◎	○		○
④ スポーツイベントの運営を地域で支える体制や経済波及効果による持続可能な運営の構築に取り組みます	41 スポーツイベントの支援・運営体制の構築	○	○	○	◎

基本戦略	主なアクションプロジェクト	取組主体			
		業者	団体	市民	行政
①本市の大切な資源であるビーチを、訪れる側、受け入れる側が一緒になって保全する取組を進めます。	27 観光客とともに取り組む海岸清掃の推進	◎	◎	◎	◎
	28 ブルーフラッグ認証の取得検討	◎	○	○	○
② 「山陰海岸ユネスコ世界ジオパーク」を活用し、食、体験、学びが融合した観光を進めます。	29 ジオパークを活用したツアー、トレッキング、イベント等の推進	◎	◎		○
	30 ジオパークを教材にした教育旅行の誘致推進	◎	◎	○	◎
③日本遺産の織物業や本市の基幹産業の機械金属業など、地域の歴史と特色を活かした産業観光を展開します。	31 宿泊と第1次産業の掛け合わせによる体験型宿泊商品の推進	◎	○		○
	32 織物業や機械金属業などの見学、体験とまち歩きを組み合わせた産業ツーリズムの推進	◎	◎		○
④世界中の人から選ばれる、環境に優しくサステナブルな観光地を目指します。	33 宿泊施設におけるアメニティ、フードロス改善の取組強化	◎	○		

<基本方針5>徹底したマーケティング手法で戦略的に観光情報を発信します

<基本方針 5>安全・安心・快適でユニバーサルな「人にやさしい観光地・京丹後」を推進します

※展開イメージ【◇図-27】

■=最優先 ○=主体
□=優先 ○=協力、参加

■=最優先 ○=主体
□=優先 ○=協力、参加

基本戦略	戦略プロジェクト	取組主体			
		業者	団体	市民	行政
① マーケティング調査による現状分析や実態把握などに基づき、テーマ、ターゲットを絞った情報発信を行います	42 マーケティング調査(全宿統一アンケート実施など)によるターゲット戦略の策定	○	◎		◎
	43 国内重要ターゲットを設定し、ターゲットを絞った情報発信を行います	○	◎		◎
② 海の京都DMOや豊岡DMOなど、広域連携によるメリットを活かした情報発信を行います	44 広域連携によるマスメディアの活用等、効果的な情報発信やプロモーションの実施		◎		◎
③ 効果的な情報発信ツールを選択し戦略的な情報発信を行います	45 パンフレット、紙媒体での情報発信の効果的な整備と活用	○	◎		◎
	46 ウェブサイト、SNSなどICTを活用した効果的な情報発信、PR	◎	◎	○	◎
	47 交通アクセス、情報化の進展などを踏まえた、市内での観光案内機能の整備	○	◎	○	◎
	48 観光大使の活用、SNS情報大使の創設、フィルムコミッション活動など効果的な発信の工夫	◎	◎	◎	◎

基本戦略	主なアクションプロジェクト	取組主体			
		業者	団体	市民	行政
①新型コロナウイルス感染症等の対策を万全に行い、安全安心な観光地を発信します。	34 感染防止対策の徹底を引き続き行う	◎	◎	○	◎
	35 国府の補助制度等の活用	◎	◎		◎
②アフターコロナに向けたインバウンド再開への対応を推進します。	36 観光看板や販促物等の多言語表記対応の推進	◎	◎		◎
	37 航空会社、民間OTA等と連動したコンテンツづくりと誘客の仕組みづくり	○	◎		◎
③高齢者や障害者など、すべての人にとって優しい観光地を目指します。	38 高齢者や障害者が利用しやすい観光インフラ及びサービスの推進	◎	○	○	◎
	39 海浜トイレ等の老朽力所の修繕、更新、洋式化等の整備と適切な維持管理				◎
④老朽化した海浜施設等の整備を進めます。	40 京都縦貫自動車道の全線片側2車線化と速やかな除雪対応、山陰近畿自動車道早期延伸、特急列車の乗り入れ等、災害時にも強い交通インフラの強靱化への要望活動	○	○	○	◎
	41 デジタル技術等を活用し、車での来訪が多いことを前提とした、交通、サービス、支払い等を一元化する取組の検討	○	◎		◎

◇図-27

国内のターゲット戦略

＜京丹後市現状データ＞

- 1 近畿圏でも以外と“認知度は低い”
 >>近畿53%、全国29%。天橋立は近畿98%、全国83%
- 2 来訪者の“出発地”のほとんどが“近畿圏”
 >>近畿90.4%、東海3.4%、首都圏2.6%
- 3 “再来訪意向”が高い
 >>81%。天橋立82%、伊根76%とともに高い
- 4 “食・料理”に対する満足度が高い
 >>73.8%。関西主要観光地で1位
- 5 “宿泊施設”の満足度が高い
 >>62%。関西主要観光地で1位
- 6 “20代・30代・40代”の満足度が高い
 >>20代:76%、30代:78%、40代:72%。
 50代:54%、60代以上:55%と比較して20%高い。
 「食」「宿」「温泉」が若い層に評価

＜国内市場の観光動向＞

- 有望市場は観光旅行に積極的な年齢層（20代、40代、60代）や旅行意欲の高い層（若い世代、高世帯収入層）
 ※国内旅行への意欲は、“20代女性”が最も強く、次いで“30代女性”
- 旅行の目的は、「食」「リフレッシュ」「家族や親しい人と過ごす（思い出、親睦等）」といった動機が強い
 ※「海の京都」観光地域づくり戦略（2017年3月）

視点

- 1 主マーケットの“近畿圏”でも知らない方が多く、伸び代あり
- 2 「食」と“宿”の満足度が高いことの活用、高い層への訴求
- 3 “体験・アクティビティ”で若年層、女性の旅行ニーズをつかむ

重要ターゲット

■“20代・30代の独身女性で、本物の良さがわかる知的好奇心の高い人”
※海の京都全体ターゲット（「海の京都」観光地域づくり戦略より）

+

- 海水浴以外にも「食」「体験」で親子とも満足できる
 “30～40代の子ども連れ家族旅行”
- 「身近に行ける」「魅力的な食がある」「期待を裏切らない週末滞在地」として
 “近畿圏からの夫婦、女性グループ”

＜削除＞

<基本方針6> 地域総ぐるみの観光地づくりを推進します

<基本方針6> デジタル技術を活用し、情報発信やマーケティングを展開する「観光DX・京丹後」を推進します

※展開イメージ【◇図-28】

■=最優先 ◎=主体
□=優先 ○=協力、参加

■=最優先 ◎=主体
□=優先 ○=協力、参加

基本戦略	戦略プロジェクト	取組主体			
		業者	団体	市民	行政
① 海の京都DMOや豊岡DMOなど関係府県市町等との広域的な取組と連携を強化します	49 海の京都DMOによる、京都府及び北部7市町が一体となった「海の京都観光圏」の取組推進	○	◎		◎
	50 豊岡DMOその他広域観光団体との連携	○	◎		◎
② 市観光協会を中心とした地域の観光推進体制の整備と関係団体等との連携を強化します	51 市観光協会を中心に、行政、観光事業者と連携した観光推進体制の確立と業界の一体化	◎	◎	○	◎
	52 市観光協会及び支部、地域における効果的な観光まちづくり・観光イベント等の実施	○	◎	○	○
③ 観光活動の原動力となる人材の育成と確保を行います	53 観光関係者の意識向上とスキルアップ	◎	◎		○
	54 U・Iターン促進、雇用環境や雇用条件整備等による人材確保の取組とAI(人工知能)活用の検討	◎	◎	○	◎
	55 繁忙期の人手不足を解消するための緊急対策の検討・実施	◎	◎	○	◎
	56 民間企業の専門性、ノウハウの活用による人材確保と人材育成の取組	○	◎		◎
④ “京丹後人気質”による「おもてなし」の向上を図ります	57 環境美化、丹後ちりめんの活用、「花いっぱい作戦」など、観光業をはじめ市全体における「おもてなし」の向上	◎	◎	◎	◎

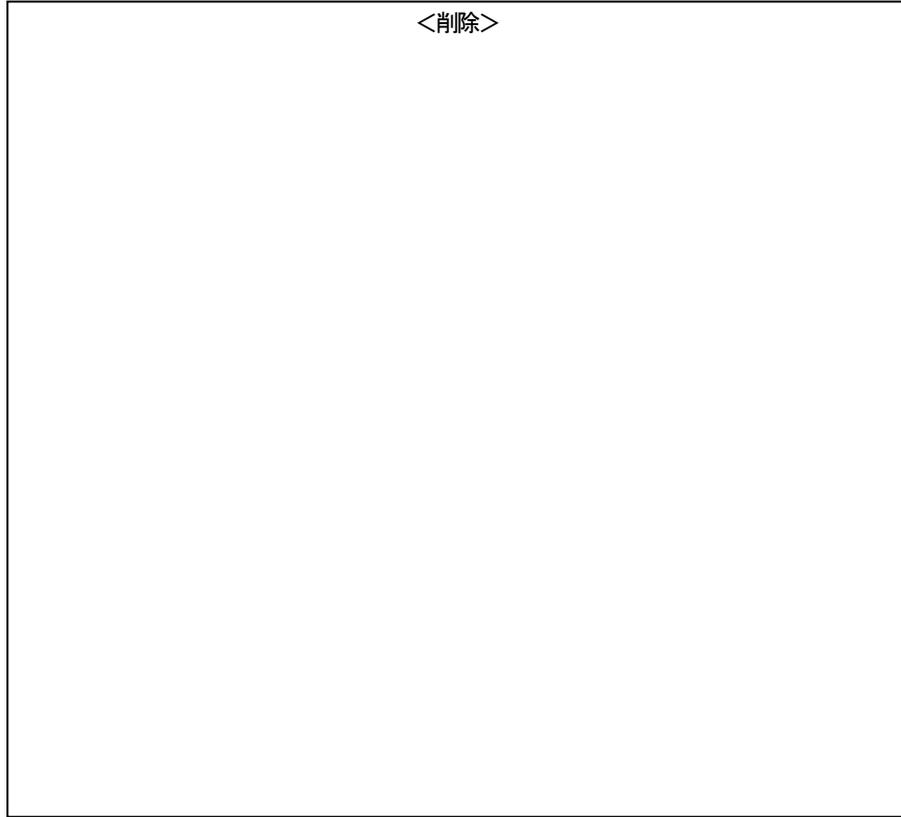
基本戦略	主なアクションプロジェクト	取組主体			
		業者	団体	市民	行政
① デジタル技術を活用した行動分析や実態把握などに基づく、ターゲティング、プロモーションを行います。	42 観光公社によるデジタルマーケティング、SNS発信やデジタル広告等の実施	○	◎		◎
	43 観光公社HP「Visit-Kyotango」を活用した海外向けプロモーションの展開	○	◎		◎
	44 メタバース、VR等、デジタル技術を活用した誘客促進の検討		◎		◎
② デジタル技術により事業者間の連携を図ります。	45 航空会社、民間OTA等と連動した発信	○	◎		◎
	46 フィルムコミッションによる、積極的なロケ受入れと、ロケ地としてのブランド力発信		◎		◎
③ 2025年の大阪・関西万博(レガシー含む)を見据えた周遊観光の促進を図ります。	47 2025年大阪・関西万博(レガシー含む)会場等と本市をつないだ、訪日外国人観光客等誘致促進	◎	◎		◎
④ 広域連携によるメリットを活かした情報発信を行います。	48 海の京都DMOやジオパーク推進協議会、豊岡DMO、北近畿広域観光連盟、麒麟のまち観光局等と連携した誘客促進や情報発信	○	◎		◎

現行（第3次計画）

<p>⑤ 公的観光施設の適切な管理・運営により、良好な利用環境を提供します</p>	<p>58 公的観光施設（道の駅、温泉、公園施設など）の適切かつ効率的な維持管理及び運営</p> <p>59 環境変化等に伴う市有観光施設のあり方（新規、見直しなど）の検討</p>	<p>○ ○</p>	<p>◎</p>
<p>⑥ 快適・安全・便利に移動できる交通環境やサイン整備を推進します</p>	<p>60 海岸沿いの高速道路をはじめとした交通アクセス、サイン（多言語化含む）、駅周辺等の整備及び災害時の安全確保と情報提供</p> <p>61 2次交通等移動、周遊手段（レンタカー、タクシー、レンタサイクル、公共交通空白地有償運送など）の充実、活用</p>	<p>○ ◎</p> <p>◎ ◎</p>	<p>◎</p> <p>◎</p>

改正案（第4次計画）

変更理由等



<基本方針7> 地域総ぐるみで取り組む「みんながつながる観光地・京丹後」を推進します

■=最優先 ◎=主体

□=優先 ○=協力、参加

基本戦略	主なアクションプロジェクト	取組主体			
		業 者	団 体	商 民	行 政
①観光を活用して、市民みんなが誇りをもてる地域づくりを進めます。	49 <u>観光分野への市民の参画を促します</u>	◎	◎		
	50 <u>観光客と市民の交流を深めます</u>	◎	◎	◎	◎
②観光公社への会員加入と異業種連携による会員拡大を図ります。	51 <u>観光業者の会員加入促進と異業種の観光分野参画促進</u>	◎	◎		
	52 <u>異業種連携による飲食クーポンや周遊クーポン等の造成による域内消費の向上</u>	◎	◎		
③観光立市の実現に必要な不可欠な観光人材の確保を図ります。	53 <u>他業種との人材交流による繁忙期の人的補完の推進</u>	◎	◎	◎	◎
	54 <u>観光業の高付加価値化と生産性向上に向けた人材確保</u>	◎	◎	◎	◎
④持続可能な観光振興を推進するための財源確保に努めます。	55 <u>観光業の高付加価値化等による観光消費増大</u>		◎		◎
	56 <u>ふるさと納税やクラウドファンディング等を活用した財源確保の促進</u>		○	○	◎
	57 <u>宿泊税等の導入検討</u>		○	○	◎

2 エリア別目標・地域別プロジェクト

エリアの現状や課題、特徴を踏まえて、関係者が一体となって取り組む目標と地域別プロジェクトを整理します。

2 エリア別目標・地域別プロジェクト

エリアの現状や課題、特徴を踏まえて、関係者が一体となって取り組む目標と地域別プロジェクトを整理します。

※「海岸エリア」と「里山エリア」をつなぐ新たな概念として、「グリーンベルト」を定義づけします。

「海岸エリア」と「里山エリア」をつなぐ概念として、「グリーンベルト」を定義づけ

(1) エリア別の目標・地域別プロジェクト

■=最優先
□=優先

(1) エリア別の目標・地域別プロジェクト

■=最優先
□=優先

エリア	目標	地域別プロジェクト
海岸 エリア	○ 海の京都の「主たる滞在促進地区」、「交流地区」として、宿泊、温泉等の魅力に磨きをかけます。	網野地域 1 「海の京都」の主たる滞在促進地区「夕日ヶ浦」における夕日の広場（仮称）など夕日、海、温泉、花の魅力開発・活用と無電柱化など街並み整備 2 野村克也ベースボールギャラリーの活用 3 日本遺産認定「丹後ちりめん回廊」を活かした機屋（網野、浅茂川）のまち歩きや八丁浜の海岸散策とシーサイドパーク活用の促進
	○ ジオパークに代表される海岸景観や漁港、漁業、豊富な食などの魅力を活用し、ほんまもん体験、まち歩き観光などに展開します。	4 網野銚子山古墳の整備と歴史・史跡の活用 5 漁港（浜詰、浅茂川、三津）を活用した見学、朝市等の実施 6 掛津の民宿を中心とした教育旅行の受入促進 7 日本一の鳴砂の浜「琴引浜」のさらなる活用、PR（動画制作など） 8 浦島太郎、静御前等伝説・伝承の活用
	○ 歴史・伝説、日本遺産に認定された「丹後ちりめん回廊」の機屋の街並みなどを活かした観光を推進します。	丹後地域 9 「青の洞窟」「愛の洞窟」の活用、シーカヤックなど「ジオパーク体験」のさらなる促進 10 間人漁港の競り見学などの観光活用 11 港町、ジオサイトを巡るまち歩き、さと歩き、温泉巡りなどの実施 12 滞在・周遊促進のための交通、道路整備と公共交通空白地

エリア	目標	地域別プロジェクト
海岸 エリア	○ 海の京都の「主たる滞在促進地区」、「交流地区」として、宿泊、温泉等の魅力に磨きをかけます	網野地域 1 「浜詰夕日の丘」、「夕日の路」を中心としたキャンドルナイト、ビーチサウナ等のビーチイベントや、マリナクティビティ、浜買い体験などの充実促進 2 網野銚子山古墳、郷村断層、浜詰遺跡、浦島太郎、静御前等の活用 3 日本遺産認定「丹後ちりめん回廊（網野、浅茂川）」、網野神社、嶋見神社、野村克也ベースボールギャラリー、八丁浜シーサイドパークなどを活かしたまち歩き観光の充実
	○ 美しい海岸景観や街並み、漁港、漁業、食などを活用し、ジオパーク体験をはじめとする滞在交流観光を展開します	4 掛津の民宿を中心とした教育旅行の受入促進 5 観光客と地域、市民、企業等をつなぐ海岸保全活動の推進 6 夕日ヶ浦地区の無電柱化（電線地中化）等街並み整備 7 静神社展望台、子午線塔、霧降の滝等、エリア内観光スポットの整備
	○ 史跡・歴史・伝説や、日本遺産に認定された「丹後ちりめん回廊」などを活かした文化観光を推進します	丹後地域 8 立岩、丹後松島、大成古墳群等のトレッキング、「青の洞窟」「愛の洞窟」※「高嶋海岸」等でのSUP、シーカヤック、「中浜漁港から経ヶ岬」のクルージング体験等の促進 9 間人ガニ、活イカ、沖ギス、ワカメ、地海苔等の水産資源や、食文化の発信及び間人漁港セリ見学等の観光活用 10 グリーンベルトを舞台にした里山里海コンテンツ、ヘルス

現 行 (第3次計画)		改正案 (第4次計画)		変更理由等
	<p>す。</p> <p><u>有償運送(ささえ合い交通)の活用促進</u></p> <p><u>13 地域の観光スポットを紹介する電子ガイドブック、外国人旅行者向けの観光マップの作成、活用</u></p> <p><u>14 「間人ガニ」の産地として「カニのまち」のさらなる発信</u></p> <p><u>15 大成古墳群周辺の整備及び古代の里資料館、神明山古墳を含む史跡、歴史の活用</u></p> <p><u>16 経ヶ岬(灯台)、犬ヶ岬散策道の適切な管理及び活用</u></p> <p>久美浜地域</p> <p><u>17 かぶと山園地整備と山頂展望台からの絶景の活用及びアクセス道の改良</u></p> <p><u>18 久美浜かきのさらなる活用と旬の食材を活かしたランチの促進</u></p> <p><u>19 「フルーツ街道(フードトレイル)」としての発信など、フルーツのさらなる活用と発信</u></p> <p><u>20 稲葉本家を中心とした久美浜一区の歴史的街並みの保全と活用、久美浜駅再生とまち歩き観光の促進</u></p> <p><u>21 久美浜湾岸沿い、かぶと山等への桜や花の魅力づくり</u></p> <p><u>22 トウテイラン、ユウスゲなど丹後砂丘の貴重な海浜植物の保全・保護</u></p> <p><u>23 久美浜湾、ロングビーチ(小天橋～箱石、函石浜遺跡)、蒲井・旭海岸等を活用した体験、ジオ・アクティビティ(ジオカヌーなど)、遊覧船等の促進</u></p> <p><u>24 湊宮での漁港活用とまち歩き観光の推進及び教育旅行の受入促進</u></p> <p><u>25 民間施設(美術館、観光農園、温泉等)の活用と連携促進</u></p>			
里山エリア	<p>○ <u>日本遺産認定「丹後ちりめん回廊」の織物業、「ハイテクランド」を構成する機械金属業を</u></p> <p>峰山地域</p> <p><u>26 日本遺産認定「丹後ちりめん回廊」(織物業)を活かしたまち歩き観光、産業観光の推進</u></p> <p><u>27 金刀比羅神社「狛猫」を核とした猫プロジェクトの推進</u></p> <p><u>28 羽衣天女伝説、月の輪田(稲作発祥伝説)、赤坂今井墳墓の活用</u></p>	<p>○ <u>海岸保全活動等を通じて、地域・観光客が一体となって取り組むビーチづくりを推進します</u></p> <p>久美浜地域</p> <p><u>11 国の重要文化財に指定の「経ヶ岬灯台」の観光活用</u></p> <p><u>12 老朽化した海浜トイレ等の改良整備</u></p> <p><u>13 アメニティー久美浜公園、久美浜駅、稲葉本家など、久美浜一区の歴史的街並みを中心としたまち歩き観光の促進</u></p> <p><u>14 久美浜駅(喫茶含む)、久美浜湾一周、フルーツトレイルを中心としたサイクリング・ツーリズムの促進に向けた環境整備</u></p> <p><u>15 かぶと山展望台へのアクセス整備と絶景活用</u></p> <p><u>16 久美浜湾、小天橋から箱石にかけてのロングビーチ、函石浜遺跡、蒲井・旭海岸等を活用したジオ・アクティビティ(ジオカヌーなど)促進とツリーハウスの活用</u></p> <p><u>17 大向展望台、じじら山展望台、旧大向キャンプ場進入路周辺等の整備</u></p> <p>峰山地域</p> <p><u>18 織物業、日本遺産認定「丹後ちりめん回廊」や、金刀比羅神社「狛猫」を核とした「ねこプロジェクト」を活かしたまち歩き観光の推進</u></p> <p><u>19 羽衣天女伝説、月の輪田(稲作発祥伝説)、赤坂今井墳墓等の活用</u></p> <p><u>20 機械金属業に関連した産業観光の推進</u></p> <p><u>21 金刀比羅神社境内、羽衣茶屋(磯砂山)等、エリア内観光スポットのトイレ洋式化等整備</u></p> <p>大宮地域</p> <p><u>22 内山ブナ林、府道655号線(味土野大宮線)のトレッキングルート化など、ネイチャーツーリズム造成</u></p> <p><u>23 小町公園、農業体験、農家民泊、温泉等、地域の歴史や文化、産業、暮らしをコンテンツとし人とふれあうツーリズムの推進</u></p>		
		里山エリア	<p>○ <u>日本遺産認定「丹後ちりめん回廊」の織物業、「ハイテクランド」を構成する機械金属業や史跡等を活かした産業観光、文化観光、まち歩き観光の整備などを進めます</u></p> <p>○ <u>農業、里山体験、森林観察など、人と自然が織りなす里山文化の観光に取り</u></p>	

かした産業観光、まち歩きを整備などを進めます。

○ 京丹後市の南玄関口としてのおもてなし機能を充実させ、観光客をあたたく迎えます。

○ 農業を活用した体験、山林での自然体験、花、山野草の魅力を活かした観光に取り組みます

29 機械金属業に関連した産業観光の促進

大宮地域

30 京丹後の南玄関口での花、ライトアップ等の環境整備

31 温泉、自然とのふれあい、農業を活用した体験、農家民泊等の提供

32 内山ブナ林などを活用したノルディックウォークの推進

33 小野小町ゆかりの地の活用

弥栄地域

34 丹後王国「食のみやこ」での食、花、山野草の魅力発信及び市内の観光施設間の連携促進

35 野間地域(野間川渓谷)の自然を活用した体験、農家民泊や食の提供

36 森林公園スイス村の芝桜、水辺公園の環境整備、丹後弥栄道路の桜並木など、花のおもてなし

37 細川ガラシャゆかりの地の活用

38 遠所遺跡、奈具岡遺跡、黒部銚子山古墳等の活用

組みます

24 植栽、ライトアップ、サイン設置等、京丹後の南玄関口としての環境整備

弥栄地域

25 丹後王国「食のみやこ」での各種イベント及び企業研修等による誘客

10 グリーンベルトを舞台にした里山里海コンテンツ、ヘルスツーリズム、eバイク周遊コンテンツづくり

26 森林公園スイス村「ゲレンデ広場」の活用(雪遊び、音楽イベント、森林トレッキング、マウンテンクロス、山頂ヨガなど)

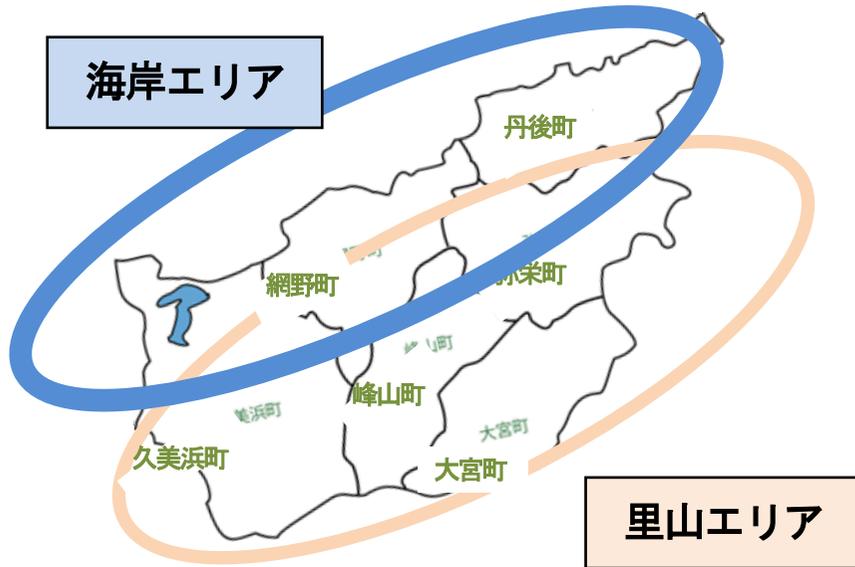
22 内山ブナ林、府道655号線(味土野大宮線)のトレッキングルート化など、ネイチャーツーリズム造成

27 細川ガラシャゆかりの地の活用

28 遠處遺跡、奈具岡遺跡、黒部銚子山古墳等の活用

29 携帯電話の電波状況改善

海岸エリア



海岸エリア

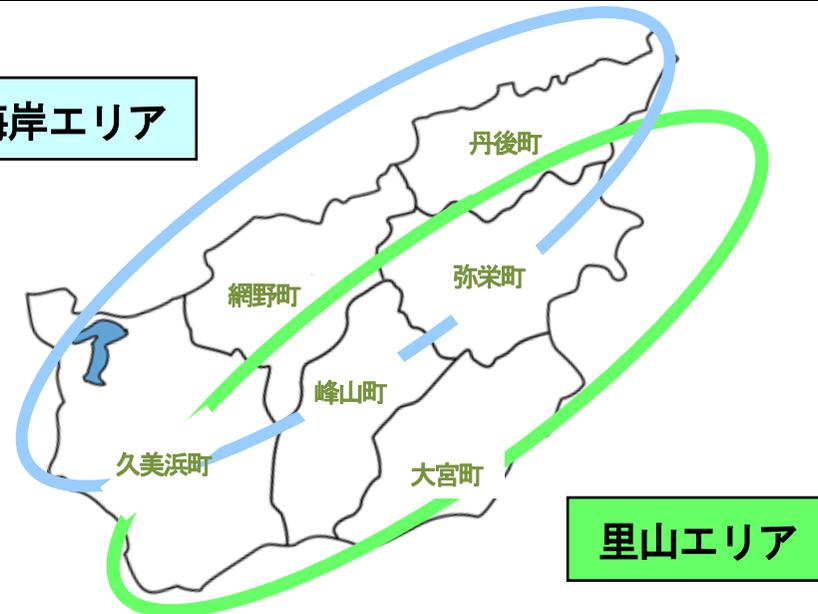


図-29

観光振興計画マップ



- 「海の京都」観光拠点
 - 夕日ヶ原エリア(自然も滞在促進地区)
 - 久美浜エリア
- 「海の京都」交通促進地区
 - 等引浜-閑人丘陵地区
- アウトドア主要スポット
 - 野-野
 - 丹波島
 - 立派-大蔵古墳群周辺
 - 野山
 - 夕日ヶ原
 - 小次郎-夕日ヶ原海岸
 - 久美浜及びかぶ山
 - スイス村及び野間地区
 - 御山山頂
 - 網野新郷
- 日本遺産「丹波ちりめん留蔵」構成文化財
 - ★あしぎぬの跡
 - ★福定寺
 - ★金刀比羅神社
 - ★丹波織物工業組合中央工場
 - ★足永織染場
 - ★網野-弥東の織屋の街並み
- ツーリズム圏エリア
 - アグリグリーンツーリズム
 - 産業ツーリズム
 - スポートツーリズム
- まち歩きスポット
 - ◆閑人-竹野-湯野町、ジヤ通り
 - ◆峰山-金刀比羅神社周辺(鈴鹿關道)
 - ◆網野-湯野川-織屋の街並み
 - ◆久美浜-区-歴史的街並み
 - ◆湯野-港町
- 歴史伝説スポット
 - 高井屋七郎伝説ゆかりの地
 - 浦島太郎伝説ゆかりの地
 - 主要な古墳、史跡、資料館
 - 日本の製作長村の地「月の輪田」
- 観光資源(構想(主要なもの))
 - 夕日の広場
 - 無電柱化事業
 - かぶ山開地
 - 大蔵古墳群周辺
 - 網野獅子山古墳
 - 観光案内-休憩機能
- 観光客行動圏(宿泊)重点エリア
 - 湯津地区
 - 湯津地区
 - 湯津地区
- 市の玄関口(機能整備)
 - ▲南宮駅口(大宮-峰山)
 - ▲西宮駅口(久美浜)
 - ▲東宮駅口(丹波)

図-26

観光振興計画マップ



- 「海の京都」観光拠点
 - 夕日ヶ原エリア(自然も滞在促進地区)
 - 久美浜エリア
- 「海の京都」交通促進地区
 - 等引浜-閑人丘陵地区
- アウトドア主要スポット
 - 野-野
 - 丹波島
 - 立派-大蔵古墳群周辺
 - 野山
 - 夕日ヶ原
 - 小次郎-夕日ヶ原海岸
 - 久美浜及びかぶ山
 - スイス村及び野間地区
 - 御山山頂
 - 網野新郷
- 日本遺産「丹波ちりめん留蔵」構成文化財
 - ★あしぎぬの跡
 - ★福定寺
 - ★金刀比羅神社
 - ★丹波織物工業組合中央工場
 - ★足永織染場
 - ★網野-弥東の織屋の街並み
- ツーリズム圏エリア
 - アグリグリーンツーリズム
 - 産業ツーリズム
 - スポートツーリズム
- まち歩きスポット
 - ◆閑人-竹野-湯野町、ジヤ通り
 - ◆峰山-金刀比羅神社周辺(鈴鹿關道)
 - ◆網野-湯野川-織屋の街並み
 - ◆久美浜-区-歴史的街並み
 - ◆湯野-港町
- 歴史伝説スポット
 - 高井屋七郎伝説ゆかりの地
 - 浦島太郎伝説ゆかりの地
 - 主要な古墳、史跡、資料館
 - 日本の製作長村の地「月の輪田」
- 観光資源(構想(主要なもの))
 - 夕日の広場
 - 無電柱化事業
 - かぶ山開地
 - 大蔵古墳群周辺
 - 網野獅子山古墳
 - 観光案内-休憩機能
- 観光客行動圏(宿泊)重点エリア
 - 湯津地区
 - 湯津地区
 - 湯津地区
- 市の玄関口(機能整備)
 - ▲南宮駅口(大宮-峰山)
 - ▲西宮駅口(久美浜)
 - ▲東宮駅口(丹波)

第4次京丹後市観光振興計画(案) 見直しの概要

第3次観光振興計画

I 計画概要	
【コンセプト】	“旬”でもてなす食のまち ジオの魅力あふれる「滞在型観光地」
【計画期間】	平成30年度から令和4年度
【目標数値(年間)】 ()はH28	・観光入込客数(219万人) 235万人 ・宿泊客数(36万人) 46万人 ・外国人宿泊客数(2,657人) 9,000人 ・観光消費額(68億円) 85億円 ・ジオ・スポーツ参加者 (1.2万人) 1.7万人 ・食の満足度(73.3%) 80% ・認知度[夕日ヶ浦](29%) 50%
【基本方針1】	「“旬”でもてなす食の観光」を徹底的に推進します
【基本方針2】	ジオパークや四季の魅力を活かした「体験・滞在型の観光地」をつくります
【基本方針3】	外国人旅行者、宿泊客等の誘致を強化します
【基本方針4】	「ジオ・スポーツ」や「ジオ・アクティビティ」で観光交流人口の拡大を目指します
【基本方針5】	徹底したマーケティング手法で戦略的に観光情報を発信します
【基本方針6】	地域総ぐるみの観光地づくりを推進します
【戦略プロジェクト】	1 戦略プロジェクト【65】 2 地域別プロジェクト【40】 ▶ 海岸エリア 27(2項目追加) ・網野町 9 ・丹後町 8 ・久美浜町 10 ▶ 里山エリア 13 ・峰山町 4 ・大宮町 4 ・弥栄町 5

II 目標数値の達成状況(R3)	
年間観光入込客数	128万人 (54.5%)
年間宿泊客数	29万人 (63.0%)
年間外国人宿泊客数	2,797人 (31.1%)
年間観光消費額	66億円 (77.6%)
ジオ・スポーツ参加者	2,302人 (13.5%)
食に関する満足度	—
認知度[夕日ヶ浦]	—

III 戦略プロジェクトの取組状況	
※詳細は年次報告書参照	
【基本方針1】【重点・優先】	戦略プロジェクト 14 → 取組状況 40
【基本方針2】【重点・優先】	戦略プロジェクト 13 → 取組状況 33
【基本方針3】	戦略プロジェクト 10 → 取組状況 28
【基本方針4】	戦略プロジェクト 8 → 取組状況 18
【基本方針5】	戦略プロジェクト 7 → 取組状況 13
【基本方針6】	戦略プロジェクト 13 → 取組状況 21
【エリア別目標・地域別プロジェクト】	地域別プロジェクト【40】 ▶ 海岸エリア 27(2項目追加) ・網野町 9 → 取組状況 15 ・丹後町 8 → 取組状況 17 ・久美浜町 10 → 取組状況 16 ▶ 里山エリア 13 ・峰山町 4 → 取組状況 7 ・大宮町 4 → 取組状況 6 ・弥栄町 5 → 取組状況 5

社会情勢・観光動向等、現状と課題分析

IV 社会情勢・観光動向等(3P～)	
1.観光政策の動向	
①観光は地方創生に不可欠の課題	
②観光立国は国民の幸せを追求する課題	
③新型コロナからの早期回復への期待	
2.社会経済環境の変化	
①世界の価値観の変化 (モノからココロへ、価値観多様化、安全安心・平和)	
②社会経済の変化 (SDGs、脱炭素、デジタル、円安・物価高)	
3.観光市場の動向	
①新型コロナウイルス感染症による変化 (自然志向、田舎志向、近隣観光、団体減少)	
②ターゲットは地域資源に共感できる人達 (地域固有資源、市民生活、ふるさと納税)	
③インバウンド早期回復への期待 (円安、訪日旅行の希望増)	
④環境に配慮した観光地づくり (環境配慮型の周遊手段・宿泊施設・食材)	
4.観光産業の構造的課題	
①宿泊業における人手不足	
②建物や設備の老朽化	
③労働生産性の向上	
④地域・産業・住民につながる好循環づくり	
⑤DXの遅れ	
5.京丹後市の観光の概況	

V 京丹後市の観光の現状(11P～)	
1.観光入込状況・観光形態・雇用状況	
①コロナの影響で観光入込客数は大きく減少	
②観光消費額は微減	
③夏・冬中心の「二季型」の観光地	
④コロナの影響で外国人観光客が激減	
⑤「認知度」は低い「満足度」は高い	
⑥車での来訪、関西圏からの来訪が多い	
⑦宿泊客に本市の魅力が伝えられていない	
⑧リピーター率・再来訪意向率は高い	
⑨観光関連の「人手不足」が深刻	

VI 課題及び対策の方向性(20P～)	
【1】二季型観光で年間通じて安定した誘客ができていない	
・春・秋及び平日来訪層への観光施策推進	
・季節を問わないヘルスツーリズムの推進	
・四季のコンテンツ開発を実現するための異業種連携とガイド育成等	
【2】宿泊客が市内周遊・滞在につながっていない	
・宿泊客の滞在長期化による観光消費増大	
・地域資源を観光価値化したコンテンツづくり	
・雨天時やランチ等立寄り処の整備	
・観光公社の会員加入と異業種の会員拡大	
【3】認知度が低く広域的な誘客が必要	
・マーケティングとデジタルプロモーションの強化	
・ターゲットとコンテンツ連動で全国へプロモーション	
・DMOやOTA等と連携した情報発信強化	
・京丹後ならではの魅力磨き・発信	
・2025大阪・関西万博を見据えたプロモーション	
【4】コロナ禍での観光客の行動変容やインハウスイノベーションへの対応	
・安全安心な観光地づくりの継続	
・訪日外国人向けプロモーションと航空会社等との連携・受け入れ態勢の整備	
【5】SDGsに対応した観光地	
・海岸保全等の環境配慮型の取組・発信	
・SDGsに対応した観光コンテンツづくり等	
・宿泊・観光施設におけるSDGsの取組	
【6】人材不足対応と観光振興財源の確保	
・通年型観光による通年雇用・雇用環境改善	
・U・ターン促進と異業種間の人的交流等	
・観光消費額増加に伴う税収の増加	
・宿泊税等の検討、ふるさと納税等の活用	
【7】観光インフラ整備や交通基盤の強靱化等	
・海浜トイレ等の適切な整備・維持管理	
・災害等へも備えた交通インフラ整備促進	

第4次観光振興計画(案)

VII 計画概要	
【計画の趣旨】(1P)	
「京丹後市観光立市推進条例」に基づき、これまでの観光振興計画の経緯を踏まえ、国内外の社会経済の変化、観光市場の動向などを理解した上で、本市の観光の現状と課題を整理し、市、市民、観光事業者、観光関係団体等が、「観光立市の実現」という共通の目的に向かって総合的かつ計画的に取り組むための施策の内容を明らかにする。	
【計画の期間】(9P)	
令和5年度から9年度(5年間)	
【明らかにする内容】(10P)	
・京丹後市の観光の現状と課題 ・将来ビジョン ・アクションプロジェクト	
第3次計画からの見直し項目】(10P)	
・構成を簡素化しわかりやすくする。 ・「目標数値」には、通年型観光を推進するために、「再来訪意向率」、「宿泊者数平準化率」を掲げる。 ・「海岸エリア」と「里山エリア」に加え、それぞれをつなぐ新たな概念として「グリーンベルト」を定義づける。	

VIII コンセプト(22P)	
彩り・味わい京丹後 海・森・里山 つながりの郷	
【コンセプトの説明】	
海・森・里山のつながりは、四季に「彩り」と「味わい」をもたらす、人々の「健康長寿」を支えています。人と自然のつながりは、数々の「技」を育み「日本のふるさと」とも言える「歴史・文化」を形成してきました。多様な事業者や市民がつながりこれらの価値を磨き上げることで、地域に誇りと愛着が生まれ、さらなる活力をもたらす、新たな交流を誘引します。そんな“つながり”で満ちた豊かさを実感できる観光立市を目指します。	

IX 目標数値	
【目標数値】(22P) R1→R3→R9	
・年間観光入込客数	211万人 → 128万人 → 240万人
・年間宿泊客数	36万人 → 29万人 → 55万人
・年間外国人宿泊客数	5,025人 → 2,797人 → 1万人
・年間観光消費額	71億円 → 66億円 → 105億円
・再来訪意向率	67.0% → 75.2% → 85.0%
・宿泊者数平準化率	42.0% → 34.9% → 50.0%
X 基本方針 (23P～)	
【基本方針1】	
豊潤な“食”の魅力を最大限発揮し「旨いものを食べるなら京丹後」を実現します	
【基本方針2】	
多彩な“人”の魅力を観光価値化し「何度でも訪れたい京丹後」を創出します	
【基本方針3】	
多種多様な“文化資源”を活かし「なつかしい日本のふるさと・京丹後」を創造・発信します	
【基本方針4】	
SDGsに対応した「持続的で環境にやさしい観光地・京丹後」を推進します	
【基本方針5】	
安全・安心・快適でユニバーサルな「人にやさしい観光地・京丹後」を推進します	
【基本方針6】	
デジタル技術を活用し、情報発信やマーケティングを展開する「観光DX・京丹後」を推進します	
【基本方針7】	
地域総ぐるみで取り組む「みんながつながる観光地・京丹後」を推進します	
XI アクションプロジェクト (25P～)	
【1 アクションプロジェクト】	
主なアクションプロジェクト【57】	
【2 エリア別目標・地域別プロジェクト】	
地域別プロジェクト【29】 ※「海岸エリア」「里山エリア」別	

第3次京丹後市観光振興計画

令和元年度・年次報告書

令和3年3月

京丹後市

《 目 次 》

- ① 戦略プロジェクトの事業実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1～P 14
- ② 地域別プロジェクトの事業実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 15～P 20
- ③ 令和2年度第2回京丹後市観光立市推進会議における主な意見・・・・・・・・ P 21～P 22
- ④ withコロナ、afterコロナを見据えたディスカッションから見える課題等（まとめ）・・・・ P 23～P 24

※本報告書は、京丹後市観光立市推進会議において、「第3次京丹後市観光振興計画」に基づく令和元年度の実施状況について審議し取りまとめたものです。

[会議：開催日]

第2回目・・・・令和3年3月24日

※第1回目・・・・令和2年9月4日（安全で安心な市民生活と観光立市のための新型コロナウイルス感染症等対策条例関係）

第3次京丹後市観光振興計画
①「戦略プロジェクト実施調書」

<基本方針1> 「“旬”でもてなす食の観光」を徹底的に推進します

【重点・優先】

最優先=赤 優先=オレンジ

基本戦略	戦略プロジェクト	取組主体				市関係課	関係団体	戦略プロジェクト(事業、取り組み)		実施年度				
		業者	団体	市民	行政			事業名	事業概要	H30	H31 R1	R2	R3	R4
①豊富で質の高い食の魅力を磨きをかけ、価値を高めます	農林漁業者、加工業者等の生産、保存、加工、料理技術の向上	◎	○	○	○	観光振興課		旬でもてなす食の観光地づくり人材養成事業	料理技術の向上や観光関連事業者の機運醸成、レシピ共有化等につなげるため、「サン・セバステア(スペイン)への視察研修」を支援する。	○				
						商工振興課	商工会	食のおもてなし提供力向上セミナー開催事業	平成31年3月13日、「海外視察研修」の報告及び「たんちよす」発表会を開催。	○				
						商工振興課	丹後地域加工食品品質向上連絡会	食品品質向上セミナー開催事業、栄養成分分析サービス事業、HACCP講習会開催事業	京都府、京丹後市、アミティ丹後、商工会、観光公社などで構成する丹後地域加工食品品質向上連絡会を設立し、加工食品製造者の商品開発、加工技術の向上、販路開拓を支援。		○	○		
						観光振興課	観光公社 京丹後美食都市研究推進会	[R1] 京丹後ガストロノミカ2019 たんちよすバル [R2] 京丹後ガストロノミカ	料理人、加工業者、生産者らが集い、研究、発表、交流する食と料理の学会。京丹後市の新しい料理“たんちよす”を食す。※“たんちよす”とは、スペインの一口料理「ピンチョス」の京丹後版。京丹後の食材を使い、四季を感じる手軽に食べられる料理。 【商工会】R1年度「たんちよす」「TANTXOS」の商標出願を実施。R2年度「たんちよす」「TANTXOS」の商標登録を完了。 四季の食材を活用した食関連事業所の展開支援を開始。また、たんちよすの展開として「たんちよすバル」の実施を支援。今後は食関連事業者にライセンス付与し、地域住民や観光客等に商品名として販売することで、効果的な発信及び認知度を高め、ブランド化推進を図る。		○	○		
						観光振興課	京丹後美食都市研究推進会	RicoLabo(リコラボ)	丹後王国「食のみやこ」の休眠レストラン等を使用し、京丹後美食都市研究推進会が中心となって、市内の料理人、加工業者、生産者らが食材や技術を気軽に持ち寄って、交流しながら、研究、発表するもの。(R2年度からは、丹後王国「食のみやこ」レストランの使用ができなくなったため、市内店舗等を使用)		○	○		
②旬の地元食材を活用した“地産来消”に取り組みます	飲食店、宿泊施設、土産物店等での旬の地元食材活用、「フードトレイル」の実施など販売の促進	◎	○	○	○	観光振興課		京丹後フードトレイル創造事業	網野町浜詰から久美浜町甲山までの間に建ち並ぶ、果樹の直売所を活かした観光の魅力づくりを創出するため、数店舗の店先で、旬のフルーツを使ったジュースやパフェなどを提供する「フードトレイル(フルーツトレイル)」を実施する	○	○	○		
						観光振興課	観光公社	企画・販売事業(域内調達率向上)	観光消費の拡大と域内経済への波及(域内調達率の向上)を目指して、地元産食材にこだわった“ロケ弁”等の開発に取り組んでいる。		○	○		
						観光振興課	観光公社	京丹後ふるさと旅行券キャンペーン事業	・令和2年9～10月に実施した「京丹後ふるさと旅行券キャンペーン(秋旅)」で、京丹後産新米コシヒカリのほか、久美浜町産の梨やフルーツスムージーを旅行券利用者に特典提供する。(提供数:新米(2合)2,130袋、梨1,099件、フルーツスムージー1,370件) ・令和2年11月6日から令和3年3月20日まで実施中の「京丹後ふるさと旅行券キャンペーン(冬旅)」で、本市の特産品「久美浜かき」を旅行券利用者に特典提供する。				○	
	3	市内での地元食材流通の仕組みづくり	◎	○		○	農業振興課		生産者と料理人の情報交流会	生産者による農産物のPRトークなどを通じて、生産者と料理人が交流を図り、情報共有をすることで地産地消を進める「つながり」を生み出す。		○	○	
4	地元食材の情報の「見える化」	◎	○		◎	農業振興課		地元産食材の情報収集事業	市内農産物の直売所や、農産物の旬や特徴を紹介することにより購買促進を図るため、農産物買い処マップを作成する予定(令和2年度)				○	

第3次京丹後市観光振興計画

①「戦略プロジェクト実施調書」

③食を活用した様々な「商品化」と付加価値を高める「ブランド化」に取り組みます	5	食に関する体験プログラムの提供	◎	○	○	観光振興課	観光公社	企画・販売事業	・インバウンド及び国内観光客向け京丹後のコンテンツ(体験、観光ルート)を開発する。体験プログラム:ピチピチにぎり寿司体験、イチゴ&桃狩り体験 ・『「百寿人生のレシピ」体感プログラム』(令和2年12月21日付ヘルスツーリズム認証取得)で、「宇川加工所」が地元の旬の食材を使った昼食「百寿食メニュー」を開発、提供。市食生活改善推進員が「百寿人生のレシピ」伝達講習会(食生活指導)を実施。	○	○			
	6	食に関する共通宿泊プランや旅行商品づくり	◎	◎	○	観光振興課	実践会議	京丹後“旬の逸品”お宿プラン	地元で獲れた水産物を使った旬の逸品料理をお客様に提供し、「食」と「宿泊」の魅力向上を図る宿泊キャンペーンを実施する。(平成30年3月1日～令和元年6月30日)	○	○			
	7	“健康”、“長寿”、“環境”などを活かす名物となる土産物や料理、食材などの改良、開発	◎	○	○	観光振興課	京丹後宿おかみさんの会	まごわやさしいこ「朝食プラン」	京丹後米と京丹後で育った「まごわやさしいこ」食材をつかった栄養バランス抜群の朝食を提供し、お客様に朝から健康になっていただくとう企画。	○	○	○		
						観光振興課	観光公社	企画・販売事業	『「百寿人生のレシピ」体感プログラム』(令和2年12月21日付ヘルスツーリズム認証取得)で、「宇川加工所」が地元の旬の食材を使った昼食「百寿食メニュー」を開発、提供。	○	○			
		「食」と「伝統産業」に関する知的財産を活用したブランド化展開	◎	○	○	商工振興課	商工会	「丹後ちりめんロール」販売支援	商工会が出願中の商標権【丹後ちりめんロール】を、地域の菓子製造販売業者にライセンス付与し、地域住民や観光客等に、ロールケーキの商品名として販売することで、効果的な発信及び認知度を高め、伝統産業と共にブランド化推進を図る。			○		
	8	新たな“海のブランド食材”の開発	◎	◎	○	海業水産課	観光公社	水産資源を活かした食の観光まちづくり事業	・「活イカ」等の特産品化を効果的に進めていくため、水産資源を活用した観光誘客事業を支援していく。(令和元年度に予算化し、関係団体と活イカの地産来消についての基盤づくりに取り組んだが、例年5月下旬から獲れる白イカが時期になっても全く獲れず、結局、7月下旬まで水揚げが遅れたためモデル事業を実施することができなかった。)	○	○			
									・令和2年11月6日から令和3年3月20日まで実施中の「京丹後ふるさと旅行券キャンペーン(冬旅)」で、本市の特産品「久美浜かき」を旅行券利用者に特典提供する。 ・観光公社と京都府漁協が、「久美浜かき」PRチラシとポスターを作成。			○		
	④「旬」でもてなす食の観光の戦略的な発信とプロモーションを行います	9	動画、SNSなど効果的な情報発信ツールを活用したPR	◎	◎	○	◎	観光振興課	観光公社	動画・写真PRコンテンツ作成	・訴求力のある高度な“旬の食”PR用動画、写真コンテンツ作成 ・“京丹後の魅力”を募ったフォトコンテストで「Facebookいいね賞」部門を設けて、観光公社公式Facebookを活用し、応募作品を配信・拡散。京丹後の認知度を高め、共感を生み出すことにより、来訪の動機付けを行った。 ・「京丹後ふるさと旅行券キャンペーン(冬旅)」のプロモーションとして、訴求力の高い「間人ガニ」を素材にしたポスター及び動画を作成。	○	○	○
観光振興課								観光公社	WEB・マーケティング事業	SNS(Facebook・Instagram)を活用した観光情報発信力の強化に加え、拡散性、ターゲティング精度の高さを活かしたFacebook広告の配信等、WEB広報媒体の特性を活かした戦略的なWEBの運用。			○	○
10		デザイン性と統一性のあるイメージ戦略の推進		○		◎	観光振興課	“旬の京丹後”イメージ啓発・普及事業	「食のまち京丹後」の象徴となる「ロゴマーク」と「キャッチコピー」を活用し、効果的な発信及び認知度を高め、食のまちのブランド化推進を図る。啓発のぼり旗の作成及び啓発看板の表示張替え。	○	○	○		
11		食材の魅力、豊富さや食事処、土産の発信	◎	◎	○	○	観光振興課	商工会	食の魅力発信事業(海外食材アピール商談会)	「食」の魅力と「観光」を広く発信するため、互いの事業者が連携して、「輸出」と「インバウンド」のBtoBtoC商談会を2日間実施。(商工会単独事業) 日程:平成31年9月13日～14日 場所:シンガポール 市内事業者10社参画 昨年からの継続発展事業の一環として、「旬の食材」BtoC向け試食販売マーケティング事業を、一定期間店舗の棚を賃貸して約4ヶ月間実施。(商工会単独事業) 期間:令和元年10月～令和2年1月 場所:バンコク	○	○		

第3次京丹後市観光振興計画
①「戦略プロジェクト実施調書」

④「旬」でもてなす食の観光」の戦略的な発信とプロモーションを行います	11	食材の魅力、豊富さや食事処、土産処の情報発信	◎	◎	○	○	観光振興課	観光公社	京丹後市マルシェ	東京海上日動火災保険㈱本社ビル(東京都千代田区丸の内)で、同本社の社員約4,500名を対象に、京丹後の特産品販売と観光PRを行う物産展「京丹後市マルシェ」を、京丹後市、アミティ丹後、東京海上日動火災保険㈱京都支店との共催で開催。 (販売実績:710千円)	○				
							観光振興課		食の魅力発信事業(観光大使PR動画)	市観光大使の太川陽介氏(タレント)が京丹後産品をPRする動画を作成	○	○			
							観光振興課	観光公社	観光パンフレット「旬めぐり旅京丹後」の発行	「かわいい」「おいしい」「体験」をキーワードに、市の観光総合パンフレットをリニューアル。市内の食事処や土産処等の情報を発信(令和元年度40,000部作成)	○	○			
							観光振興課	観光公社	観光キャンペーン広報事業	京都市内のファミリー世帯をターゲットに約48万部配布される情報誌で、「ズワイガニ」「久美浜かき」「日本酒」等、本市の“冬の魅力”を発信。(「リビング京都」R2年10月3日号)				○	
							観光振興課	観光公社	マイクロツーリズム・プロモーション事業	コロナ禍において、地域の魅力の再発見と地域経済へ貢献するため、3密を避けながら地元の方が近場で過ごす旅のスタイル“マイクロツーリズム”を提案・実践。				○	
							観光振興課	観光公社	ECサイト運営事業	「京丹後の知名度アップ」「地域経済の活性化」「観光公社の経営改善」等の効果を狙った観光公社地場産品通販サイト「京丹後ふるさと便」の構築・運営。				○	
							観光振興課	観光公社	京丹後ふるさと宿泊クーポン券発行事業	京丹後の食材の魅力と豊富さ、高満足度のおもてなし等を活かして、観光公社会員施設への送客及び地域経済の活性化と高付加価値化を図るため、京丹後市のふるさと納税制度を活用した「京丹後ふるさと宿泊クーポン券」の発行事業に取り組む。				○	
12	都市部での食に関するイベント、マルシェ等の実施、参加	◎	◎	○	◎	観光振興課 生涯学習課	観光公社 国際交流協会	インバウンド特化事業(ハラール料理試食会)	京丹後を訪れるムスリム旅行者が増加傾向にある中で、市国際交流協会及び市教育委員会との共催により、公社会員を対象にした「ハラール料理試食会」を開催(令和2年2月19日予定)。安心して京丹後の食を楽しんでいただくための、ハラールの調理法の紹介と試食会。	○					
						観光振興課	観光公社	京丹後市マルシェ	東京海上日動火災保険㈱本社ビル(東京都千代田区丸の内)で、同本社の社員約4,500名を対象に、京丹後の特産品販売と観光PRを行う物産展「京丹後市マルシェ」を、京丹後市、アミティ丹後、東京海上日動火災保険㈱京都支店との共催で開催。 (販売実績:710千円)(再掲)	○					
						観光振興課		“旬の京丹後”プロモーションイベント開催事業	都市部(関西圏又は首都圏)で開催される食イベント等において、市観光大使の太川陽介氏(タレント)が京丹後産品をPRする。	○					
⑤「旬」でもてなす食の観光」の戦略を関係者が共有し、機運を高め、一体的に進めます	13	食に関する異業種間の事業者連携・交流・研修機会の創出	◎	◎		◎	観光振興課		美食観光のまちづくりワークショップ	ワークショップや勉強会の開催及び先進地視察を行うなど、様々な立場の関係者の意見を踏まえながら美食観光を推進。今後は、ガストロミカ、リコラボの実施などで取り組んでいく。	○				
	14	市民、関係者に対する啓発イベント等の実施、参加	○	◎	○	◎	観光振興課	観光公社 京丹後美食都市 研究推進会	京丹後ガストロミカ たんちよすバル(再掲) RicoLabo(リコラボ)(再掲)	料理人、加工業者、生産者らが集い、研究、発表、交流する食と料理の学会。京丹後市の新しい料理“たんちよす”を食す。	○	○			

第3次京丹後市観光振興計画
①「戦略プロジェクト実施調書」

<基本方針2> ジオや四季の魅力を活かした「体験・滞在型の観光地」を目指します

【重点・優先】

最優先=赤 優先=オレンジ

基本戦略	戦略プロジェクト	取組主体				市関係課	関係団体	アクションプラン(事業、取り組み)		実施年度					
		業者	団体	市民	行政			事業名	事業概要	H30	H31 R1	R2	R3	R4	
①「ユネスコ世界認定」を受けた「山陰海岸ジオパーク」の資源を守り、積極的に活用します	15	日本一の砂浜海岸づくりに向けた砂浜や「ジオサイト」の保全など、自然環境及び景観の保護・保全、清掃活動	○	◎	○	◎	観光振興課 市民局	各地区、NPO法人まちづくりサポートセンター、観光協会等	主要ジオサイト、海岸の環境整備	主要ジオサイトである立岩周辺、大成古墳、小天橋から浜詰のロングビーチをはじめ、市内各地の海岸等において、一斉クリーン作戦、定期的な清掃活動等による保全活動の実施	○	○	○		
	16	海浜施設や自然公園施設(トイレ、シャワー、遊歩道など)の適切な維持管理		○		◎	観光振興課		自然公園及び海浜施設の管理事業	海浜施設や自然公園施設(トイレ、シャワー、遊歩道など)の適切な維持管理を実施する。	○	○	○		
	17	市民・関係者へのジオパーク、自然環境保全の普及啓発活動					観光振興課	NPO法人まちづくりサポートセンター	ジオパーク専門ガイドの常駐	山陰海岸ジオパーク「京丹後市情報センター」にジオパーク専門ガイドの常駐。	○	○	○		
							観光振興課		ガイド養成講座	専門的知識を持つガイド養成講座を開催する。	○	○	○		
							観光振興課	ジオパーク推進協議会	山陰海岸ユネスコ世界ジオパーク普及啓発	パンフレット・ホームページ・Facebook等で広報	○	○	○		
							教育総務課	各小学校	大地の学習	市内全小学校の6年生が、郷村断層、鳴き砂文化館、間人の柱状節理等を現地で見学し、地元の歴史や地形について学び、地域に誇りをもつきっかけとする	○	○	○		
							生涯学習課		高齢者大学	美しい自然資源を次の世代へ伝えることについて考えるため、鳥取県、兵庫県を含むエリア内の施設見学、自然散策などの野外学習のほか、山陰海岸ジオパークや丹後震災、防災に関する講演会の実施。	○	○	○		
							生涯学習課		公民館講座「ジオ・山野草ウォーキング」	丹後町袖志、網野町掛津、久美浜町箱石などを歩きながら、山陰海岸ジオパークについて学び、海浜植物、海洋汚染等について考える。成人対象。		○	○		
							生涯学習課		公民館講座「たんごふるさと探検隊」	地域の海浜、河川、山などの自然環境について、体験活動を通して見つめ、自然を守り育てることについて考える。小学生対象。	○	○			
					生涯学習課		公民館講座「夏休み子ども体験教室in山陰海岸ジオパーク」	地元の自然について興味や関心を持ち愛着の心を育む。元年度は久美浜カヌー競技場での「カヌー体験」、弥栄町野間から丹後町宇川までの約13キロを山野草などについて学びながら歩く「チャレンジウォーク」を実施。小学生対象。	○	○	○				
18	「ジオ」を活用した商品やツアーの開発、イベント実施					観光振興課	NPO法人まちづくりサポートセンター	「京丹後 山陰海岸ジオパークジオと長寿の京丹後を歩こう!!」ガイドウォーク	毎月、ガイドウォークツアーを実施。	○	○	○			
						観光振興課	観光公社	観光コンテンツ開発	・インバウンド及び国内観光客向け京丹後のコンテンツ(体験、観光ルート)を開発する。 ・NPO法人まちづくりサポートセンターと観光公社が連携し、山陰海岸ジオパークエリアを歩くツアー「京丹後縦断トレイル」を企画し、神姫バスツアーズ(兵庫県姫路市)が採用。(令和2年4月から月に1行程ずつ、全8回の実施を予定していたが、コロナ禍において延期となった。) ・弥栄町野間エリアの自然、文化、暮らしを巡るe-Bikeによるサイクリングツアーを造成。		○	○			

第3次京丹後市観光振興計画

①「戦略プロジェクト実施調書」

②海、山、里の地域資源を活かした四季折々の“ほんまもん体験”を提供します	19	観光事業者、農漁業者等の連携による、「ジオ」を活用した体験プログラムの提供	◎	○	○	○	観光振興課	観光公社	ほんまもん体験推進事業	市内の宿泊施設、観光関連団体の関係者が市内各地で実施されている体験プログラムの現場を訪れ、それらのプログラムを実際に体験し、その価値や魅力を観光誘客につなげるファミツアーを実施する。今後は、観光公社のツアー造成の中で取り組む。 ・夕日ヶ浦観光協会（誘客推進委員会）と観光公社が連携し、夕日ヶ浦エリアにおける新たな体験コンテンツとして「ナイトSUP」と「e-Bikeガイドツアー」を開発。	○	○	○		
	5	食に関する共通宿泊プランや旅行商品づくり	◎	○	○	○	観光振興課	実践会議	京丹後“旬の逸品”お宿プラン	地元で獲れた水産物を使った旬の逸品料理をお客様に提供し、「食」と「宿泊」の魅力向上を図る宿泊キャンペーンを実施する。（H30.3.1～R1.6.30）	○	○			
③日本遺産「丹後ちりめん回廊」の織物業や「ハイテクランド」を構成する機械金属業など地域の特色ある産業を活かした「産業観光」を展開します	20	織物業や機械金属業などを活用した、見学、体験、まち歩き、食を組み合わせたツアーなどの提供	◎	◎	○	○	観光振興課	観光公社	こまねこまつり まち歩きツアー	「ねこ」と「丹後ちりめん」をキーワードに、京丹後市峰山町の街歩きを楽しむ「こまねこまつり」に合わせ、地元ガイドと楽しむ街歩きツアーを実施。		○			
							観光振興課	観光公社	丹後ちりめん活用した見学・体験等コンテンツ開発	・英国船籍のクルーズ船オプションツアー客を田勇機業ちりめん工房に誘致。丹後ちりめんを活用したコンテンツ開発・商品開発を実施。 ・与謝野町観光協会と観光公社が、与謝野町と京丹後市の織物職人を訪ねる1泊2日のプレミアムツアー「シーラ・クリフと巡る丹後ちりめん工房」を企画し、令和2年10月25、26日に実施。（神奈川県や愛知県などから女性10名が参加した。） ・令和2年12月5日、市国際交流協会と観光公社のコラボ企画として、「The Quest for Silk -Tango Chirimen-丹後ちりめん探究ツアー」を網野町内で開催。（アメリカやイギリス出身の京丹後在住外国人男女10人が参加した。）		○	○		
							観光振興課	京都府オーシャンロード推進協議会	京都オーシャンロード～間人皇后と丹後王国ものがたり～	古代ロマンあふれる丹後を「電動アシスト自転車」でめぐるツアーの実施。		○			
④「丹後王国」などの歴史や遺跡、ふるさとの伝説を観光へ活用します	21	歴史や文化、遺跡、祭りなど文化財の活用	○	◎	○	◎	文化財保護課		網野銚子山古墳整備事業	網野銚子山古墳の整備に必要な情報を得るための発掘調査を実施したほか、整備工事を一部着手した。発掘調査現場は、調査途中に現地説明会を開催し、成果の公表と活用をはかった。	○	○	○		
							生涯学習課	京都:Re-Search実行委員会（京都府）	アーティスト・イン・レジデンス事業（京丹後）	平成30年度に市外若手アーティスト5名が京丹後市内の資源を活用したアートのリサーチを実施。令和元年度及び2年度に峰山町吉村機業(株)旧織物工場などを会場として創作したアート作品の展示会及び展示を見学する市外からのツアーを実施。	○	○	○		
							観光振興課	観光公社	体験ガイドブック「わくわく京丹後へGO！」 観光公社ホームページ	体験ガイドブックと観光公社ホームページ・SNSで観光体験メニューのPRを実施。		○			
22	京丹後七姫伝説や浦島太郎伝説、鬼退治伝説など、伝説や伝承の活用	◎	◎	○	◎		丹後王国食のみやこ	「丹後七姫劇団」PR事業	丹後に伝わる七姫伝説をモチーフに、歌や踊り、太鼓、芝居で丹後エリアをPRしている。（平成30年度 公演3回、イベント出演22回）	○	○				
⑤「海の京都観光圏整備計画」を踏まえた「滞在型の観光地」をつくります	23	食、温泉、体験、宿泊などをセットにしたルートづくり	○	◎	○	○	観光振興課	実践会議	・宿泊事業者向け体験型観光ファミツアー ・企画列車モニターツアー	・宿泊客に京丹後での過ごし方を直接案内する宿泊事業者等が地域の資源への理解を深め、自信を持って京丹後の魅力を提案できるように体験ツアーを実施。 ・当地域のローカル鉄道（京都丹後鉄道）を観光コンテンツの一つとし、新たな着地型商品の造成。	○				
							観光振興課	観光公社海の京都DMO	観光コンテンツ開発	食、温泉、体験、宿泊などをセットにしたルート造成は検討を重ねている。久美浜牡蠣の日帰り食べ放題プランを観光公社と牡蠣小屋が開発し、WEB広告でPRを実施。	○	○	○		

第3次京丹後市観光振興計画

①「戦略プロジェクト実施調書」

⑤「海の京都観光圏整備計画」を踏まえ「滞在型の観光地」をつくります	23	食、温泉、体験、宿泊などをセットにしたルートづくり	○	◎		○	生涯学習課 観光振興課	海の京都DMO 観光公社 WMG実行委員会	ワールドマスタースゲームズ2021関西「観光・文化プログラム」の商品化	大会実施計画の中で「観光・文化プログラム」を企画。令和4年度に実施する大会参加者へ販売するとともに、大会終了後も活用を図る。		○	○			
							観光振興課	観光公社	企画・販売事業(ヘルスツーリズム)	100歳人生を支える郷土食と長寿健康法が体験できるプログラム「百寿人生のレシピ」を開発(令和2年12月21日付ヘルスツーリズム認証取得)。		○	○			
	24	自然、街並みなど景観の保全・形成とまち歩き・さと歩き観光の推進	○	◎	○	◎	観光振興課	実践会議 観光公社	サイクリング、街歩きの魅力発信	レンタサイクルの利用促進等、地域の魅力発信に繋げる。 木製サイクリングスタンド、レンタサイクル啓発スタンド看板(久美浜駅前)等設置。		○	○	○		
	25	「海の京都」京丹後市マスタープランに基づく「戦略拠点」(久美浜・夕日ヶ浦)、「交流地区」(久美浜・網野・丹後)の魅力向上	◎	◎	○	◎	観光振興課	海の京都DMO 観光公社	「戦略拠点」「交流拠点」の魅力向上	夕日ヶ浦観光協会(誘客推進委員会)への継続的な伴走支援、掛津地区への訪日教育旅行受入支援等。		○	○	○		

第3次京丹後市観光振興計画
①「戦略プロジェクト実施調書」

<基本方針3> 外国人旅行者、宿泊客等の誘致を強化します

最優先=赤 優先=オレンジ

基本戦略	戦略プロジェクト	取組主体				市関係課	関係団体	アクションプラン(事業、取り組み)		実施年度				
		業者	団体	市民	行政			事業名	事業概要	H30	H31 R1	R2	R3	R4
①ターゲットを明確にし、外国人旅行者のさらなる誘致に取り組みます	26 アジア圏(台湾、タイ、シンガポール等)及び欧州等を主ターゲットとした誘致活動	◎	◎		○	観光振興課	海の京都DMO 豊岡DMO	シンガポール宿泊誘致・観光PR事業	海の京都DMOと豊岡DMOと連携し、市内宿泊事業者とともにシンガポールで開催された旅行博「NATAS」に出展することで、個人旅行者向けのPRを実施。	○				
						観光振興課	観光公社	海外誘客主要ターゲット国選定	海外誘客主要ターゲット国に、欧米豪:「アメリカ」「フランス」「オーストラリア」「イギリス」、アジア:「台湾」「香港」「タイ」「シンガポール」を選定し、インバウンド対策(WEB・マーケティング事業)を展開。		○	○		
						観光振興課	観光公社	在日外国人向け認知拡大WEB広告配信事業	コロナ禍で外国人旅行者が見込めない中、海外誘客主要ターゲット国出身で、京阪神エリアに在住の観光に興味を持っている外国人約600人をターゲットに、京丹後市及び観光公社の海外向けWEBサイト「Visit Kyotango」の認知度向上を目的に、WEB広告を配信。(海外誘客主要ターゲット国の京阪神エリア在住外国人約153,000人)				○	
②海の京都DMO、豊岡DMOなど広域連携によるインバウンドの取組を強化します	27 海の京都DMOや豊岡DMOと連携した各種プロモーション、誘致活動	○	◎		○	観光振興課	海の京都DMO 豊岡DMO	シンガポール宿泊誘致・観光PR事業(再)	海の京都DMOと豊岡DMOと連携し、市内宿泊事業者とともにシンガポールで開催された旅行博「NATAS」に出展することで、個人旅行者向けのPRを実施。	○				
						観光振興課	海の京都DMO 観光公社	海外プロモーション	・台湾旅行博Touch the japan出展・タイTITF旅行博出展 ・京都府インバウンド商談会に民間事業者と参加。	○	○			
						観光振興課	観光公社	WEB・マーケティング事業	SNS(Facebook・Instagram)を活用した観光情報発信力の強化に加え、拡散性、ターゲティング精度の高さを活かしたFacebook広告の配信等、WEB広報媒体の特性を活かした戦略的なWEBの運用。		○			
						観光振興課	観光公社	観光誘客促進事業	京都丹後鉄道「網野駅」及び「夕日ヶ浦木津温泉駅」にコインロッカーを設置。				○	
③外国人旅行者を受け入れる態勢整備や観光関連事業者の機運醸成を推進します	28 宿泊施設、観光施設などでの多言語表示、Wi-Fi、免税店等の受入環境整備	◎	○		○	商工振興課		観光誘客促進事業	市内宿泊事業者等が行うサインやパンフレットの多言語化等に対し、経費の一部を支援する補助制度の実施。	○	○			
						観光振興課	観光公社	英語翻訳サービス事業	観光事業者等が行う観光施設等における多言語化を図るため、公社所属の国際交流員(CIR)による英語ネイティブ翻訳サービスを実施。		○			
						観光振興課	観光公社	オンライン英会話教室事業	観光公社所属の国際交流員(CIR)によるオンライン英会話教室を開講。				○	

第3次京丹後市観光振興計画
①「戦略プロジェクト実施調書」

③外国人旅行者を受け入れる態勢整備や観光関連事業者の機運醸成を推進します	29	地域全体での受入機運醸成や外国人旅行者対応等へのスキルアップ	◎	◎	○	◎	観光振興課	観光公社	インバウンド特化事業	夕日ヶ浦観光協会(誘客推進委員会)の活動に観光公社が支援を実施。観光公社の海外向けホームページ「VisitKyotango」の宿泊予約サイトに約30施設が登録し、受入機運は醸成されつつある。	○	○	○		
							観光振興課	観光公社	インターンシップ受入事業	京都外国語大学との連携協定「京丹後プログラム」に基づく、ラーニング型インターンシップの受入を実施。		○	○		
							観光振興課	観光公社	顧客満足度向上事業	インナープロモーション事業の一環として、市内宿泊施設を対象に、覆面調査及び京都市内ホテルとのマッチングを進める。		○			
	30	“民泊サービス(住宅宿泊事業)”、“泊食分離”など、外国人旅行者のニーズに対応した宿泊、食事の提供	◎	○	○	○	観光振興課	商工会	『世界標準でおもてなし 食の多様化セミナー&個別相談～ベジタリアン・ヴィーガン・ハラール等～』	10月に市内の観光事業者及び飲食店等30名にセミナーと宿泊施設の個別相談を実施。マレーシアから講師を招聘し現地でのニーズも把握。(京都府後援)		○			
							観光振興課	観光公社 国際交流協会	インバウンド特化事業(ハラール対応食普及促進)	京丹後を訪れるムスリム旅行者が増加傾向にある中で、市国際交流協会及び市教育委員会との共催により、公社会員を対象にした「ハラール料理試食会」を開催予定。安心して京丹後の食を楽しんでいただくための、ハラールの調理法の紹介と試食会。		○			
	31	あらゆる旅行者を受け入れる「ユニバーサルツーリズム」の導入	◎	◎	◎	◎	観光振興課 障害者福祉課	京丹後宿お かみさんの 会	手話教室の実施	高齢の方・障害のある方などをお迎えするための接遇向上。		○	○		
							観光振興課 障害者福祉課	京丹後宿お かみさんの 会 福祉作業所	ちりめんの活用による小物製作	良好商品の造成・普及。ちりめん再利用による製品開発。		○	○		
							障害者福祉課 農業振興課		障害者利用設備の整備	障害者のための多機能トイレの整備、情報提供。車椅子使用者、オストメイト、子ども連れなどの多様な利用者に使いやすいトイレの整備。(道の駅くみはまS ANKAIKANのトイレ整備 R1年度繰越→R2年度完了)		○	○		
	④教育旅行の受け入れを積極的に行います	32	“ほんまもん体験”を活かした教育旅行の誘致活動	◎	◎	○	○	観光振興課	観光公社	ガラシャファムツアー	令和元年2月、大手旅行会社のファムツアーを実施(予定)。		○		
観光振興課								観光公社	教育旅行コンテンツの充実	教育旅行における体験学習等(SUP・シーカヤック・梨狩り・貝殻クラフト・狛猫絵付け体験等)を手配。			○		
33		「分宿」など、“民泊ニーズ”に対応する民宿での受入態勢の整備	◎	○	○	○	観光振興課	京都府 観光公社 掛津地区	教育旅行の受入	・京都府のインバウンド推進事業の一環で、掛津地区での教育旅行受入を実施。(2015年から実施) ・台湾教育関係者(校長等)の招聘に向けて、当該招聘者に対し視察ツアー(ファムトリップ)を実施。	○	○			

第3次京丹後市観光振興計画

①「戦略プロジェクト実施調書」

⑤ゆっくり滞在できる 宿泊、温泉の魅力向上を図ります	34	宿泊施設、温泉施設の環境整備、魅力向上と発信強化	◎	○	○	観光振興課	市内所在の法人等	観光インフラ整備等促進事業費補助金	本市の美しい自然や景観、温泉等豊かな資源を活かした魅力ある観光地づくりを推進するため、温泉源、温泉施設等を整備する事業に対し補助金を交付する。	○	○	○		
	23	食、温泉、体験、宿泊などをセットにしたルートづくり(再掲)	○	◎	○	観光振興課	実践会議	・宿泊事業者向け体験型観光ファムツアー ・企画列車モニターツアー	・宿泊客に京丹後での過ごし方を直接案内する宿泊事業者等が地域の資源への理解を深め、自信を持って京丹後の魅力を提案できるように体験ツアーを実施。 ・当地域のローカル鉄道(京都丹後鉄道)を観光コンテンツの一つとし、新たな着地型商品の造成。	○	○			
						観光振興課	観光公社 海の京都DMO	観光コンテンツ開発	食、温泉、体験、宿泊などをセットにしたルート造成は検討を重ねている。久美浜かきの日帰り食べ放題プランを観光公社と牡蠣小屋が開発し、WEB広告でPRを実施。	○	○	○		
						生涯学習課 観光振興課	観光公社 海の京都DMO WMG実行委員会	ワールドマスターズゲームズ2021関西「観光・文化プログラム」の商品化	大会実施計画の中で「観光・文化プログラム」の企画。令和4年度に実施する大会参加者へ販売するとともに、大会終了後も活用を図る。		○	○		
						観光振興課	観光公社	企画・販売事業(ヘルスツーリズム)	100歳人生を支える郷土食と長寿健康法が体験できるプログラム「百寿人生のレシピ」を開発(令和2年12月21日付ヘルスツーリズム認証取得)。		○	○		

第3次京丹後市観光振興計画
①「戦略プロジェクト実施調書」

<基本方針4> “ジオ・スポーツ”や“ジオ・アクティビティ”で観光交流人口の拡大を目指します

最優先=赤 優先=オレンジ

基本戦略	戦略プロジェクト	取組主体				市関係課	関係団体	アクションプラン(事業、取り組み)		実施年度					
		業者	団体	市民	行政			事業名	事業概要	H30	H31 R1	R2	R3	R4	
①2020年東京オリンピック・パラリンピックの「ホストタウン」、 「ワールドマスターズゲームズ2021関西」等を通じた文化交流や地域経済の活性化に取り組みます	35 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けたカヌー競技の環境整備、相手国との交流事業等「ホストタウン」の取組	○	○	○	◎	生涯学習課	市体育協会(久美浜カヌークラブ)等	オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業	・2021年8月開催の東京2020オリンピックカヌースプリント競技に向けたスペイン及びポルトガルチームの事前合宿の受入及び交流等の実施。 ・ホストタウン登録を行っている韓国、オーストラリア、スペイン、ポルトガルとの交流の実施。	○	○	○			
							市体育協会等	オリンピック聖火リレー事業	東京五輪聖火リレーを実施し、地域振興や地域活性化に繋げる。		○	○			
							観光公社	直前合宿受入	スペイン及びポルトガルのカヌー選手団の直前合宿を受入れ。		○	○			
	36 「ワールドマスターズゲームズ2021関西」その他スポーツイベント等の実施	○	◎	◎	生涯学習課	ワールドマスターズゲームズ2021関西京丹後市実行委員会	ワールドマスターズゲームズ2021関西	令和3年5月14日から関西一円を舞台に開催される大会のカヌー競技(マラソン・SUP・ドラゴンボート)を京丹後市で実施。国内外から約1100名の選手の参加を見込み、観光振興及びインバウンドにつなげる。	○	○	○				
					観光公社	観光振興課	企画・販売事業	WMGの参加者(日本人を含む)に向けた体験コンテンツの開発。		○	○				
	②ジオパークなど豊かな自然や地域特性を活かし、“春・秋”を中心としたスポーツイベントの誘致・支援を行います	37 ビーチスポーツ(ビーチバレーなど)、ウルトラマラソン、TANTANロングライドなど、“春・秋”を中心としたスポーツイベントの誘致・支援	○	◎	◎	◎	生涯学習課	各実行委員会、市体育協会等	丹後半島ラリー(4.5月) サンセットビーチフェス(6月) SUPA西日本選手権大会(7月) ドラゴンカヌー選手権大会(8月) 丹後100kmウルトラマラソン(9月) あみの八丁浜ロードレース(10月) 丹後大学駅伝(11月) 久美浜湾一周駅伝大会(11月)	地域特性を活かしたスポーツ大会等を通じて、京丹後の魅力や山陰海岸ジオパークを全国に発信するとともに、内外の交流促進とスポーツ・観光振興に資する。 (サンセットビーチフェスは、H30年まで開催) ※令和2年度から観光振興課へ所管異動(丹後半島ラリー)	○	○	○		
観光公社								観光公社	宿泊斡旋事業	市主催のスポーツイベント等における市観光公社を通じた宿泊・観光情報の提供・斡旋の実施。(ポスター、HP等に掲載) (ウルトラマラソン、ドラゴンカヌー、ワールドマスターズゲームズ2021関西プレ大会)		○	○		
観光振興課								観光業等活性化推進事業補助金	町の活性化及び交流人口の拡大に寄与する各種大会等(スポーツ大会、イベント等)を主催する団体に対し補助金を交付する。	○	○	○			

第3次京丹後市観光振興計画
①「戦略プロジェクト実施調書」

②ジオパークなど豊かな自然や地域特性を活かし、“春・秋”を中心としたスポーツイベントの誘致・支援を行います	38	スポーツ施設等の必要な整備・管理とスポーツイベント、合宿等への活用	○	○	◎	生涯学習課	市体育協会、北丹陸上競技協会	峰山途中ヶ丘公園陸上競技場リニューアル事業	峰山途中ヶ丘公園陸上競技場を、日本陸上競技連盟第3種公認陸上競技場として整備。大会誘致、合宿誘致などに取り組み、スポーツ振興及び交流人口の拡大等、地域活性化につなげる。令和2年10月1日供用開始。	○	○	○			
						生涯学習課	市体育協会(久美浜カヌークラブ)	久美浜カヌーセンター(仮称)整備	全国規模のカヌー大会やカヌー合宿、カヌー体験等を通じた修学旅行の誘致、各種カヌー体験やドラゴンカヌー体験への活用のため、久美浜湾カヌー競技場内に、カヌーセンター(仮称)を整備する。令和2年度末完成予定。			○	○		
③ジオパークの魅力を活かした「ジオ・スポーツ」や「ジオ・アクティビティ」の場や機会を提供します	39	「ジオ」を活かしたカヌー、SUP、釣り、漁体験、ダイビング、トレッキング、サイクリングなど、スポーツやアクティビティ環境の提供	◎	◎	○	観光振興課		アプリ「わくわく京丹後へGO！」	スマートフォン用観光アプリ「わくわく京丹後へGO！」は、市内の観光施設や体験等の情報を掲載。	○	○	○			
						観光振興課	観光公社	体験ガイドブック「わくわく京丹後へGO！」 観光公社ホームページ	体験ガイドブックと観光公社ホームページ・SNSでPRを実施。	○	○	○			
						生涯学習課	市体育協会(久美浜カヌークラブ)	久美浜湾カヌーセンター整備	全国規模のカヌー大会やカヌー合宿、カヌー体験等を通じた修学旅行の誘致、各種カヌー体験やドラゴンカヌー体験への活用のため、久美浜湾カヌー競技場内に、久美浜湾カヌーセンターを整備する。令和2年度末完成予定。			○	○		
	40	安全・快適な海水浴の環境づくり等による誘客促進	○	◎	◎	観光振興課	日本一の砂浜海岸づくり実行推進会議	ビーチ斉クリーン作戦	山陰海岸ユネスコ世界ジオパークを構成する京丹後の美しい砂浜海岸を保全し、一年を通じてにぎわう日本一の砂浜海岸づくりを推進するため、6月に「ビーチ斉クリーン作戦」としてボランティアを募り、海岸清掃を実施。	○	○				
19	観光事業者、農漁業者等の連携による、「ジオ」を活用した体験プログラムの提供	◎	○	○	観光振興課	観光公社	ほんまもん体験推進事業	市内の宿泊施設、観光関連団体の関係者が市内各地で実施されている体験プログラムの現場を訪れ、それらのプログラムを実際に体験し、その価値や魅力を観光誘客につなげるファミツアーを実施する。今後は、観光公社のツアー造成の中で取り組む。	○	○	○				
④スポーツイベントの運営を地域で支える体制や経済波及効果による持続可能な運営の構築に取り組みます	41	スポーツイベントの支援・運営体制の構築	○	○	○	◎	政策企画課		各スポーツイベント	ドラゴンカヌー選手権大会、丹後100kmウルトラマラソン、丹後大学駅伝、久美浜湾一周駅伝、丹後半島駅伝などのスポーツイベントを開催するうえで必要な運営スタッフとして、職員を動員した。	○	○	○		
							生涯学習課	市体育協会、ドラゴンカヌー実行委員会、WMG2021関西京丹後市実行委員会、日本カヌー連盟	ワールドマスターズゲームズ2021関西における体制基盤整備	ワールドマスターズゲームズ2021関西において開催が決定しているカヌーマラソン競技に対応するため、関係団体や市民参画を含む大会運営体制の基盤づくりと機運の醸成に取り組む。	○	○	○		
							観光振興課	観光公社	宿泊斡旋事業	ウルトラマラソンにおける宿泊斡旋。			○		

第3次京丹後市観光振興計画
①「戦略プロジェクト実施調書」

<基本方針5> 徹底したマーケティング手法で戦略的に観光情報を発信します

最優先=赤 優先=オレンジ

基本戦略	戦略プロジェクト	取組主体				市関係課	関係団体	アクションプラン(事業、取り組み)		実施年度					
		業者	団体	市民	行政			事業名	事業概要	H30	H31 R1	R2	R3	R4	
①マーケティング調査による現状分析や実態把握などに基づき、テーマ、ターゲットを絞った情報発信を行います	42	マーケティング調査(全宿統一アンケート実施など)によるターゲット戦略の策定	○	◎		◎	観光振興課	観光公社	WEB・マーケティング事業	WEBマーケティング会議を開催し、サイトへの来訪者数、予約件数の増加を目指し、PDCAサイクルを回して結果に拘った取組みを実施。(WEB広告、WEB戦略、改善会議)	○	○	○		
	43	国内重要ターゲットを設定し、ターゲットへの適確な手法でのアプローチ	○	◎		◎	観光振興課	観光公社	WEB・マーケティング事業	上記マーケティング調査と、その結果を活用して当市で売りにするターゲットの選定作業を進めている。R1/2頃決定を予定している。		○			
②海の京都DMOや豊岡DMOなど、広域連携によるメリットを活かした情報発信を行います	44	広域連携によるマスメディアの活用等、効果的な情報発信やプロモーションの実施				◎	海の京都DMO	観光公社	情報発信・プロモーション事業	「海の京都」の内外への情報発信及び観光客誘致 ・WEB情報発信・SNS情報発信・α-station情報発信・戦略的メディアプロモーション ・北近畿観光素材説明会及び現地視察 等々	○	○			
							観光振興課	観光公社	広域連携事業(情報発信)	与謝野町観光協会との連携事業(広域周遊観光)。プレジデント社 シーラ・クリフ氏(着物研究家・イギリス人)やカジュアル着物情報誌「七緒」と連携し、ファッション素材としての丹後ちりめんの価値を国内女性ミドル層や欧米インバウンドをターゲットに発信。		○	○		
③効果的な情報発信ツールを選択し、戦略的な情報発信を行います	45	パンフレット、紙媒体での情報発信の効果的な整備と活用	○	◎		◎	観光振興課	観光公社	広域誘客推進事業	観光パンフレット及び体験ガイドブック「わくわく京丹後へGO！」並びに観光マップを増刷した。 ・パンフレットやチラシ、観光雑誌等の紙媒体からWebサイトへの誘導を図る。	○	○	○		
	46	ウェブサイト、SNSなどICTを活用した効果的な情報発信、PR	◎	◎	○	◎	観光振興課	観光公社	ホームページリニューアル事業	国内向けホームページをリニューアルし、写真や動画を豊富に掲載することで、視覚に訴えて効果的に発信できるホームページを作成。同時に、外国語ホームページを新設した。	○	○			
	47	交通アクセス、情報化の進展などを踏まえた、市内での観光案内機能の整備	○	◎	○	◎	観光振興課	観光公社	デジタルサイネージ設置事業	観光客への情報提供のため、網野駅構内にデジタルサイネージを設置した。	○	○	○		
	48	観光大使の活用、SNS情報大使の創設、フィルムコミッション活動など効果的な発信の工夫					◎	観光振興課	観光大使		市観光大使の太川陽介氏が京丹後産品をPRする動画(3本)作成 都市部(関西圏又は首都圏)で開催される食イベント等において、市観光大使の太川陽介氏(タレント)が京丹後産品をPRする。	○	○		
観光振興課								観光公社	明智光秀 AI 協議会	大河ドラマ「麒麟がくる」放映にあわせ、明智光秀ゆかりの14の自治体と民間会社(LINE(株)・(株)サイード)で組織された「明智光秀 AI 協議会」に観光公社が参画。無料通信アプリ LINE で味土野の細川ガラシャ隠棲の地をはじめ、京丹後市の観光名所を配信。		○	○		

第3次京丹後市観光振興計画
①「戦略プロジェクト実施調書」

<基本方針6> 地域総ぐるみの観光地づくりを推進します

最優先=赤 優先=オレンジ

基本戦略	戦略プロジェクト	取組主体				市関係課	関係団体	アクションプラン(事業、取り組み)		実施年度					
		業者	団体	市民	行政			事業名	事業概要	H30	H31 R1	R2	R3	R4	
①海の京都DMOや豊岡DMOなど関係府県市町等との広域的な取組と連携を強化します	49	海の京都DMOによる、京都府及び北部7市町が一体となった「海の京都観光圏」の取組推進	○	◎		◎	観光振興課	海の京都DMOへの参画	地域の総力を結集して観光まちづくりを効果的かつ強力に推進するため、「海の京都DMO」を設立し、北部5市2町を圏域とする海の京都観光圏地域の観光・交流・集客等に関する事業を一元的・統合的に実施・推進	○	○	○			
	50	豊岡DMOその他広域観光団体との連携	○	◎		◎	観光振興課	豊岡DMOへの参画	豊岡市が中心となり地域企業等と連携して設立した「豊岡DMO」に連携団体として参画。メインのターゲットは城崎温泉に宿泊する外国人観光客で、本市の魅力的な観光資源の情報を提供し、本市エリアを含む旅行商品化、周遊の仕組みづくり、名物開発など広域連携による観光誘客の推進を図る	○	○	○			
②市観光協会を中心とした地域の観光推進体制の整備と関係団体等との連携を強化します	51	市観光協会を中心に、行政、観光事業者と連携した観光推進体制の確立と業界の一体化	◎	◎	○	◎	観光振興課	観光公社	組織体制の強化	令和元年6月、観光公社を設立して、市職員派遣による組織強化、ゼロベースでの事業の見直しを行い、旧観光協会を立て直すことでより官民一体で観光推進ができる体制を構築した。	○	○	○		
							観光振興課	観光公社	宿泊施設における新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン(標準的対策)策定	本市を訪れる宿泊客が少しでも安心して滞在できる環境づくりに取り組むため、市内の旅館業等宿泊施設において定める基準として、国の指針を基本とした「宿泊施設における新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン(標準的対策)」を策定した。 ・第1版:令和2年6月19日策定 ・第2版:令和2年11月1日改訂				○	
	52	市観光協会及び支部、地域における効果的な観光まちづくり・観光イベント等の実施	○	◎	○	○	観光振興課	観光公社	観光イベント等	観光公社支部が地域イベントをサポート。地域振興から脱却した観光誘客に繋がる効果的なイベントの実施を模索する。	○	○	○		
③観光活動の原動力となる人材の育成と確保を行います	53	観光関係者の意識向上とスキルアップ	◎	◎		○		海の京都DMO	観光地域づくり・人材育成等関係事業	「住んでよし、訪れてよし」の高付加価値を有するブランド観光地づくりに向け、地域住民等と連携した観光誘客・おもてなし・人材育成の向上を図る。 ・海の京都インバウンドセミナー・観光ガイド育成事業 等々	○	○			
							観光振興課	観光公社	インナープロモーション事業	・令和元年9月30日、観光公社の活動内容紹介や観光地域づくりに関する講演を内容とした「観光まちづくりセミナー」の開催。有識者による基調講演等を通じ、問題意識を共有し、その解決策を検討。 ・会員向けLINEアカウントによる有益情報の配信、ニュースレターの発行。			○	○	
	54	U・Iターン促進、雇用環境や雇用条件整備等による人材確保の取組とAI(人工知能)活用の検討	◎	◎	○	◎	商工振興課	地域雇用促進協議会	地域雇用活性化推進事業	ICT、IoT、AI、自動ロボット等を活用し人材不足下での業務効率化の向上やそれらを活用した業務モデルの普及による創業や雇用を創出する。			○	○	
商工振興課							観光公社	厚生労働省地域雇用活性化推進事業	「ICT、IoT活用セミナー」の開催、(令和元年度は3回開催)※2.3回目は新型コロナウイルス感染症の影響により中止)			○			
						観光振興課 商工振興課	観光公社	人手不足対策事業	・顕在化する人手不足の喫緊の課題に対応するため、ハローワーク峰山との連携を強化し、「特設相談窓口の開設」や「求人・求職のマッチング」などの支援を行う。 ・民間会社(株)おてつたびと観光公社が連携し、「市民生活の安全、安心の確保」と「観光立市と安全、安心な観光地づくり」の両立を発展的、安定的に実現しながら、宿泊施設の深刻な人手不足解消を進める。				○		

第3次京丹後市観光振興計画
①「戦略プロジェクト実施調書」

③観光活動の原動力となる人材の育成と確保を行います	55	繁忙期の人手不足を解消するための緊急対策の検討・実施	◎	◎	○	◎	商工振興課	国際交流協会 観光公社	留学生インターンシップ事業	将来の就職先を検討するための就職活動の一環としてインターンシップが重要性を増し、人手不足と呼ばれている中、外国人材の活用も視野に入れた取組みを行う。	○	○			
							商工振興課	観光公社	留学生インターンシップ事業	空き家等を活用したシェアハウス(大学生や外国人留学生のアルバイトやインターンシップの宿泊施設)の設置について検討。		○	○		
							商工振興課	地域雇用促進協議会	地域雇用活性化推進事業	パートタイムや契約社員として従事できる人材(女性、高齢者、障害者等)を雇用できる体制づくりや外国人留学生など多様なニーズに対応した優秀な人材を雇用できる体制づくりを目指す。		○	○		
④“京丹後人気質”による「おもてなし」の向上を図ります	56	民間企業の専門性、ノウハウの活用による人材確保と人材育成の取組	◎	◎	◎	◎	観光振興課	観光公社	派遣事業	観光公社に大手旅行会社(JTB)社員を受け入れ、ヘルスツーリズム造成など、専門性を活かした事業に取り組んでいる。また、内閣府の「地方創生人材支援制度」を活用して、産業政策推進監として市に出向している民間人材(東京海上日動火災保険㈱)を観光公社の非常勤の参与として迎え入れ、より一層の官民連携による活動を推進。観光公社の立ち上げ、WEBマーケティング、市役所との連携等の主要事業を担当。 ・令和3年2月に、観光公社に大手航空会社社員(全日本空輸)を受け入れ、航空利用による誘客及びインバウンドなど、専門性を活かした事業に取り組む。		○	○		
							観光振興課	観光公社	顧客満足度向上事業	インナープロモーション事業の一環として、市内宿泊施設を対象に、覆面調査及び京都市内ホテルとのマッチングを進める。(再掲)		○			
⑤公的観光施設の適切な管理・運営により、良好な利用環境を提供します	57	環境美化、丹後ちりめんの活用、「花いっぱい作戦」など、観光業をはじめ市全体における「おもてなし」の向上	◎	◎	◎	◎	観光振興課	京丹後宿お かみさんの 会	定例会	おかみさんの会では、毎月、定例会を開催し、会員間の情報交換や連携した宿泊サービスなどを企画し、京丹後の魅力をPRするとともに、訪れる人へのおもてなしの向上に努めている。	○	○	○		
							観光振興課	各指定管理施設	体験滞在型観光推進事業・ 各種施設管理運営事業	来訪者に良好な利用環境を提供し満足いただけるよう、道の駅・温泉施設・指定管理施設・自然公園・海浜等の各施設の維持管理を行った。	○	○	○		
⑥快適・安全・便利に移動できる交通環境やサイン整備を推進します	58	環境変化等に伴う市有観光施設のあり方(新規、見直しなど)の検討	◎	◎	◎	◎	観光振興課	指定管理施設	指定管理施設移譲	風蘭の館の移譲を実施し、民間による活用を行った。	○				
							観光振興課	観光公社	観光サイン設置事業	誘導看板やジオサイトの解説看板に英語表記を併記するようにしている。	○	○			
⑥快適・安全・便利に移動できる交通環境やサイン整備を推進します	59	2次交通等移動、周遊手段(レンタカー、タクシー、レンタサイクル、公共交通空白地有償運送など)の充実、活用	◎	◎	◎	◎	観光振興課	観光公社	2次観光交通の電動バイク・ カート	電動バイクや乗用カート、電動サイクルなどを活用した観光型Maas(モビリティ・ アズ・ア・サービス)の推進		○			
							観光振興課	振興局 観光公社	オーシャンロード事業	木製サイクルラックを店舗等に設置。サイクリングコース設定のため試走を実施。R1以降は各事業者によりサイクルツアーの実施を検討。	○	○			

第3次京丹後市観光振興計画

②「戦略プロジェクト(エリア別目標・地域別プロジェクト)実施調書」

最優先=赤 優先=オレンジ

エリア	目標	地域	地域別プロジェクト	実施年度					実施内容等(令和元年度分)	
				H30	H31 R1	R2	R3	R4		
海岸エリア	<p>○ 海の京都の「主たる滞在促進地区」、「交流地区」として、宿泊、温泉等の魅力に磨きをかけます</p> <p>○ ジオパークに代表される海岸景観や漁港、漁業、豊富な食などの魅力を活用し、ほんまもん体験、まち歩き観光などに展開します</p> <p>○ 歴史・伝説、日本遺産に認定された「丹後ちりめん回廊」の機屋の街並みなどを活かした観光を推進します</p>	網野地域	1 「海の京都」の主たる滞在促進地区※「夕日ヶ浦」における夕日の広場(仮称)など夕日、海、温泉、花の魅力開発・活用と無電柱化※など街並み整備		○	○			【観光公社】夕日ヶ浦観光協会(誘客推進委員会)の活動を継続的に支援。令和2年度は、10月17日～11月1日に、「魔法のトキがここに 夕日ヶ浦 うみ×まち灯り」を共催し、「浜詰夕日の丘」を中心に、ビーチや街なかのライトアップのほか、ナイトSUPやe-Bikeガイドツアー等の新たな体験コンテンツ開発に向けた実証実験を行った。	
					○	○			【観光公社】JR「城崎温泉駅」と京都丹後鉄道「天橋立駅」を乗り換えなしで結ぶ臨時快速列車「城崎・天橋立ダイレクト」の夕日ヶ浦木津温泉駅への継続停車。 ・令和元年度は、7月13日から9月28日までの土日祝日限定運行。 ・令和2年度は、8月22日から同年9月27日までの土日祝日限定運行。	
					○				【商工会】リゾート感の演出として木製パラソル・ベンチ設置事業を支援した。	
					○	○			【商工会】観光地PRを兼ねたコロナ感染防止対策用の消毒スプレー作成と宿泊客への配布	
			2	野村克也ベースボールギャラリー※の活用	○	○	○		【商工振興課】丹後地域地場産業振興センター内に「野村克也ベースボールギャラリー」を開設した。令和3年3月27日に故野村克也氏の一周忌メモリアル事業として特別展を開催予定	
			3	日本遺産認定「丹後ちりめん回廊」を活かした機屋(網野、浅茂川)のまち歩きや八丁浜の海岸散策とシーサイドパーク活用の促進			○	○		【観光公社】丹後ちりめんを活用したコンテンツ開発・ツアー商品開発を実施。 ・令和2年10月25・26日の両日、与謝野町と京丹後市の織物職人を訪ねるプレミアムツアー「シーラ・クリフと巡る丹後ちりめん工房」を実施。神奈川県や愛知県などから女性10名が参加。田勇機業と引き染め職人・小林知久佐さんの2工房を見学。 ・令和2年12月5日、市国際交流協会とのコラボ企画により、「The Quest for Silk -Tango Chirimen- 丹後ちりめん探究ツアー」を網野町内で開催。アメリカやイギリス出身の京丹後在住外国人10人が参加。振り袖姿で街歩きしながら、田勇機業の工場見学や網野神社での正式参拝、アミティ丹後での染色作業を体験。
						○				【観光公社】クルーズ船乗客を田勇機業工房見学に誘致し、体験をサポートした。
					○	○				【実践会議】ほんまもん体験ツアーとして、宿泊事業者向けちりめん体験ファミツアーを実施した。 【観光公社】丹後ちりめんを活用したコンテンツ開発・ツアー商品開発を実施した。
						○	○			【商工会】観光客(外国人含)等を市内の織物業者数社へ見学案内した。
				○	○				R1:聖火リレー通過に当たり、八丁浜シーサイドパーク周辺の整備予算を補正計上した。 R2:シーサイドパーク周辺(雑木、砂の撤去、道路舗装等)整備した。	
4	網野銚子山古墳の整備と歴史・史跡の活用	○	○	○		【文化財保護課】環境整備工事を実施中。令和5年度完成予定。				
5	漁港(浜詰、浅茂川、三津)を活用した見学、朝市等の実施									
6	掛津の民宿を中心とした教育旅行の受入促進		○	○			【観光公社】掛津地区における台湾訪日教育旅行プログラムのアレンジ・同行サポートを行った。台湾教育関係者(校長等)の招聘に向け、視察ツアー(ファミトリップ)を実施した。			
			○	○			ガイド団体「琴引浜ガイドシンクロ」に対し、ガイド研修及び全国大会参加の支援をした。			

○ 海の京都の「主たる滞在促進地区」、「交流地区」として、宿泊、温泉等の魅力に磨きをかけます

○ ジオパークに代表される海岸景観や漁港、漁業、豊富な食などの魅力を活用し、ほんまもん体験、まち歩き観光などに展開します

○ 歴史・伝説、日本遺産に認定された「丹後ちりめん回廊」の機屋の街並みなどを活かした観光を推進します

網野地域	6	掛津の民宿を中心とした教育旅行の受入促進	○	○			【商工会】令和元年度シンガポール市場においてPR(商談会)事業を実施。また、ホームページの英語表記(スマホ対応)による集客強化事業(備品整備・商品開発含む)を支援した。
			○	○	○		【商工会】ビーチクリーン活動と体験観光ツアーの導入を支援
	7	日本一の鳴砂の浜「琴引浜」のさらなる活用、PR(動画制作など)	○	○	○		【文化財保護課】掛津区と連携して設置している琴引浜鳴き砂文化館の管理運営を実施。
			○				【実践会議】琴引浜の保存と活用に資する動画を作成した。
	8	浦島太郎、静御前等伝説・伝承の活用	○	○	○		【文化財保護課】丹後古代の里資料館、郷土資料館に浦島コーナーを設け、来館者へ浦島伝承を紹介。
				○			【商工会】浦島太郎伝説を絡めたパンフレット作成(龍宮プロジェクト)を支援した。
	新	駅舎内のコインロッカー設置			○		網野駅及び夕日ヶ浦木津温泉駅にコインロッカーを設置。
	丹後地域	9	「青の洞窟」「愛の洞窟」※の活用、シーカヤック※など「ジオパーク体験」のさらなる促進		○	○	
				○	○		【商工会】国内の観光商談会(WEB)へ出展し、各社の商品プランをPRし誘客促進を図った。また、コロナ対応でツアーガイドをや会議を行うためのインカムシステム導入
				○	○		【観光公社】体験ガイドブックと観光公社ホームページ・SNSでPRを実施。
				○			【丹後市民局】京丹後龍宮プロジェクトが商品化し販売した。
10		間人漁港の競り見学などの観光活用		○	○		【海業水産課】令和2年1月に競りを見学できる新しい荷捌き所が完成。間人漁港衛生管理型荷捌き所は、令和2年3月20日に完成記念式典を実施。現在のところ、新型コロナウイルス感染症の関係で、どうしても新鮮な生鮮食材である魚介類を扱うということもあり、一般の方の見学につきましては、ご遠慮いただいておりますが、引き続き活用について関係機関と協議を進めていく。
				○	○		【観光公社】京都府漁協と連携し、新荷捌き所の「セリ見学体験」の実施を検討。
				○			【商工会】誘致した外国人を含む観光客等に、間人漁港の競り見学プランを提案するとともに地域観光ガイドの活用へ繋げた。
11		港町、ジオサイトを巡るまち歩き、さと歩き、温泉巡りなどの実施		○	○		【観光公社】NPO法人まちづくりサポートセンターと観光公社が連携し、山陰海岸ジオパークエリアを歩くツアー「京丹後縦断トレイル」を企画し、神姫バスツアーズ(兵庫県姫路市)が採用。
				○			【丹後市民局】NPOまちづくりサポートセンターがガイドツアーを実施。令和元年5月に地域活性化イベント(丹後ジオEXPO)と連携したイベントを開催するなど情報を発信した。
				○	○		【観光公社】中浜地区を中心としたヘルスツーリズムを商品化し認証申請を行った。丹後町中浜地区をヘルスツーリズムの実証フィールドに、大手旅行会社「JTB」との連携により「『百寿人生のレシピ』体感プログラム」を開発。 ・令和2年11月18日、販売に向けてのモニターツアーを11月18日に実施。 ・令和2年12月21日付でヘルスツーリズム認証(同委員会)取得。
12		滞在・周遊促進のための交通、道路整備と公共交通空白地有償運送(ささえ合い交通)の活用促進	○	○	○		【政策企画課】NPO法人「気張る！ふるさと丹後町」の運営により、住民だけでなく観光客の交通手段としても、ウーバーアプリを活用したささえ合い交通の運行を実施し、滞在・周遊促進を図った。
				○	○		【観光公社】ホームページにより周知した。
			○	○		【商工会】国内の観光商談会(WEB)へ出展し、各社の商品プランをPRし誘客促進を図った。	

<p>○ 海の京都の「主たる滞在促進地区」、「交流地区」として、宿泊、温泉等の魅力に磨きをかけます</p> <p>○ ジオパークに代表される海岸景観や漁港、漁業、豊富な食などの魅力を活用し、ほんまもん体験、まち歩き観光などに展開します</p> <p>○ 歴史・伝説、日本遺産に認定された「丹後ちりめん回廊」の機屋の街並みなどを活かした観光を推進します</p>	丹後地域	13	地域の観光スポットを紹介する電子ガイドブック※、外国人旅行者向けの観光マップの作成、活用	○	○	○	<p>【観光公社】ホームページ、アプリ・わくわく京丹後へGOによる周知。観光総合パンフレット「旬めぐり旅京丹後」等の電子書籍化。</p> <p>【商工会】シンガポール市場におけるPR(商談会)事業において、既存の観光マップを活用し商談説明するとともに、外国語版の観光案内を作成し配布した。</p>
		14	「間人ガニ」の産地として「カニのまち」のさらなる発信	○	○	○	<p>【観光公社】令和2年11月6日から令和3年3月20日まで実施の「京丹後ふるさと旅行券キャンペーン(冬旅)」のプロモーションとして、訴求力の高い「間人ガニ」を素材にしたポスター及び動画を作成。</p> <p>旬の観光看板の設置によりPRした。FMαステーションにてカニ漁解禁をPRした。</p>
				○	○	○	<p>【観光公社】令和元年11月29日、東京海上日動本社で「京丹後市マルシェ」を開催。間人ガニの通販とアンケートによるマーケット調査を実施した。</p>
				○	○	○	<p>【海業水産課】「京丹後市で獲れる海産物」をその”旬”の時期に紹介する「海業ブログ」を開設し、新鮮な魚介類の他、観光産業と連携した”地産地消”の取り組みや漁業や海を活用した1日漁師体験等を紹介した。引続き情報発信を行っていく。</p>
				○	○	○	<p>【商工会】国内の観光商談会(WEB)へ出展し、各社の商品プランをPRし誘客促進を図った。</p>
		15	大成古墳群周辺の整備及び古代の里資料館、神明山古墳を含む史跡、歴史の活用	○	○	○	<p>【文化財保護課】神明山古墳・産土山古墳・高山12号墳等の史跡の維持管理を実施。市ホームページデジタルミュージアム・丹後古代の里資料館での情報発信を実施。</p>
	○			○	○	<p>【丹後市民局】NPOまちづくりサポートセンターがガイドツアーを実施した。令和元年5月に地域活性化イベント(丹後ジオEXPO)と連携したイベントを開催するなど情報を発信した。</p>	
	16	経ヶ岬(灯台)、犬ヶ岬散策道の適切な管理及び活用	○	○	○	<p>【丹後市民局】経ヶ岬灯台保存会と連携し、経ヶ岬灯台の遊歩道整備を行った。また、同保存会が主催する灯台まつり(一般公開及び露店販売)の開催を支援した。また、保存会と龍谷大学の連携により灯台登山道入り口に案内サインを設置した。</p>	
	久美浜地域	17	かぶと山園地整備と山頂展望台からの絶景の活用及びアクセス道の改良	○	○	○	<p>かぶと山公園まつりの開催に合わせ、かぶと山展望台への登山ツアーを実施し、遊歩道を活用した。</p> <p>風蘭の館を蒲井・旭電源問題及び活性化対策協議会へ無償譲渡し、カキ小屋等の事業拡大を促した。</p>
		18	久美浜かきのさらなる活用と旬の食材を活かしたランチの促進	○	○	○	<p>【観光公社】牡蠣小屋のオリジナルランチプランを作成し、販売。</p>
				○	○	○	<p>【観光公社】令和2年11月6日から令和3年3月20日まで実施の「京丹後ふるさと旅行券キャンペーン(冬旅)」で、本市の特産品「久美浜かき」を旅行券利用者に特典提供。また、京都府漁協と連携して、「久美浜かき」PRチラシとポスターを作成した。</p>
				○	○	○	<p>【商工会】旅館組合の勉強視察研修を支援した。</p>
		19	「フルーツ街道(フードトレイル)」としての発信など、フルーツのさらなる活用と発信	○	○	○	<p>網野町浜詰から久美浜町にある、果樹直売所を中心とした観光の魅力づくりを創出するため、平成30年度3店舗、令和元年度2店舗、令和2年度2店舗の計7店舗の店先等で、旬のフルーツを使ったジュース、スムージーなどを提供した。</p>
	○			○	○	<p>【商工会】新たなフルーツトレイル参加事業者(フルーツを活用したクレープ店の開店)を支援した。</p> <p>【観光公社】・フルーツ狩り体験のPRにより、大手旅行会社による「フルーツを満喫できる日帰りツアー」の販売が実現した。 ・令和2年9～10月に実施した「京丹後ふるさと旅行券キャンペーン(秋旅)」で、久美浜町産の梨やフルーツスムージーを旅行券利用者に特典提供。</p> <p>フルーツトレイルについて、マスコミに対し積極的に情報提供し、放送等につなげた(朝日放送、KB S京都)。FMαステーションにて「フルーツトレイル」をPRした。</p>	

海岸エリア

○ 海の京都の「主たる滞在促進地区」、「交流地区」として、宿泊、温泉等の魅力に磨きをかけます

○ ジオパークに代表される海岸景観や漁港、漁業、豊富な食などの魅力を活用し、ほんまもん体験、まち歩き観光などに展開します

○ 歴史・伝説、日本遺産に認定された「丹後ちりめん回廊」の機屋の街並みなどを活かした観光を推進します

久美浜地域

20	稲葉本家を中心とした久美浜一区の歴史的街並みの保全と活用、久美浜駅再生とまち歩き観光の促進	○	○	○	【政策企画課】久美浜駅再生アクションプランによる駅舎工事が平成29年度に完了。平成30年度から駅の多目的ホールで喫茶営業を開始し、駅の賑わいづくりと利便性の向上を図った。	
		○	○		稲葉本家の大規模補修を実施した。	
21	久美浜湾岸沿い、かぶと山等への桜や花の魅力づくり		○		令和元年度、かぶと山園地内に桜を植樹する委託事業を実施。	
22	トウテイラン、ユウスゲなど丹後砂丘の貴重な海浜植物の保全・保護	○			【環境省】平成30年度マリンワーカー事業にて「植生被害把握等調査」を実施した。	
23	久美浜湾、ロングビーチ(小天橋～箱石、函石浜遺跡)、蒲井・旭海岸等を活用した体験、ジオ・アクティビティ(ジオカヌーなど)、遊覧船等の促進	○	○	○	【観光公社】体験ガイドブックと観光公社ホームページ・SNSでPRを実施した。	
			○		【商工会】外国人観光客誘客事業の一環として広報作成勉強会、パンフレット作成を支援した。	
		○	○	○	【生涯学習課】 (R1) ・ドラゴンカヌー大会、SUP大会、久美浜湾一周駅伝大会等、久美浜湾周辺を会場とするスポーツイベントを開催。だれもが気軽にできる海のスポーツ及び久美浜湾の魅力を発信した。 ・夏休み子ども体験教室でカヌー体験を行った。 ・ワールドマスターズゲームズ2021関西に向けたプレ大会にてSUP無料体験会を行った。 ・カヌー体験等を安定的に実施するため「久美浜湾カヌーセンター」の整備に向けた実施設計を行った (R2) ・ワールドマスターズゲームズ2021関西に向けたプレ大会にてカヌーマラソン競技を初めて実施した。 ・久美浜湾カヌーセンターの改築工事に着手した(令和2年度末完成予定)。 ・夏休み子ども体験教室でカヌー体験を行った。	
		○	○		平成30年度に設立された小天橋ガイドクラブに対しガイド研修を実施するほか、環境省事業を誘致した。	
24	湊宮での漁港活用とまち歩き観光の推進及び教育旅行の受入促進		○	○	【観光公社】小天橋エリアにおける「ピチピチにぎり寿司体験」の実施に向け、地元漁業団体とともに検討を進めている。	
25	民間施設(美術館、観光農園、温泉等)の活用と連携促進		○		【観光公社】台湾ブロガー、香港メディアファムの受入れにより観光施設をPRした。	
		○	○	○	国道178号線沿いの果樹直売所等において、フルーツトレイル事業を実施した。	
新	東京2020オリンピック・パラリンピック及びワールドマスターズゲームズ2021関西に向けた競技環境の整備			○	○	【生涯学習課】 (R1) ・東京2020オリンピック(2021年実施)のホストタウン事業として、久美浜湾カヌー競技場においてスペイン及びポルトガルカヌー代表チームの事前合宿の受け入れ準備を行った。 ・事業に必要な環境整備(備品購入等)を行った。 ・ワールドマスターズゲームズ2021関西に向けたプレ大会の開催や準備を行った。 ・カヌー体験等を安定的に実施するため「久美浜湾カヌーセンター」の整備に向けた実施設計を行った(令和2年度末完成予定)。 (R2) ・東京2020オリンピック(2021年実施)のホストタウン事業として、てスペイン及びポルトガルカヌー代表チームの事前合宿受け入れ準備(調整等)を行った。(令和3年7月予定) ・ワールドマスターズゲームズ2021関西に向けたプレ大会を開催し、大会・競技運営、新型コロナウイルス感染症対策などのテストを行った。また、ホームページ、各種SNSを立ち上げ、大会の周知・機運醸成を図った。(令和4年に開催予定) ・久美浜湾カヌーセンターの改築工事に着手した(令和2年度末完成予定)。

第3次京丹後市観光振興計画

②「戦略プロジェクト(エリア別目標・地域別プロジェクト)実施調書」

最優先=赤 優先=オレンジ

エリア	目標	地域	地域別プロジェクト	実施年度					実施内容等(令和元年度分)
				H30	H31 R1	R2	R3	R4	
里山エリア	<p>○ 日本遺産認定「丹後ちりめん回廊」の織物業、「ハイテクランド」を構成する機械金属業を活かした産業観光、まち歩きの整備などを進めます</p> <p>○ 京丹後市の南玄関口としてのおもてなし機能を充実させ、観光客をあたたく迎えます</p> <p>○ 農業を活用した体験、山林での自然体験、花、山野草の魅力を活かした観光に取り組めます</p>	峰山地域	26 日本遺産認定「丹後ちりめん回廊」(織物業)を活かしたまち歩き観光、産業観光の推進		○	○			【観光公社】与謝野町観光協会との連携により、日本遺産認定「丹後ちりめん回廊」を紹介するパンフレットを改訂。電子書籍化。
				○				【実践会議】ほんまもん体験ツアーとして、宿泊事業者向けちりめん体験ファムツアーを実施した。	
					○	○		【商工会】「丹後ちりめんロール」の商標出願を行い、織物業を活用した飲食店(菓子)のブランディング事業を企画説明会を開催した。	
					○	○		【峰山市民局】市役所付近の「井柙(イネ)の尻橋」の親柱に、ちりめん及び機械金属の作品を継続して展示し、まち歩きの場を創設した。	
			27 金刀比羅神社「狛猫」を核としたねこプロジェクトの推進	○	○	○		こまねこまつりを開催(平成30年度、令和元年度とも9月)した。令和2年度も9月に開催。 【観光公社】こまねこ祭り開催日に、こまねこに関連する日帰りツアーを造成し、販売した。外務省「地域の魅力発信セミナー」で、駐日外交団等約150人に、こまねこ絵付け体験を実施しPRした。	
		28 羽衣天女伝説、月の輪田(稲作発祥伝説)、赤坂今井墳墓の活用	○	○	○		【文化財保護課】赤坂今井墳墓の維持管理を実施。市ホームページデジタルミュージアム・丹後古代の里資料館での情報発信を実施。		
			○	○	○		【五箇プロジェクト】五箇地域の活性化を図るため、地域住民を対象とした「未来を語る夜」を開催した。		
		29 機械金属業に関連した産業観光の促進		○			【峰山市民局】峰山高校生徒を中心として、日進製作所のコンクリート壁に、「ウォールアート」を描き、まち歩きの場を作った。		
				○	○		【商工会】事業者の経営計画策定の一環として、企業見学のコースづくりを支援しPRした。		
		30 京丹後の南玄関口での花、ライトアップ等の環境整備	○	○	○		【観光公社】大宮町支部が、織物ホールのライトアップ事業を実施。		
31 温泉、自然とのふれあい、農業を活用した体験、農家民泊等の提供		○	○		【商工会】国内外の観光商談会へ出展し、各社の商品プランをPRし誘客促進を図った。				
32 内山ブナ林などを活用したノルディックウォーク※の推進		○	○		【生活環境課】地域の環境資源を再発見し、自然環境の保全意識の醸成等を図るため内山ブナ林観察会を実施した。 (令和元年度)開催日:11月4日 参加人数:32人 (令和2年度)開催日:11月1日 参加人数:42人				
		○			【生涯学習課】内山ブナ林での「ノルディックウォーキング体験会」を実施(令和元年度)した。				
33 小野小町ゆかりの地の活用	○	○			小町公園のイベント展望ゾーンのトイレ改修・回廊補修を実施した。				

<p>里山エリア</p> <p>○ 日本遺産認定「丹後ちりめん回廊」の織物業、「ハイテクランド」を構成する機械金属業を活かした産業観光、まち歩きを整備などを進めます</p> <p>○ 京丹後市の南玄関口としてのおもてなし機能を充実させ、観光客をあたたく迎えます</p> <p>○ 農業を活用した体験、山林での自然体験、花、山野草の魅力を活かした観光に取り組みます</p>	<p>弥栄地域</p>	34	丹後王国「食のみやこ」での食、花、山野草の魅力発信及び市内の観光施設間の連携促進	○	○				丹後王国「食のみやこ」内の情報交流センター及びレストラン「グラシア」等において、食に関わる学会「京丹後市ガストロミカ」、新しい京丹後の食を楽しむ「たんちよすBAR」、生産者と料理人をつなげる「生産者と料理人の情報交流会」を開催した(令和元年10月)。また料理人等の研究・交流等の場を創設する「RicoLabo事業」(令和元年度2回)やセミナー等(平成30年度1回)を実施した。
		35	野間地域(野間川渓谷)の自然を活用した体験、農家民泊や食の提供						【観光公社】・「麒麟がくる京丹後プロジェクト推進協議会」が母体となって、令和元年度に実施したクラウドファンディング事業「細川ガラシャ東屋建設プロジェクト」の返礼品として、野間地区農家民泊を活用したツアーを販売した。 ・弥栄町野間エリアの自然、文化、暮らしを巡るe-Bikeによるサイクリングツアーを造成。
									【生涯学習課】夏休み子ども体験教室で、市内小学生を対象に野間地域から宇川地域まで、野間川渓谷沿いに山野草の説明等を聞きながらチャレンジウオークを行った。
		36	森林公園スイス村の芝桜、水辺公園の環境整備、丹後弥栄道路の桜並木など、花のおもてなし	○	○	○			【弥栄市民局】弥栄町区長連絡協議会による環境整備作業(周辺福祉施設、一般ボランティア、高校生にも呼び掛け) ※弥栄町区長連絡協議会は当活動にてはR2年度「国土交通大臣表彰」受賞・国道482号(丹後弥栄道路)の桜柵及び府道網野岩滝線歩道の植樹帯の除草作業(年2回:延参加人数R1年度140人、R2年度159人) ・水辺公園の除草及び芝桜補植等作業(年3回:延参加人数R1年度35人、R2年度76人)
		37	細川ガラシャゆかりの地の活用						【観光公社】「麒麟がくる京丹後プロジェクト推進協議会」が母体となって、令和元年度に実施したクラウドファンディング事業「細川ガラシャ東屋建設プロジェクト」に協力(観光PRや資金調達の支援)し、寄附120万円を達成、東屋建設が実現した。当該クラウドファンディング事業返礼品として、野間地区農家民泊を活用したツアーを販売した。弥栄町支部がガラシャ隠棲地山歩きのパンフレットを作成して配架した。
									【観光公社】「麒麟が来る」ゆかりの地の情報発信を行うアプリ「明智光秀AI」事業へ参加した。
									「麒麟が来る」放映に合わせ、大手旅行会社向けファムツアーを実施(令和2年2月)。
									京丹後市生きがい支援センターのトイレを改修し、「麒麟が来る」ゆかりの地味土野を訪れる方の利便性向上を図った。
							【商工会】イベントの協賛実施と、地酒商品開発と販路開拓支援を実施した。		
38	遠所遺跡、奈具岡遺跡、黒部銚子山古墳等の活用	○	○	○			【文化財保護課】遠所遺跡、黒部銚子山古墳の維持管理を実施。市ホームページデジタルミュージアム・丹後古代の里資料館での情報発信を実施。		

③令和2年度第2回京丹後市観光立市推進会議における主な意見

開催：令和3年3月24日（水）

テーマ：withコロナ、afterコロナを見据えたディスカッション	
坂上会長から事例紹介	
①	<p>コロナ禍という激震の中、業界の心構えとして「コロナ禍の長期化」を見据える必要がある。観光業界では「量から質へ」の転換が起きており、コロナであっても儲かる仕組みづくりとして、次のような動きが出てきている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DX（デジタルトランスフォーメーション）の取組。一部の旅館では、ECを使って物販とか料理の物販等も開始。 ・高品質高価格化。 ・マイクロツーリズムといった2、3時間圏のお客さんの確保するため、動画の作成、VRでの体験、SNSでの発信等。 ・働きながら地域を楽しむワーケーション。 ・afterコロナを見据えたインバウンドの準備。 ・クルーズ業界は、コロナ検査付きのツアー。 ・国は、女性の活躍できる環境づくりを進める。
委員からの主な意見（概要）	
②	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に宿泊施設が181施設あり、そのうち50施設くらいは、公社の非会員である。今は、コロナという緊急事態なのでやむを得ないかもしれないが、市が様々な観光振興施策を繰り出してくれている中、会員も非会員もメリットが同じという状況は、非会員が「いいとこ取り」をしているような印象を受ける。市から公社への補助金も増える中、課題として捉えていかないといけない。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・バス会社の観光事業は、今年度決算でいくと売り上げは4割くらいに激減した。やっと、3/5から高速バスの復活ができたが、現在、平均乗車率が、17.5人ぐらいで少しずつ回復してきているが個人客のみ。団体客の落込みは個人客で頑張っても回復は難しい。
④	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊事業者は緊急事態宣言をうけ、1、2月は苦戦。3月もまだ苦戦している。4月以降は、基本的にはオフシーズンとなり、例年なら老人会等の団体の受入れがあるが、コロナ禍で年配の方の団体旅行は皆無。今後、DXなどの技術を持ちながら、生産性を高め継続できるような取組みが必要になってくる。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年は海水浴場を開設していただき、ありがたかった。宿泊は厳しい状況であるが、今後も、色々なキャンペーン等で支えていただけたらと思っている。 ・コロナ禍で、旅館でのお客様への対応（接遇）も変わってきている。スタッフのレベルアップがなかなか難しくネックになる。

⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊事業者だが、自らマイクロツーリズムに参加してみて、自分の視点を変えることが大切であると気づいた。また、マイクロツーリズムを重点的に考える上では連携が必要となるので、観光公社の会員数を増やすことも必要である。 ・ ビーチクリーンに取り組む中で、いっぱいのごみをどうするかと考えたとき、人々の生活を変えるしかないと思う。この視点から、ビーチクリーンということ自体が一つの誘客のヒントになるように思う。
⑦	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでWi-Fi設置の補助金が、あまり良い制度がなかったので（補助率1/10）、もう少し補助率の良い補助金を出してほしい。
⑧	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の情報環境（インフラ整備状況）が、まちまちなので、DXを進めるにあたっては、インフラ整備が重要である。 ・ 京丹後市の観光スポットは、認知度が低いので、リリースをどんどん出していったってメディアに露出することも大切。 ・ afterコロナに向け、首都圏、関西圏へのPR強化をお願いしたい。
⑨	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旅行会社として、生き残れる策として地元観光をモデルケースとして販売しているが、現状は不透明な状況。 ・ 旅行商品は、ダイナミックプライシング（需要に応じた価格変動）の時代がやってきた。今後、DP商品の展開を中心に販売したい。
⑩	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍で、旅のスタイルもかなり変わってきた。新規顧客獲得より、リピーターを抱え込んでいきたい。そのため、京都府が構築しているCRM個人情報をキャンペーン時に取りデータ把握していきたい。また、QRクーポンでキャンペーンをしているが、「クーポンのほしい方は個人情報をください」というやり方に変えていっている。今後、観光事業の進め方もどんどん変わっていくと思うが、観光公社と連携しながら進めていきたい。
⑪	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の人が価値を再発見し、訪れた人にもその価値が伝わるマイクロツーリズムの必要性。 ・ 旅マエで、旅の動機付けとなるオンラインでのツアーは有効。 ・ 新規のお客さんを取り込んでいくよりも、リピーターをどれだけ大切にしていけるかが大事。もう一度来てもらうための情報の共有の仕方や、関係性づくりを施策のなかで考えていく必要がある。 ・ ワークーションは、Wi-FiWi環境を整えることは必要だが、「ワーク」よりも京丹後に来たくなる「体験」がメイン。京丹後に来る理由にプラスしてワークができる環境があることが大事。

④withコロナ、afterコロナを見据えたディスカッションから見える課題等（まとめ）

【観光推進体制について】

1. 観光公社関連
 - ① 会員、非会員の「不公平感」の問題（会員資格のあり方）
 - ② 会員増が必要
2. 連携
 - ① 海の京都DMOとの連携、情報の共有と発信
 - ② 市内事業者間の連携（マイクロツーリズムに有効）
3. 情報発信・収集
 - ① 首都圏、関西圏等へのPR
 - ② メディアを活かしたPR
 - ③ 新規顧客よりも「リピーター獲得」が重要。顧客を“抱え込み”できるような情報収集・管理が必要。

【マイクロツーリズムについて】

1. 単に「感染拡大防止の旅行」ではなく、地元の良さ（価値）を再発見できる旅。事業者自身、視点を変えることにもつながる。
2. 域内の事業者間連携が必要→観光公社の会員数を増やすことが必要。
3. マイクロツーリズムをしっかりと高付加価値化で取り組んでいく必要がある。特に、京都、大阪、兵庫あたりの戦略をもう一度見直す必要がある。

【ワーケーションについて】

1. Wi-Fi環境だけでなく、「京丹後に来る理由（体験）」が重要。

【その他】

1. コロナ禍のビジネスモデルというイメージをもう少し共通認識化しておく必要がある。
2. コロナ禍に対応した「新しいおもてなし」と、それが実現できるだけのスタッフのレベルアップが必要。
3. DXなどの技術を持ちながら生産性を高め継続できる取り組みが必要。

4. 観光地として、市域に平準化したWi-Fi環境を整えることが重要。
5. ビーチクリーンの取組自体が、人間活動そのものを考える「観光商品」となり得る。
6. 夏と冬はこの地域のピークであるので、平準化をして食を売りに地産地消で商品化をしていくということがないとピーク対応の観光地では、これから非常に難しい。
7. お客様のリピート率を高めると、顧客管理或いは顧客連携といったことが重要になる。

第3次京丹後市観光振興計画

令和2年度 令和3年度・年次報告書

令和4年3月

京丹後市

《 目 次 》

- ① 戦略プロジェクトの事業実施状況 P 1～P 15
- ② エリア別目標・地域別プロジェクトの事業実施状況 P 16～P 21
- ③ withコロナ、afterコロナを見据えたディスカッションの概要 P 22～P 23
- ④ withコロナ、afterコロナを見据えたディスカッションから見える課題等（まとめ） . . P 24

※本報告書は、京丹後市観光立市推進会議において、「第3次京丹後市観光振興計画」に基づく令和2年度及び3年度の実施状況について審議し取りまとめたものです。

[会議：開催日] 令和4年2月22日

第3次京丹後市観光振興計画
①「戦略プロジェクト実施調書」

<基本方針1> 「“旬”でもてなす食の観光」を徹底的に推進します

【重点・優先】

最優先=赤 優先=オレンジ

基本戦略	戦略プロジェクト	取組主体				市関係課	関係団体	戦略プロジェクト(事業、取り組み)		実施年度					
		業者	団体	市民	行政			事業名	事業概要	H30	H31 R1	R2	R3	R4	
①豊富で質の高い食の魅力を磨きをかけ、価値を高めます	1 農林漁業者、加工業者等の生産、保存、加工、料理技術の向上	◎	○	○	○	観光振興課		旬でもてなす食の観光地づくり人材養成事業	料理技術の向上や観光関連事業者の機運醸成、レシピ共有化等につなげるため、「サン・セバステア(スペイン)への視察研修」を支援する。	○					
						商工振興課	商工会	食のおもてなし提供力向上セミナー開催事業	平成31年3月13日、「海外視察研修」の報告及び「たんちよす」発表会を開催。	○					
						商工振興課	丹後地域加工食品品質向上連絡会	食品品質向上セミナー開催事業、栄養成分分析サービス事業、HACCP講習会開催事業	京都府、京丹後市、アミティ丹後、商工会、観光公社などで構成する丹後地域加工食品品質向上連絡会を設立し、加工食品製造者の商品開発、加工技術の向上、販路開拓を支援。		○	○	○		
						観光振興課	観光公社 京丹後美食都市研究推進会	[R1] 京丹後ガストロノミカ2019 たんちよすバル [R2] 京丹後ガストロノミカ [R3] 京丹後ガストロノミカ たんちよす月間(10/17~11/7)	料理人、加工業者、生産者らが集い、研究、発表、交流する食と料理の学会。京丹後市の新しい料理“たんちよす”を食す。※“たんちよす”とは、スペインの一口料理「ピンチョス」の京丹後版。京丹後の食材を使い、四季を感じる手軽に食べられる料理。 【商工会】R1年度「たんちよす」「TANTXOS」の商標出願を実施。R2年度「たんちよす」「TANTXOS」の商標登録を完了。 四季の食材を活用した食関連事業所の展開支援を開始。また、たんちよすの展開として「たんちよすバル」の実施を支援。今後は食関連事業者にライセンス付与し、地域住民や観光客等に商品名として販売することで、効果的な発信及び認知度を高め、ブランド化推進を図る。		○	○	○		
観光振興課	京丹後美食都市研究推進会	RicoLabo(リコラボ)	丹後王国「食のみやこ」の休眠レストラン等を使用し、京丹後美食都市研究推進会が中心となって、市内の料理人、加工業者、生産者らが食材や技術を気軽に持ち寄り、交流しながら、研究、発表するもの。(R2年度からは、丹後王国「食のみやこ」レストランの使用ができなくなったため、市内店舗等を使用)		○	○	○								
②旬の地元食材を活用した“地産来消”に取り組みます	2 飲食店、宿泊施設、土産物店等での旬の地元食材活用、「フードトレイル」の実施など販売の促進	◎	○	○	○	観光振興課		京丹後フードトレイル創造事業	網野町浜詰から久美浜町甲山までの間に建ち並ぶ、果樹の直売所を活かした観光の魅力づくりを創出するため、数店舗の店先で、旬のフルーツを使ったジュースやパフェなどを提供する「フードトレイル(フルーツトレイル)」を実施する	○	○	○	○		
						観光振興課	観光公社	WEB・マーケティング事業	旬のフルーツや新米など秋食材の魅力を打ち出す構成で、「秋の京丹後」の認知拡大に向けたプロモーションを展開する。					○	
						観光振興課	観光公社	企画・販売事業(域内調達率向上)	観光消費の拡大と域内経済への波及(域内調達率の向上)を目指して、地元産食材にこだわった“ロケ弁”等の開発に取り組んでいる。		○	○	○		
						観光振興課	観光公社	京丹後ふるさと旅行券キャンペーン事業	・令和2年9~10月に実施した「京丹後ふるさと旅行券キャンペーン(秋旅)」で、京丹後産新米コシヒカリのほか、久美浜町産の梨やフルーツスムージーを旅行券利用者に特典提供する。(提供数:新米(2合)2,130袋、梨1,099件、フルーツスムージー1,370件) ・令和2年11月6日から令和3年3月20日まで実施中の「京丹後ふるさと旅行券キャンペーン(冬旅)」で、本市の特産品「久美浜かき」を旅行券利用者に特典提供する。 ・令和3年3月21日~11月30日まで期間延長した「京丹後ふるさと旅行券キャンペーン(冬旅)」で、府内産原料の干物を旅行券利用者に特典提供する。					○	○

第3次京丹後市観光振興計画
①「戦略プロジェクト実施調書」

②旬の地元食材を活用した“地産来消”に取り組めます	3	市内での地元食材流通の仕組みづくり	◎	○	○	農業振興課		生産者と料理人の情報交流会	生産者による農産物のPRトークなどを通じて、生産者と料理人が交流を図り、情報共有をすることで地産地消を進める「つながり」を生みだす。	○	○	○		
						観光振興課 農業振興課	観光公社	観光PR商品企画事業	観光PR商品として、市内に数多くあるシンボルや観光スポット等をパッケージにデザインした京丹後産緑茶のティーパック商品を制作し、おもてなし用のお茶としてお宿等で使用してもらうなどして、京丹後産緑茶の域内消費を喚起する。				○	
						農業振興課 観光振興課 商工振興課	観光公社	京丹後版地域商社事業	京丹後市地域商社協議会に参画し、地域商社(柁丹後王国ブルワリー)と連携して、市内宿泊施設等への京丹後産農産物の取引を推進。				○	
						観光振興課 海業水産課	観光公社	活イカブランド化・プロモーション事業	京丹後市、漁業者、観光事業者、旅行会社と連携して、“イカの生き造り”を新たな観光誘客コンテンツとして広く展開することにより、通年型観光と観光消費額の増大を目指す。				○	
4	地元食材の情報の「見える化」	◎	○	◎	農業振興課		地元産食材の情報収集事業	市内農産物の直売所や、農産物の旬や特徴を紹介することにより購買促進を図るため、農産物買い処マップを作成する予定(令和2年度)				○		
③食を活用した様々な「商品化」と付加価値を高める「ブランド化」に取り組めます	5	食に関する体験プログラムの提供	◎	○	○	観光振興課	観光公社	企画・販売事業	インバウンド及び国内観光客向け京丹後のコンテンツ(体験、観光ルート)を開発する。体験プログラム:ピチピチにぎり寿司体験、イチゴ&桃狩り体験	○	○	○		
								企画・販売事業(ヘルスツーリズム)	「『百寿人生のレシピ』体感プログラム」(令和2年12月21日付ヘルスツーリズム認証取得)で、「宇川加工所」が地元の旬の食材を使った昼食「百寿食メニュー」を開発、提供。市食生活改善推進員が「百寿人生のレシピ」伝達講習会(食生活指導)を実施。 宇川地域での「『百寿人生のレシピ』体感プログラム」の実践を核に、周辺の森、川、海、里山の自然を楽しんだり、食材を自ら調達・調理し、試食したりする体験を旅程に加えたツアーの商品化に取り組む。	○	○	○		
	6	食に関する共通宿泊プランや旅行商品づくり	◎	◎	○	観光振興課	実践会議	京丹後“旬の逸品”お宿プラン	地元で獲れた水産物を使った旬の逸品料理をお客様に提供し、「食」と「宿泊」の魅力向上を図る宿泊キャンペーンを実施する。(平成30年3月1日～令和元年6月30日)	○	○			
	7	“健康”、“長寿”、“環境”などを活かす名物となる土産物や料理、食材などの改良、開発	◎	○	○	観光振興課	京丹後宿おかみさんの会	まごわやさしいこ「朝食プラン」	京丹後米と京丹後で育った「まごわやさしいこ」食材をつかった栄養バランス抜群の朝食を提供し、お客様に朝から健康になっていただこうと企画。	○	○	○	○	
観光振興課						観光公社	企画・販売事業(ヘルスツーリズム)	「『百寿人生のレシピ』体感プログラム」(令和2年12月21日付ヘルスツーリズム認証取得)で、「宇川加工所」が地元の旬の食材を使った昼食「百寿食メニュー」を開発、提供。 市のふるさと納税返礼品として、「ふるぽ(ふるさとチョイス)」にて取扱を開始。	○	○	○			
		「食」と「伝統産業」に関する知的財産を活用したブランド化展開	◎	○	○	商工振興課	商工会	「丹後ちりめんロール」販売支援	商工会が出願中の商標権【丹後ちりめんロール】を、地域の菓子製造販売業者にライセンス付与し、地域住民や観光客等に、ロールケーキの商品名として販売することで、効果的な発信及び認知度を高め、伝統産業と共にブランド化推進を図る。 ※R2:「丹後ちりめんロール」の小商圏を取得。同時にロゴマーク(定義確定)及び幟デザイン製作。				○	○

第3次京丹後市観光振興計画
①「戦略プロジェクト実施調書」

③食を活用した様々な「商品化」と付加価値を高める「ブランド化」に取り組みます	8	新たな“海のブランド食材”の開発	◎	◎	○	海業水産課	観光公社	水産資源を活かした食の観光まちづくり事業	・「活イカ」等の特産品化を効果的に進めていくため、水産資源を活用した観光誘客事業を支援していく。(令和元年度に予算化し、関係団体と活イカの地産来消についての基盤づくりに取り組んだが、例年5月下旬から獲れる白イカが時期になっても全く獲れず、結局、7月下旬まで水揚げが遅れたためモデル事業を実施することができなかった。) ※R3:ウィズコロナに向け急遽補正予算を計上し、活イカ流通実証事業を実施。市内での販路拡大に向けた取り組みがスタートした。	○	○	○				
									京丹後市、漁業者、観光事業者、旅行会社と連携して、「白イカ(剣先イカ)」を生きたまま流通させ、“生き造り”を新たな観光誘客コンテンツとして広く展開することにより、通年型観光と観光消費額の増大を目指す。(再掲)					○		
									・令和2年11月6日から令和3年3月20日まで実施中の「京丹後ふるさと旅行券キャンペーン(冬旅)」で、本市の特産品「久美浜かき」を旅行券利用者に特典提供する。 ・観光公社と京都府漁協が、「久美浜かき」PRチラシとポスターを作成。 ・令和3年3月20日～11月30日まで期間延長した「京丹後ふるさと旅行券キャンペーン(冬旅)」で、府内産原料の干物を旅行券利用者に特典提供した。(再掲)					○	○	
④「旬」でもてなす食の観光」の戦略的な発信とプロモーションを行います	9	動画、SNSなど効果的な情報発信ツールを活用したPR	◎	◎	○	◎	観光振興課	観光公社	動画・写真PRコンテンツ作成	・訴求力のある高度な“旬の食”PR用動画、写真コンテンツ作成 ・“京丹後の魅力”を募ったフォトコンテストで「Facebookいいね賞」部門を設けて、観光公社公式Facebookを活用し、応募作品を配信・拡散。京丹後の認知度を高め、共感を生み出すことにより、来訪の動機付けを行った。 ・「京丹後ふるさと旅行券キャンペーン(冬旅)」のプロモーションとして、訴求力の高い「間人ガニ」を素材にしたポスター及び動画を作成。 ・JR西日本京阪神エリアの電車内及び主要駅構内において、反復訴求性・視認性が高い電車広告や駅広告(デジタルサイネージ広告)を掲出。	○	○	○	○		
							観光振興課	観光公社	WEB・マーケティング事業	SNS(Facebook・Instagram)を活用した観光情報発信力の強化に加え、拡散性、ターゲティング精度の高さを活かしたFacebook広告の配信等、WEB広報媒体の特性を活かした戦略的なWEBの運用。			○	○	○	
	10	デザイン性と統一性のあるイメージ戦略の推進				○	◎	観光振興課		“旬の京丹後”イメージ啓発・普及事業	「食のまち京丹後」の象徴となる「ロゴマーク」と「キャッチコピー」を活用し、効果的な発信及び認知度を高め、食のまちのブランド化推進を図る。啓発のぼり旗の作成及び啓発看板の表示張替え。	○	○	○		
	11	食材の魅力、豊かさや食事処、土産処の情報発信	◎	◎	○	○	観光振興課	商工会	食の魅力発信事業(海外食材アピール商談会)	「食」の魅力と「観光」を広く発信するため、互いの事業者が連携して、「輸出」と「インバウンド」のBtoBtoC商談会を2日間実施。(商工会単独事業) 日程:平成31年9月13日～14日 場所:シンガポール 市内事業者10社参画 昨年からの継続発展事業の一環として、「旬の食材」BtoC向け試食販売マーケティング事業」を、一定期間店舗の棚を賃貸して約4ヶ月間実施。(商工会単独事業) 期間:令和元年10月～令和2年1月 場所:バンコク	○	○			○	
観光振興課							観光公社	京丹後市マルシェ	東京海上日動火災保険(株)本社ビル(東京都千代田区丸の内)で、同本社の社員約4,500名を対象に、京丹後の特産品販売と観光PRを行う物産展「京丹後市マルシェ」を、京丹後市、アミティ丹後、東京海上日動火災保険(株)京都支店との共催で開催。 (販売実績:710千円)					○		
観光振興課								食の魅力発信事業(観光大使PR動画)	市観光大使の太川陽介氏(タレント)が京丹後産品をPRする動画を作成	○	○					

第3次京丹後市観光振興計画
①「戦略プロジェクト実施調書」

④「旬」でもてなす食の観光」の戦略的な発信とプロモーションを行います	11	食材の魅力、豊富さや食事処、土産処の情報発信	◎	◎	○	○	観光振興課	観光公社	観光パンフレット「旬めぐり旅京丹後」の発行	「かわいい」「おいしい」「体験」をキーワードに、市の観光総合パンフレットをリニューアル。市内の食事処や土産処等の情報を発信(令和元年度40,000部作成)	○	○	○	
							観光振興課	観光公社	観光キャンペーン広報事業	京都市内のファミリー世帯をターゲットに約48万部配布される情報誌で、「ズワイガニ」「久美浜かき」「日本酒」等、本市の“冬の魅力”を発信。(「リビング京都」R2年10月3日号) ・「リビング京都」で四季毎の本市の‘食の魅力’を発信			○	○
							観光振興課	観光公社	マイクロツーリズム・プロモーション事業	コロナ禍において、地域の魅力の再発見と地域経済へ貢献するため、3密を避けながら地元の方が近場で過ごす旅のスタイル“マイクロツーリズム”を提案・実践。 ※R2: 市民向けの「Go Local! 京丹後市民限定 泊まって応援キャンペーン」を実施 ※R3: ウェブ広告の配信等。・阪急交通社商談会へ参加			○	○
							観光振興課	観光公社	ECサイト運営事業	「京丹後の知名度アップ」「地域経済の活性化」「観光公社の経営改善」等の効果を狙った観光公社地場産品通販サイト「京丹後ふるさと便」の構築・運営。R3年3月1日開設。			○	○
							観光振興課	観光公社	京丹後ふるさと宿泊クーポン券発行事業	京丹後の食材の魅力と豊富さ、高満足度のおもてなし等を活かして、観光公社会員施設への送客及び地域経済の活性化と高付加価値化を図るため、京丹後市のふるさと納税制度を活用した「京丹後ふるさと宿泊クーポン券」の発行事業に取り組む。			○	○
12	都市部での食に関するイベント、マルシェ等の実施、参加	◎	◎	○	◎	観光振興課	観光公社国際交流協会	インバウンド特化事業(ハラル料理試食会)	京丹後を訪れるムスリム旅行者が増加傾向にある中で、市国際交流協会及び市教育委員会との共催により、公社会員を対象にした「ハラル料理試食会」を開催(令和2年2月19日予定)。安心して京丹後の食を楽しんでいただくための、ハラルの調理法の紹介と試食会。			○		
						観光振興課	観光公社	京丹後市マルシェ	東京海上日動火災保険(株)本社ビル(東京都千代田区丸の内)で、同社の社員約4,500名を対象に、京丹後の特産品販売と観光PRを行う物産展「京丹後市マルシェ」を、京丹後市、アミティ丹後、東京海上日動火災保険(株)京都支店との共催で開催。 (販売実績:710千円)(再掲)			○		
						観光振興課		“旬の京丹後”プロモーションイベント開催事業	都市部(関西圏又は首都圏)で開催される食イベント等において、市観光大使の太川陽介氏(タレント)が京丹後産品をPRする。			○		
⑤「旬」でもてなす食の観光」の戦略を関係者が共有し、機運を高め、一体的に進めます	13	食に関する異業種間の事業者連携・交流・研修機会の創出	◎	◎		◎	観光振興課		美食観光のまちづくりワークショップ	ワークショップや勉強会の開催及び先進地視察を行うなど、様々な立場の関係者の意見を踏まえながら美食観光を推進。今後は、ガストロノミカ、リコラボの実施などで取り組んでいく。	○			
	14	市民、関係者に対する啓発イベント等の実施、参加	○	◎	○	◎	観光振興課	観光公社京丹後美食都市研究推進会	京丹後ガストロノミカたんちよすバル(再掲)RicoLabo(リコラボ)(再掲)	料理人、加工業者、生産者らが集い、研究、発表、交流する食と料理の学会。京丹後市の新しい料理“たんちよす”を食す。		○	○	○

第3次京丹後市観光振興計画
①「戦略プロジェクト実施調書」

<基本方針2> ジオや四季の魅力を活かした「体験・滞在型の観光地」を目指します

【重点・優先】

最優先=赤 優先=オレンジ

基本戦略	戦略プロジェクト	取組主体				市関係課	関係団体	アクションプラン(事業、取り組み)		実施年度						
		業者	団体	市民	行政			事業名	事業概要	H30	H31 R1	R2	R3	R4		
①「ユネスコ世界認定」を受けた「山陰海岸ジオパーク」の資源を守り、積極的に活用します	15	日本一の砂浜海岸づくりに向けた砂浜や「ジオサイト」の保全など、自然環境及び景観の保護・保全、清掃活動	○	◎	○	◎	観光振興課 丹後市民局	各地区、NPO法人まちづくりサポートセンター、観光協会等	主要ジオサイト、海岸の環境整備	主要ジオサイトである立岩周辺、大成古墳、小天橋から浜詰のロングビーチをはじめ、市内各地の海岸等において、一斉クリーン作戦、定期的な清掃活動等による保全活動の実施	○	○	○			
	16	海浜施設や自然公園施設(トイレ、シャワー、遊歩道など)の適切な維持管理		○		◎	観光振興課		自然公園及び海浜施設の管理事業	海浜施設や自然公園施設(トイレ、シャワー、遊歩道など)の適切な維持管理を実施する。	○	○	○			
	17	市民・関係者へのジオパーク、自然環境保全の普及啓発活動	○	◎	○	◎	観光振興課	NPO法人まちづくりサポートセンター	ジオパーク専門ガイドの常駐	山陰海岸ジオパーク「京丹後市情報センター」にジオパーク専門ガイドの常駐。	○	○	○	○		
							観光振興課		ガイド養成講座	専門的知識を持つガイド養成講座を開催する。	○	○	○	○		
							観光振興課	ジオパーク推進協議会	山陰海岸ユネスコ世界ジオパーク普及啓発	パンフレット・ホームページ・Facebook等で広報	○	○	○	○		
							教育総務課	各小学校	大地の学習	市内全小学校の6年生が、郷村断層、鳴き砂文化館、間人の柱状節理等を現地で見学し、地元の歴史や地形について学び、地域に誇りをもつきっかけとする	○	○	○			
							生涯学習課		高齢者大学	美しい自然資源を次の世代へ伝えることについて考えるため、鳥取県、兵庫県を含むエリア内の施設見学、自然散策などの野外学習のほか、山陰海岸ジオパークや丹後震災、防災に関する講演会の実施。	○	○	○	○		
							生涯学習課		高齢者大学(弥栄 網野)	「山陰海岸ジオパーク」の施設や現地視察を行いジオパークに対する見分、認識を広める。	○	○		○		
							生涯学習課		高齢者大学(丹後)	美しい自然資源を次の世代へ伝えることについて考えるため、兵庫県を含むエリア内の自然散策など野外学習を実施。	○	○	○	○		
							生涯学習課		公民館講座「ジオ・山野草ウォーキング」	丹後町袖志、網野町掛津、久美浜町箱石などを歩きながら、山陰海岸ジオパークについて学び、海浜植物、海洋汚染等について考える。成人対象。			○	○	○	
							生涯学習課		公民館講座「たんごふるさと探検隊」	地域の海浜、河川、山などの自然環境について、体験活動を通して見つめ、自然を守り育てることについて考える。小学生対象。	○	○			○	
生涯学習課		町民歩こう会	健康と行楽を兼ねて自然の中でウォーキングを楽しむ。 対象: 弥栄町在住の方	○	○	○	○									
生涯学習課		公民館講座「夏休み子ども体験教室in山陰海岸ジオパーク」	地元の自然について興味や関心を持ち愛着の心を育む。元年度は久美浜カヌー競技場での「カヌー体験」、弥栄町野間から丹後町宇川までの約13キロを山野草などについて学びながら歩く「チャレンジウォーク」を実施。小学生対象。	○	○	○										

第3次京丹後市観光振興計画
①「戦略プロジェクト実施調書」

①「ユネスコ世界認定」を受けた「山陰海岸ジオパーク」の資源を守り、積極的に活用します	18	「ジオ」を活用した商品やツアーの開発、イベント実施	◎	◎	◎	観光振興課	NPO法人まちづくりサポートセンター	「京丹後 山陰海岸ジオパークジオと長寿の京丹後を歩こう！！」ガイドウォーク	毎月、ガイドウォークツアーを実施。	○	○	○	○	
						観光振興課	観光公社	観光コンテンツ開発	・インバウンド及び国内観光客向け京丹後のコンテンツ(体験、観光ルート)を開発する。 ・NPO法人まちづくりサポートセンターと観光公社が連携し、山陰海岸ジオパークエリアを歩くツアー「京丹後縦断トレイル」を企画し、神姫バスツアーズ(兵庫県姫路市)が採用。(令和2年4月から月に1行程ずつ、全8回の実施を予定していたが、コロナ禍において延期となった。) ・弥栄町野間エリアの自然、文化、暮らしを巡るe-Bikeによるサイクリングツアーを造成。	○	○	○	○	
						観光振興課	観光公社	ANA誘客キャンペーン事業	ANA との連携により、現在積極的な誘客ができていない関東方面での京丹後市の認知度アップを図るとともに、将来のインバウンド再開も見据えて、海の京都観光圏や北近畿観光圏などの周遊を含めた京丹後への集客を図る取組みを展開する。				○	
②海、山、里の地域資源を活かした四季折々の“ほんまもん体験”を提供します	19	観光事業者、農漁業者等の連携による、「ジオ」を活用した体験プログラムの提供	◎	○	○	観光振興課	観光公社	ほんまもん体験推進事業	市内の宿泊施設、観光関連団体の関係者が市内各地で実施されている体験プログラムの現場を訪れ、それらのプログラムを実際に体験し、その価値や魅力を観光誘客につなげるファムツアーを実施する。今後は、観光公社のツアー造成の中で取り組む。 ・夕日ヶ浦観光協会(誘客推進委員会)と観光公社が連携し、夕日ヶ浦エリアにおける新たな体験コンテンツとして「ナイトSUP」と「e-Bikeガイドツアー」を開発。	○	○	○	○	
						5	食に関する共通宿泊プランや旅行商品づくり	◎	○	○	観光振興課	実践会議	京丹後“旬の逸品”お宿プラン	地元で獲れた水産物を使った旬の逸品料理をお客様に提供し、「食」と「宿泊」の魅力向上を図る宿泊キャンペーンを実施する。(H30.3.1～R1.6.30)
③日本遺産「丹後ちりめん回廊」の織物業や「ハイテクランド」を構成する機械金属業など地域の特色ある産業を活かした「産業観光」を展開します	20	織物業や機械金属業などを活用した、見学、体験、まち歩き、食を組み合わせたツアーなどの提供	◎	◎	○	観光振興課	観光公社	こまねこまつり まち歩きツアー	「ねこ」と「丹後ちりめん」をキーワードに、京丹後市峰山町の街歩きを楽しむ「こまねこまつり」に合わせ、地元ガイドと楽しむ街歩きツアーを実施。	○				
						観光振興課	観光公社	丹後ちりめん活用した見学・体験等コンテンツ開発	・英国船籍のクルーズ船オプションツアー客を田勇機業ちりめん工房に誘致。丹後ちりめんを活用したコンテンツ開発・商品開発を実施。 ・与謝野町観光協会と観光公社が、与謝野町と京丹後市の織物職人を訪ねる1泊2日のプレミアムツアー「シーラ・クリフと巡る丹後ちりめん工房」を企画し、令和2年10月25、26日に実施。(神奈川県や愛知県などから女性10名が参加した。) ・令和2年12月5日、市国際交流協会と観光公社のコラボ企画として、「The Quest for Silk -Tango Chirimen-丹後ちりめん探究ツアー」を網野町内で開催。(アメリカやイギリス出身の京丹後在住外国人男女10人が参加した。)			○	○	○
						観光振興課	京都府 オーシャンロード推進協議会	京都オーシャンロード～間人皇后と丹後王国ものがたり～	古代ロマンあふれる丹後を「電動アシスト自転車」でめぐるツアーの実施。			○		
						観光振興課	観光公社	産業観光の推進	旅行会社との連携を強化し、ツアー造成における現地体験プログラム等を手配。					○

第3次京丹後市観光振興計画
①「戦略プロジェクト実施調書」

④「丹後王国」などの歴史や遺跡、ふるさとの伝説を観光へ活用します	21	歴史や文化、遺跡、祭りなど文化財の活用	○	◎	○	◎	文化財保護課	網野銚子山古墳整備事業	網野銚子山古墳の整備に必要な情報を得るための発掘調査を実施したほか、整備工事を一部着手した。発掘調査現場は、調査途中に現地説明会を開催し、成果の公表と活用をはかった。	○	○	○	○	
							生涯学習課	京都:Re-Search実行委員会(京都府)	アーティスト・イン・レジデンス事業(京丹後)	平成30年度に市外若手アーティスト5名が京丹後市内の資源を活用したアートのリサーチを実施。令和元年度及び2年度に峰山町吉村機業(株)旧織物工場などを会場として制作したアート作品の展示会及び展示を見学する市外からのツアーを実施。	○	○	○	
							観光振興課	観光公社	体験ガイドブック「わくわく京丹後へGO!」 観光公社ホームページ	体験ガイドブックと観光公社ホームページ・SNSで観光体験メニューのPRを実施。		○	○	○
	22	京丹後七姫伝説や浦島太郎伝説、鬼退治伝説など、伝説や伝承の活用	◎	◎	○	◎	丹後王国 食のみやこ	「丹後七姫劇団」PR事業	丹後に伝わる七姫伝説をモチーフに、歌や踊り、太鼓、芝居で丹後エリアをPRしている。(平成30年度 公演3回、イベント出演22回)	○	○			
⑤「海の京都観光圏整備計画」を踏まえた「滞在型の観光地」をつくります	23	食、温泉、体験、宿泊などをセットにしたルートづくり	○	◎		○	観光振興課	実践会議	・宿泊事業者向け体験型観光ファームツアー ・企画列車モニターツアー	・宿泊客に京丹後での過ごし方を直接案内する宿泊事業者等が地域の資源への理解を深め、自信を持って京丹後の魅力を提案できるように体験ツアーを実施。 ・当地域のローカル鉄道(京都丹後鉄道)を観光コンテンツの一つとし、新たな着地型商品の造成。	○			
							観光振興課	観光公社 海の京都DMO	観光コンテンツ開発	食、温泉、体験、宿泊などをセットにしたルート造成は検討を重ねている。久美浜牡蠣の日帰り食べ放題プランを観光公社と牡蠣小屋が開発し、WEB広告でPRを実施。	○	○	○	○
⑤「海の京都観光圏整備計画」を踏まえた「滞在型の観光地」をつくります	23	食、温泉、体験、宿泊などをセットにしたルートづくり	○	◎		○	生涯学習課 観光振興課	海の京都DMO 観光公社 WMG実行委員会	ワールドマスターズゲームズ2021関西「観光・文化プログラム」の商品化	大会実施計画の中で「観光・文化プログラム」を企画。令和4年度に実施する大会参加者へ販売するとともに、大会終了後も活用を図る。		○	○	○
							観光振興課	観光公社	企画・販売事業(ヘルスツーリズム)	100歳人生を支える郷土食と長寿健康法が体験できるプログラム「百寿人生のレシピ」を開発(令和2年12月21日付ヘルスツーリズム認証取得)。		○	○	○
							観光振興課	観光公社	ANA誘客キャンペーン事業	ANAとの連携により、現在積極的な誘客ができていない関東方面での京丹後市の認知度アップを図るとともに、将来のインバウンド再開も見据えて、海の京都観光圏や北近畿観光圏などの周遊を含めた京丹後への集客を図る取組みを展開する。(再掲)				○
	24	自然、街並みなど景観の保全・形成とまち歩き・さと歩き観光の推進	○	◎	○	◎	観光振興課	実践会議 観光公社	サイクリング、街歩きの魅力発信	レンタサイクルの利用促進等、地域の魅力発信に繋げる。 木製サイクリングスタンド、レンタサイクル啓発スタンド看板(久美浜駅前)等設置。	○	○	○	○
	25	「海の京都」京丹後市マスタープランに基づく「戦略拠点」(久美浜・夕日ヶ浦)、「交流地区」(久美浜・網野・丹後)の魅力向上	◎	◎	○	◎	観光振興課	海の京都DMO 観光公社	「戦略拠点」「交流拠点」の魅力向上	夕日ヶ浦観光協会(誘客推進委員会)への継続的な伴走支援、掛津地区への訪日教育旅行受入支援等。	○	○	○	○

第3次京丹後市観光振興計画
①「戦略プロジェクト実施調書」

<基本方針3> 外国人旅行者、宿泊客等の誘致を強化します

最優先=赤 優先=オレンジ

基本戦略	戦略プロジェクト	取組主体				市関係課	関係団体	アクションプラン(事業、取り組み)		実施年度				
		業者	団体	市民	行政			事業名	事業概要	H30	H31 R1	R2	R3	R4
①ターゲットを明確にし、外国人旅行者のさらなる誘致に取り組みます	26 アジア圏(台湾、タイ、シンガポール等)及び欧州等を主ターゲットとした誘致活動	◎	◎	○	○	観光振興課	海の京都DMO 豊岡DMO	シンガポール宿泊誘致・観光PR事業	海の京都DMOと豊岡DMOと連携し、市内宿泊事業者とともにシンガポールで開催された旅行博「NATAS」に出展することで、個人旅行者向けのPRを実施。	○				
						観光振興課	観光公社	海外誘客主要ターゲット国選定	海外誘客主要ターゲット国に、欧米豪:「アメリカ」「フランス」「オーストラリア」「イギリス」、アジア:「台湾」「香港」「タイ」「シンガポール」を選定し、インバウンド対策(WEB・マーケティング事業)を展開。		○	○	○	
						観光振興課	観光公社	在日外国人向け認知拡大WEB広告配信事業	コロナ禍で外国人旅行者が見込めない中、海外誘客主要ターゲット国出身で、京阪神エリアに在住の観光に興味を持っている外国人約600人をターゲットに、京丹後市及び観光公社の海外向けWEBサイト「Visit Kyotango」の認知度向上を目的に、WEB広告を配信。(海外誘客主要ターゲット国の京阪神エリア在住外国人約153,000人)				○	○
②海の京都DMO、豊岡DMOなど広域連携によるインバウンドの取組を強化します	27 海の京都DMOや豊岡DMOと連携した各種プロモーション、誘致活動	○	◎	○	○	観光振興課	海の京都DMO 豊岡DMO	シンガポール宿泊誘致・観光PR事業(再)	海の京都DMOと豊岡DMOと連携し、市内宿泊事業者とともにシンガポールで開催された旅行博「NATAS」に出展することで、個人旅行者向けのPRを実施。	○				
						観光振興課	海の京都DMO 観光公社	海外プロモーション	・台湾旅行博Touch the japan出展・タイTITF旅行博出展 ・京都府インバウンド商談会に民間事業者と参加。	○	○			
						観光振興課	観光公社	WEB・マーケティング事業	SNS(Facebook・Instagram)を活用した観光情報発信力の強化に加え、拡散性、ターゲティング精度の高さを活かしたFacebook広告の配信等、WEB広報媒体の特性を活かした戦略的なWEBの運用。		○	○	○	
						観光振興課	観光公社	観光誘客促進事業	京都丹後鉄道「網野駅」及び「夕日ヶ浦木津温泉駅」にコインロッカーを設置。				○	
③外国人旅行者を受け入れる態勢整備や観光関連事業者の機運醸成を推進します	28 宿泊施設、観光施設などでの多言語表示、Wi-Fi、免税店等の受入環境整備	◎	○	○	○	商工振興課		観光誘客促進事業	市内宿泊事業者等が行うサインやパンフレットの多言語化等に対し、経費の一部を支援する補助制度の実施。	○	○			
						観光振興課	観光公社	英語翻訳サービス事業	観光事業者等が行う観光施設等における多言語化を図るため、公社所属の国際交流員(CIR)による英語ネイティブ翻訳サービスを実施。		○	○	○	
						観光振興課	観光公社	オンライン英会話教室事業	観光公社所属の国際交流員(CIR)によるオンライン英会話教室を開講。				○	○
	29 地域全体での受入機運醸成や外国人旅行者対応等へのスキルアップ	◎	◎	○	◎	観光振興課	観光公社	インバウンド特化事業	夕日ヶ浦観光協会(誘客推進委員会)の活動に観光公社が支援を実施。観光公社の海外向けホームページ「VisitKyotango」の宿泊予約サイトに約30施設が登録し、受入機運は醸成されつつある。	○	○	○	○	
						観光振興課	観光公社	インターンシップ受入事業	京都外国語大学との連携協定「京丹後プログラム」に基づく、ラーニング型インターンシップの受入を実施。		○	○	○	
						観光振興課	観光公社	顧客満足度向上事業	インナープロモーション事業の一環として、市内宿泊施設を対象に、覆面調査及び京都市内ホテルとのマッチングを進める。		○	○	○	

第3次京丹後市観光振興計画
①「戦略プロジェクト実施調書」

③外国人旅行者を受け入れる態勢整備や観光関連事業者の機運醸成を推進します	30	“民泊サービス(住宅宿泊事業)”、“泊食分離”など、外国人旅行者のニーズに対応した宿泊、食事の提供	◎	○	○	観光振興課	商工会	『世界標準でおもてなし 食の多様化セミナー&個別相談～ベジタリアン・ヴィーガン・ハラール等～』	10月に市内の観光事業者及び飲食店等30名にセミナーと宿泊施設の個別相談を実施。マレーシアから講師を招聘し現地でのニーズも把握。(京都府後援)	○								
						観光振興課	観光公社 国際交流協会	インバウンド特化事業(ハラール対応食普及促進)	京丹後を訪れるムスリム旅行者が増加傾向にある中で、市国際交流協会及び市教育委員会との共催により、公社会員を対象にした「ハラール料理試食会」を開催予定。安心して京丹後の食を楽しんでいただくための、ハラールの調理法の紹介と試食会。	○								
	31	あらゆる旅行者を受け入れる「ユニバーサルツーリズム」の導入	◎	◎	◎	観光振興課 障害者福祉課	京丹後宿おかみさんの会	手話教室の実施	高齢の方・障害のある方などをお迎えするための接遇向上。手話言語条例を制定。繰り返し学ぶことで障害者へのサポートに対する意識が高くなっている。	○	○	○						
観光振興課 障害者福祉課						京丹後宿おかみさんの会 福祉作業所	ちりめんを活用による小物製作	良好商品の造成・普及。ちりめん再利用による製品開発。	○	○								
障害者福祉課 農業振興課							障害者利用設備の整備	障害者のための多機能トイレの整備、情報提供。車椅子使用者、オストメイト、子ども連れなどの多様な利用者に使いやすいトイレの整備。(道の駅くみはまS ANKAIKANのトイレ洋式化整備R2年度完成)	○	○	○							
④教育旅行の受け入れを積極的に行います	32	“ほんまもん体験”を活かした教育旅行の誘致活動	◎	◎	○	観光振興課	観光公社	ガラシャファムツアー	令和元年2月、大手旅行会社のファムツアーを実施。	○								
						観光振興課	観光公社	教育旅行コンテンツの充実	教育旅行における体験学習等(SUP・シーカヤック・梨狩り・貝殻クラフト・狛猫絵付け体験等)を手配。			○	○					
						観光振興課	観光公社	教育旅行の受入(木津川市)	平成20年に締結した「京丹後市と木津川市との間の友好都市提携に関する盟約書」に基づく、修学旅行の継続と拡大における受入事業実施に向けた調整(木津川市教育委員会へのプレゼン等)を行った。(令和4年度モニターツアー等実施予定)				○					
33	「分宿」など、“民泊ニーズ”に対応する民宿での受入態勢の整備	◎	○	○	観光振興課	京都府 観光公社 掛津地区	教育旅行の受入	・京都府のインバウンド推進事業の一環で、掛津地区での教育旅行受入を実施。(2015年から実施) ・台湾教育関係者(校長等)の招聘に向けて、当該招聘者に対し視察ツアー(ファムトリップ)を実施。	○	○			○					
					34	宿泊施設、温泉施設の環境整備、魅力向上と発信強化	◎	○	○	観光振興課	市内所在の法人等	観光インフラ整備等促進事業費補助金	本市の美しい自然や景観、温泉等豊かな資源を活かした魅力ある観光地づくりを推進するため、温泉源、温泉施設等を整備する事業に対し補助金を交付する。	○	○	○		
										観光振興課	実践会議	・宿泊事業者向け体験型観光ファムツアー ・企画列車モニターツアー	・宿泊客に京丹後での過ごし方を直接案内する宿泊事業者等が地域の資源への理解を深め、自信を持って京丹後の魅力を提案できるように体験ツアーを実施。 ・当地域のローカル鉄道(京都丹後鉄道)を観光コンテンツの一つとし、新たな着地型商品の造成。	○	○			
⑤ゆっくり滞在できる宿泊、温泉の魅力向上を図ります	23	食、温泉、体験、宿泊などをセットにしたルートづくり(再掲)	○	◎	○	観光振興課	観光公社 海の京都DMO	観光コンテンツ開発	食、温泉、体験、宿泊などをセットにしたルート造成は検討を重ねている。久美浜かきの日帰り食べ放題プランを観光公社と牡蠣小屋が開発し、WEB広告でPRを実施。	○	○	○	○					
						生涯学習課 観光振興課	観光公社 海の京都DMO WMG実行委員会	ワールドマスターズゲームズ2021関西「観光・文化プログラム」の商品化	大会実施計画の中で「観光・文化プログラム」の企画。令和4年度に実施する大会参加者へ販売するとともに、大会終了後も活用を図る。			○	○	○				
						観光振興課	観光公社	企画・販売事業(ヘルスツーリズム)	100歳人生を支える郷土食と長寿健康法が体験できるプログラム「百寿人生のレシピ」を開発(令和2年12月21日付ヘルスツーリズム認証取得)。			○	○	○				
						観光振興課	観光公社	ANA誘客キャンペーン事業	ANAとの連携により、現在積極的な誘客ができていない関東方面での京丹後市の認知度アップを図るとともに、将来のインバウンド再開も見据えて、海の京都観光圏や北近畿観光圏などの周遊を含めた京丹後への集客を図る取組みを展開する。(再掲)						○			

第3次京丹後市観光振興計画
①「戦略プロジェクト実施調書」

<基本方針4> “ジオ・スポーツ”や“ジオ・アクティビティ”で観光交流人口の拡大を目指します

最優先=赤 優先=オレンジ

基本戦略	戦略プロジェクト	取組主体				市関係課	関係団体	アクションプラン(事業、取り組み)		実施年度				
		業者	団体	市民	行政			事業名	事業概要	H30	H31 R1	R2	R3	R4
①2020年東京オリンピック・パラリンピックの「ホストタウン」、「ワールドマスターズゲームズ2021関西」等を通じた文化交流や地域経済の活性化に取り組みます	35 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けたカヌー競技の環境整備、相手国との交流事業等「ホストタウン」の取組	○	○	○	◎	生涯学習課	市体育協会(久美浜カヌークラブ)等	オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業	・2021年8月開催の東京2020オリンピックカヌースプリント競技に向けたスペイン及びポルトガルチームの事前合宿の受入及び交流等の実施。 ・ホストタウン登録を行っている韓国、オーストラリア、スペイン、ポルトガルとの交流の実施。	○	○	○	○	
		○	○	○	◎	生涯学習課	市体育協会等	オリンピック聖火リレー事業	東京五輪聖火リレーを実施し、地域振興や地域活性化に繋げる。		○	○	○	
		○	○	○	◎	生涯学習課	観光公社	直前合宿受入	スペイン及びポルトガルのカヌー選手団の直前合宿を受入れ。		○	○	○	
	36 「ワールドマスターズゲームズ2021関西」その他スポーツイベント等の実施	○	○	○	◎	生涯学習課	ワールドマスターズゲームズ2021関西京丹後市実行委員会	ワールドマスターズゲームズ2021関西	令和3年5月14日から関西一円を舞台に開催される大会のカヌー競技(マラソン・SUP・ドラゴンボート)を京丹後市で実施。国内外から約1100名の選手の参加を見込み、観光振興及びインバウンドにつなげる。 ※現在、大会は延期となり、延期後の日程調整中	○	○	○	○	
		○	○	○	◎	生涯学習課 観光振興課	観光公社	企画・販売事業	WMGの参加者(日本人を含む)に向けた体験コンテンツの開発。		○	○		
		○	○	○	◎	生涯学習課	各実行委員会、市体育協会等	丹後半島ラリー(4.5月) サンセットビーチフェス(6月) SUPA西日本選手権大会(7月) ドラゴンカヌー選手権大会(8月) 丹後100kmウルトラマラソン(9月) あみの八丁浜ロードレース(10月) 丹後大学駅伝(11月) 久美浜湾一周駅伝大会(11月)	地域特性を活かしたスポーツ大会等を通じて、京丹後の魅力や山陰海岸ジオパークを全国に発信するとともに、内外の交流促進とスポーツ・観光振興に資する。 (サンセットビーチフェスは、H30年まで開催) ※令和2年度から観光振興課へ所管異動(丹後半島ラリー)	○	○	○	○	
②ジオパークなど豊かな自然や地域特性を活かし、“春・秋”を中心としたスポーツイベントの誘致・支援を行います	37 ビーチスポーツ(ビーチバレーなど)、ウルトラマラソン、TANTANロングライドなど、“春・秋”を中心としたスポーツイベントの誘致・支援	○	◎	○	◎	生涯学習課	観光公社	宿泊斡旋事業	市主催のスポーツイベント等における市観光公社を通じた宿泊・観光情報の提供・斡旋の実施。(ポスター、HP等に掲載) (ウルトラマラソン、ドラゴンカヌー、ワールドマスターズゲームズ2021関西プレ大会)		○	○	○	
		○	◎	○	◎	観光振興課		観光業等活性化推進事業補助金	町の活性化及び交流人口の拡大に寄与する各種大会等(スポーツ大会、イベント等)を主催する団体に対し補助金を交付する。	○	○	○		
		○	◎	○	◎	生涯学習課	市体育協会、北丹陸上競技協会	峰山途中ヶ丘公園陸上競技場リニューアル事業	峰山途中ヶ丘公園陸上競技場を、日本陸上競技連盟第3種公認陸上競技場として整備。大会誘致、合宿誘致などに取り組み、スポーツ振興及び交流人口の拡大等、地域活性化につなげる。令和2年10月1日供用開始。	○	○	○		
②ジオパークなど豊かな自然や地域特性を活かし、“春・秋”を中心としたスポーツイベントの誘致・支援を行います	38 スポーツ施設等の必要な整備・管理とスポーツイベント、合宿等への活用	○	○	○	◎	生涯学習課	市体育協会(久美浜カヌークラブ)	久美浜カヌーセンター(仮称)整備	全国規模のカヌー大会やカヌー合宿、カヌー体験等を通じた修学旅行の誘致、各種カヌー体験やドラゴンカヌー体験への活用のため、久美浜湾カヌー競技場内に、カヌーセンター(仮称)を整備する。令和2年度末完成予定。		○	○	○	

第3次京丹後市観光振興計画
①「戦略プロジェクト実施調書」

③ジオパークの魅力を活かした「ジオ・スポーツ」や「ジオ・アクティビティ」の場や機会を提供します	39	「ジオ」を活かしたカヌー、SUP、釣り、漁体験、ダイビング、トレッキング、サイクリングなど、スポーツやアクティビティ環境の提供	◎	◎	○	観光振興課		アプリ「わくわく京丹後へGO！」	スマートフォン用観光アプリ「わくわく京丹後へGO！」は、市内の観光施設や体験等の情報を掲載。	○	○	○		
						観光振興課	観光公社	体験ガイドブック「わくわく京丹後へGO！」 観光公社ホームページ	体験ガイドブックと観光公社ホームページ・SNSでPRを実施。	○	○	○	○	
						生涯学習課	市体育協会 (久美浜カヌークラブ)	久美浜湾カヌーセンター整備	全国規模のカヌー大会やカヌー合宿、カヌー体験等を通じた修学旅行の誘致、各種カヌー体験やドラゴンカヌー体験への活用のため、久美浜湾カヌー競技場内に、久美浜湾カヌーセンターを整備する。令和2年度末完成予定。		○	○		
	40	安全・快適な海水浴の環境づくり等による誘客促進	○	◎	◎	観光振興課	日本一の砂浜海岸づくり実行推進会議	ビーチ斉クリーン作戦	山陰海岸ユネスコ世界ジオパークを構成する京丹後の美しい砂浜海岸を保全し、一年を通じてにぎわう日本一の砂浜海岸づくりを推進するため、6月に「ビーチ斉クリーン作戦」としてボランティアを募り、海岸清掃を実施。	○	○			
④スポーツイベントの運営を地域で支える体制や経済波及効果による持続可能な運営の構築に取り組みます	41	スポーツイベントの支援・運営体制の構築	○	○	○	◎	政策企画課		各スポーツイベント	ドラゴンカヌー選手権大会、丹後100kmウルトラマラソン、丹後大学駅伝、久美浜湾一周駅伝、丹後半島駅伝などのスポーツイベントを開催するうえで必要な運営スタッフとして、職員を動員した。	○	○	○	○
							生涯学習課	市体育協会、ドラゴンカヌー実行委員会、WMG2021関西京丹後市実行委員会、日本カヌー連盟	ワールドマスターズゲームズ2021関西における体制基盤整備	ワールドマスターズゲームズ2021関西において開催が決定しているカヌーマラソン競技に対応するため、関係団体や市民参画を含む大会運営体制の基盤づくりと機運の醸成に取り組む。 ※現在、大会は延期となり、延期後の日程調整中	○	○	○	○
							観光振興課	観光公社	宿泊斡旋事業	ウルトラマラソンにおける宿泊斡旋。※R2、R3コロナ禍で中止		○	○	○
19	観光事業者、農漁業者等の連携による、「ジオ」を活用した体験プログラムの提供	◎	○	○	観光振興課	観光公社	ほんまもん体験推進事業	市内の宿泊施設、観光関連団体の関係者が市内各地で実施されている体験プログラムの現場を訪れ、それらのプログラムを実際に体験し、その価値や魅力を観光誘客につなげるファミツアーを実施する。今後は、観光公社のツアー造成の中で取り組む。	○	○	○	○		

第3次京丹後市観光振興計画
①「戦略プロジェクト実施調書」

<基本方針5> 徹底したマーケティング手法で戦略的に観光情報を発信します

最優先=赤 優先=オレンジ

基本戦略	戦略プロジェクト	取組主体				市関係課	関係団体	アクションプラン(事業、取り組み)		実施年度					
		業者	団体	市民	行政			事業名	事業概要	H30	H31 R1	R2	R3	R4	
①マーケティング調査による現状分析や実態把握などに基づき、テーマ、ターゲットを絞った情報発信を行います	42	マーケティング調査(全宿統一アンケート実施など)によるターゲット戦略の策定	○	◎		◎	観光振興課	観光公社	WEB・マーケティング事業	WEBマーケティング会議を開催し、サイトへの来訪者数、予約件数の増加を目指し、PDCAサイクルを回して結果に拘った取組みを実施。(WEB広告、WEB戦略、改善会議)	○	○	○	○	
	43	国内重要ターゲットを設定し、ターゲットへの適確な手法でのアプローチ	○	◎	◎	観光振興課	観光公社	WEB・マーケティング事業	上記マーケティング調査と、その結果を活用して当市で売りにするターゲットの選定作業を進めている。R1/2頃決定を予定している。		○				
						観光振興課	海の京都DMO 観光公社	海の京都DMO自走式デジタルマーケティング調査事業	ロイヤルカスタマー(お得意様)の獲得・増加を図るため、海の京都旅行者情報(旅行の楽しみや楽しんだ観光スポット・体験等)を収集する「QRコード読み取り式のスマホ・アンケート調査」の実施。		○				
						観光振興課	観光公社	京都観光データ収集・分析事業(京都府観光連盟)	観光客のプロフィール像をサンプリングし、他の観光地と比較優位となる特色を明らかにすることで、旅行先としての決定要因を分析し、今後のマーケティング手法を探るために、京都府観光連盟が実施するモデル事業に協力。夕日ヶ浦温泉エリアを中心に、人流データやWEB・SNSの分析を行う。					○	
観光振興課	観光公社	「京丹後ナビ」における情報発信テーマ策定のための調査業務	本市の観光資源に対する消費者の認識や他の観光地との違いを消費者インタビューにより調査・確認し、今後、「京丹後ナビ」として注力すべき領域や伝えるべき内容を絞り込み整理する						○						
②海の京都DMOや豊岡DMOなど、広域連携によるメリットを活かした情報発信を行います	44	広域連携によるマスメディアの活用等、効果的な情報発信やプロモーションの実施		◎	◎		海の京都DMO	情報発信・プロモーション事業	「海の京都」の内外への情報発信及び観光客誘致 ・WEB情報発信・SNS情報発信・α-station情報発信・戦略的メディアプロモーション ・北近畿観光素材説明会及び現地視察 等々	○	○	○	○		
						観光振興課	観光公社	広域連携事業(情報発信)	与謝野町観光協会との連携事業(広域周遊観光)。プレジデント社 シーラ・クリフ氏(着物研究家・イギリス人)やカジュアル着物情報誌「七緒」と連携し、ファッション素材としての丹後ちりめんの価値を国内女性ミドル層や欧米インバウンドをターゲットに発信。		○	○			
③効果的な情報発信ツールを選択し、戦略的な情報発信を行います	45	パンフレット、紙媒体での情報発信の効果的な整備と活用	○	◎		◎	観光振興課	観光公社	広域誘客推進事業	観光パンフレット及び体験ガイドブック「わくわく京丹後へGO!」並びに観光マップを増刷した。 ・パンフレットやチラシ、観光雑誌等の紙媒体からWebサイトへの誘導を図る。	○	○	○	○	
	46	ウェブサイト、SNSなどICTを活用した効果的な情報発信、PR	◎	◎	○	◎	観光振興課	観光公社	ホームページリニューアル事業	国内向けホームページをリニューアルし、写真や動画を豊富に掲載することで、視覚に訴えて効果的に発信できるホームページを作成。同時に、外国語ホームページを新設した。	○	○			
	47	交通アクセス、情報化の進展などを踏まえた、市内での観光案内機能の整備	○	◎	○	◎	観光振興課	観光公社	デジタルサイネージ設置事業	観光客への情報提供のため、網野駅構内にデジタルサイネージを設置した。	○	○	○	○	

第3次京丹後市観光振興計画
①「戦略プロジェクト実施調書」

③効果的な情報発信ツールを選択し、戦略的な情報発信を行います	48	観光大使の活用、SNS情報大使の創設、フィルムコミッション活動など効果的な発信の工夫	◎	◎	◎	◎	観光振興課	観光大使	市観光大使の太川陽介氏が京丹後産品をPRする動画(3本)作成 都市部(関西圏又は首都圏)で開催される食イベント等において、市観光大使の太川陽介氏(タレント)が京丹後産品をPRする。	○	○				
							観光振興課	観光公社	明智光秀 AI 協議会	大河ドラマ「麒麟がくる」放映にあわせ、明智光秀ゆかりの14の自治体と民間会社(LINE(株)・(株)サイシード)で組織された「明智光秀 AI 協議会」に観光公社が参画。無料通信アプリLINEで味土野の細川ガラシャ隠棲の地をはじめ、京丹後市の観光名所を配信。		○	○		
							観光振興課	観光公社	フィルム・ブランドプロモーション事業	・公式WEBサイト「京丹後ナビ」において、「映画・ドラマ・CMのロケ地紹介ページ」を開設し、撮影に同行したフィルムコミッションならではの切り口・視点でのページ構成で、数々の作品やその撮影場所等を紹介する。 ・撮影地を通じて、京丹後の持つ魅力を多くの方に伝えることを目的に、京丹後ロケ地巡りツアーを実施する。					○

第3次京丹後市観光振興計画
①「戦略プロジェクト実施調書」

<基本方針6> 地域総ぐるみの観光地づくりを推進します

最優先=赤 優先=オレンジ

基本戦略	戦略プロジェクト	取組主体				市関係課	関係団体	アクションプラン(事業、取り組み)		実施年度					
		業者	団体	市民	行政			事業名	事業概要	H30	H31 R1	R2	R3	R4	
①海の京都DMOや豊岡DMOなど関係府県市町等との広域的な取組と連携を強化します	49	海の京都DMOによる、京都府及び北部7市町が一体となった「海の京都観光圏」の取組推進	○	◎		◎	観光振興課	海の京都DMOへの参画	地域の総力を結集して観光まちづくりを効果的かつ強力に推進するため、「海の京都DMO」を設立し、北部5市2町を圏域とする海の京都観光圏地域の観光・交流・集客等に関する事業を一元的・統合的に実施・推進	○	○	○	○		
	50	豊岡DMOその他広域観光団体との連携	○	◎		◎	観光振興課	豊岡DMOへの参画	豊岡市が中心となり地域企業等と連携して設立した「豊岡DMO」に連携団体として参画。メインのターゲットは城崎温泉に宿泊する外国人観光客で、本市の魅力的な観光資源の情報を提供し、本市エリアを含む旅行商品化、周遊の仕組みづくり、名物開発など広域連携による観光誘客の推進を図る	○	○	○			
②市観光協会を中心とした地域の観光推進体制の整備と関係団体等との連携を強化します	51	市観光協会を中心に、行政、観光事業者と連携した観光推進体制の確立と業界の一体化	◎	◎	○	◎	観光振興課	観光公社	組織体制の強化	令和元年6月、観光公社を設立して、市職員派遣による組織強化、ゼロベースでの事業の見直しを行い、旧観光協会を立て直すことでより官民一体で観光推進ができる体制を構築した。	○	○	○	○	
							観光振興課	観光公社	宿泊施設における新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン(標準的対策)策定	本市を訪れる宿泊客が少しでも安心して滞在できる環境づくりに取り組むため、市内の旅館業等宿泊施設において定める基準として、国の指針を基本とした「宿泊施設における新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン(標準的対策)」を策定した。 ・第1版:令和2年6月19日策定 ・第2版:令和2年11月1日改訂				○	
	52	市観光協会及び支部、地域における効果的な観光まちづくり・観光イベント等の実施	○	◎	○	○	観光振興課	観光公社	観光イベント等	観光公社支部が地域イベントをサポート。地域振興から脱却した観光誘客に繋がる効果的なイベントの実施を模索する。	○	○	○	○	
③観光活動の原動力となる人材の育成と確保を行います	53	観光関係者の意識向上とスキルアップ	◎	◎		○		海の京都DMO	観光地域づくり・人材育成等関係事業	「住んでよし、訪れてよし」の高付加価値を有するブランド観光地づくりに向け、地域住民等と連携した観光誘客・おもてなし・人材育成の向上を図る。 ・海の京都インバウンドセミナー・観光ガイド育成事業 等々	○	○		○	
							観光振興課	観光公社	インナープロモーション事業	・令和元年9月30日、観光公社の活動内容紹介や観光地域づくりに関する講演を内容とした「観光まちづくりセミナー」の開催。有識者による基調講演等を通じ、問題意識を共有し、その解決策を検討。 ・会員向けLINEアカウントによる有益情報の配信、ニュースレターの発行。			○	○	○
	54	U・Iターン促進、雇用環境や雇用条件整備等による人材確保の取組とAI(人工知能)活用の検討	◎	◎	○	◎	商工振興課	地域雇用促進協議会	地域雇用活性化推進事業	ICT、IoT、AI、自動ロボット等を活用し人材不足下での業務効率化の向上やそれらを活用した業務モデルの普及による創業や雇用を創出する。		○	○		
商工振興課							観光公社	厚生労働省地域雇用活性化推進事業	「ICT、IoT活用セミナー」の開催、(令和元年度は3回開催)※2.3回目は新型コロナウイルス感染症の影響により中止)			○	○		
						観光振興課 商工振興課	観光公社	人手不足対策事業	・顕在化する人手不足の喫緊の課題に対応するため、ハローワーク峰山との連携を強化し、「特設相談窓口の開設」や「求人・求職のマッチング」などの支援を行う。 ・民間会社(㈱おてつたび)と観光公社が連携し、「市民生活の安全、安心の確保」と「観光立市と安全、安心な観光地づくり」の両立を発展的、安定的に実現しながら、宿泊施設の深刻な人手不足解消を進める。				○	○	

第3次京丹後市観光振興計画
①「戦略プロジェクト実施調書」

③観光活動の原動力となる人材の育成と確保を行います	55	繁忙期の人手不足を解消するための緊急対策の検討・実施	◎	◎	○	◎	商工振興課	国際交流協会 観光公社	留学生インターンシップ事業	将来の就職先を検討するための就職活動の一環としてインターンシップが重要性を増し、人手不足と呼ばれている中、外国人材の活用も視野に入れた取組みを行う。	○	○			
							商工振興課	観光公社	留学生インターンシップ事業	空き家等を活用したシェアハウス(大学生や外国人留学生のアルバイトやインターンシップの宿泊施設)の設置について検討。		○		○	
							商工振興課	地域雇用促進協議会	地域雇用活性化推進事業	パートタイムや契約社員として従事できる人材(女性、高齢者、障害者等)を雇用できる体制づくりや外国人留学生など多様なニーズに対応した優秀な人材を雇用できる体制づくりを目指す。		○	○	○	
④“京丹後人気質”による「おもてなし」の向上を図ります	57	環境美化、丹後ちりめんの活用、「花いっぱい作戦」など、観光業をはじめ市全体における「おもてなし」の向上	◎	◎	◎	◎	観光振興課	観光公社	顧客満足度向上事業	インナープロモーション事業の一環として、市内宿泊施設を対象に、覆面調査及び京都市内ホテルとのマッチングを進める。(再掲)		○			
							観光振興課	京丹後宿お かみさんの 会	定例会	おかみさんの会では、毎月、定例会を開催し、会員間の情報交換や連携した宿泊サービスなどを企画し、京丹後の魅力をPRするとともに、訪れる人へのおもてなしの向上に努めている。	○	○	○		
⑤公的観光施設の適切な管理・運営により、良好な利用環境を提供します	58	公的観光施設(道の駅、温泉、公園施設など)の適切かつ効率的な維持管理及び運営	○	○		◎	観光振興課	各指定管理施設	体験滞在型観光推進事業・各種施設管理運営事業	来訪者に良好な利用環境を提供し満足いただけるよう、道の駅・温泉施設・指定管理施設・自然公園・海浜等の各施設の維持管理を行った。	○	○	○		
	59	環境変化等に伴う市有観光施設のあり方(新規、見直しなど)の検討				◎	観光振興課	指定管理施設	指定管理施設移譲	風蘭の館の移譲を実施し、民間による活用を行った。	○				
⑥快適・安全・便利に移動できる交通環境やサイン整備を推進します	60	海岸沿いの高速道路をはじめとした交通アクセス、サイン(多言語化含む)、駅周辺等の整備及び災害時の安全確保と情報提供	○	◎		◎	観光振興課	観光公社	観光サイン設置事業	誘導看板やジオサイトの解説看板に英語表記を併記するようにしている。	○	○	○	○	
	61	2次交通等移動、周遊手段(レンタカー、タクシー、レンタサイクル、公共交通空白地有償運送など)の充実、活用	◎	◎		◎	観光振興課	観光公社	2次観光交通の電動バイク・カート	電動バイクや乗用カート、電動サイクルなどを活用した観光型Maas(モビリティ・アズ・ア・サービス)の推進		○	○	○	
							観光振興課	振興局 観光公社	オーシャンロード事業	木製サイクルラックを店舗等に設置。サイクリングコース設定のため試走を実施。R1以降は各事業者によりサイクルツアーの実施を検討。	○	○			

第3次京丹後市観光振興計画
②「エリア別目標・地域別プロジェクト実施調書」

最優先=赤 優先=オレンジ

エリア	目標	地域	地域別プロジェクト	実施年度					実施内容等(令和2年度分)	実施内容等(令和3年度分)	
				H30	H31 R1	R2	R3	R4			
海岸エリア	<p>○ 海の京都の「主たる滞在促進地区」、 「交流地区」として、宿泊、温泉等の魅力に磨きをかけます</p> <p>○ ジオパークに代表される海岸景観や漁港、漁業、豊富な食などの魅力を活用し、ほんまもん体験、まち歩き観光などに展開します</p> <p>○ 歴史・伝説、日本遺産に認定された「丹後ちりめん回廊」の機屋の街並みなどを活かした観光を推進します</p>	網野地域	1	「海の京都」の主たる滞在促進地区※「夕日ヶ浦」における夕日の広場(仮称)など夕日、海、温泉、花の魅力開発・活用と無電柱化※など街並み整備		○	○	○		<p>【観光公社】夕日ヶ浦観光協会(誘客推進委員会)の活動を継続的に支援。令和2年度は、10月17日～11月1日に、「魔法のトキがここに夕日ヶ浦 うみ×まち灯り」を共催し、「浜詰夕日の丘」を中心に、ビーチや街なかのライトアップのほか、ナイトSUPやe-Bikeガイドツアー等の新たな体験コンテンツ開発に向けた実証実験を行った。</p> <p>・網野町支部において制作した「周辺散策イラストマップ」を、網野駅や会員宿等に配架。</p>	<p>【観光公社】・夕日ヶ浦観光協会(誘客推進委員会)の活動を継続的に支援。</p> <p>・網野町支部において制作した「周辺散策イラストマップ」を、網野駅や会員宿等に配架。</p>
					○	○			<p>【観光公社】JR「城崎温泉駅」と京都丹後鉄道「天橋立駅」を乗り換えなしで結ぶ臨時快速列車「城崎・天橋立ダイレクト」の夕日ヶ浦木津温泉駅への継続停車。</p> <p>・令和元年度は7月13日から9月28日までの土日祝日限定運行。</p> <p>・令和2年度は8月22日から同年9月27日までの土日祝日限定運行。</p>		
					○	○	○		<p>【商工会】オリジナルラベルの消毒スプレーの配布でコロナ感染症防止対策事業を支援した。</p>	<p>【商工会】コロナ終息後を目指した誘客動画の作成</p>	
						○			<p>「浜詰 夕日の丘」計画事業を、観光インフラ整備等促進事業補助金により支援した。</p>		
			2	野村克也ベースボールギャラリー※の活用	○	○	○	○	<p>【商工振興課】令和3年3月27日に故野村克也氏の一周忌メモリアル事業として特別展を開催</p>	<p>【商工振興課】令和3年3月27日から令和3年8月31日まで故野村克也氏の一周忌メモリアル事業として特別展を開催、故野村氏とゆかりのある現役監督等からのインタビュー収録、ARを活用した「野村語録」の作成(予定)</p>	
			3	日本遺産認定「丹後ちりめん回廊」を活かした機屋(網野、浅茂川)のまち歩きや八丁浜の海岸散策とシーサイドパーク活用の促進		○	○	○	<p>【観光公社】丹後ちりめんを活用したコンテンツ開発・ツアー商品開発を実施。</p> <p>・令和2年10月25・26日の両日、与謝野町と京丹後市の織物職人を訪ねるプレミアムツアー「シーラ・クリフと巡る丹後ちりめん工房」を実施。神奈川県や愛知県などから女性10名が参加。田勇機業と引き染め職人・小林知久佐さんの2工房を見学。</p> <p>・令和2年12月5日、市国際交流協会とのコラボ企画により、「The Quest for Silk -Tango Chirimen-丹後ちりめん探究ツアー」を網野町内で開催。アメリカやイギリス出身の京丹後在住外国人10人が参加。振り袖姿で街歩きしながら、田勇機業の工場見学や網野神社での正式参拝、アミティ丹後での染色作業を体験。</p> <p>・網野町支部において制作した「周辺散策イラストマップ」を、網野駅や会員宿等に配架。</p> <p>・網野町支部において、レンタサイクルを整備。</p>	<p>【観光公社】・丹後ちりめんを活用したコンテンツ開発・ツアー商品開発を検討。</p> <p>・網野町支部において制作した「周辺散策イラストマップ」を、網野駅や会員宿等に配架。</p> <p>・網野町支部において、レンタサイクルを整備。</p>	
						○	○		<p>【商工会】フォトブックの制作と配布による地域の魅力発信事業を支援</p>		
			4	網野銚子山古墳の整備と歴史・史跡の活用		○	○	○	<p>【文化財保護課】環境整備工事を実施中。令和6年度完成予定。</p>	<p>【文化財保護課】環境整備工事を実施中。令和6年度完成予定。</p>	
			5	漁港(浜詰、浅茂川、三津)を活用した見学、朝市等の実施				○	<p>【商工会】三津・遊の共同資源 海を守るビーチクリーン・観光プロジェクト事業を支援。</p>		
			6	掛津の民宿を中心とした教育旅行の受入促進		○	○	○	<p>【観光公社】令和3年3月18日に行われた京都府観光連盟と京都府商工労働観光室共催の「台湾旅行会社向け京都府教育旅行オンライン商談会」に参加し、台湾の旅行会社19社に向け、ポストコロナを見据えた「もうひとつの京都」のPR及び京丹後の教育旅行素材の販売促進を図った。</p>	<p>【観光公社】・豊田市立下山中学校(愛知県豊田市)の教育旅行を掛津地区において受入れた。</p> <p>・網野高校企画経営科3年生が企画した「AMINO HISTORY」(掛津歴史物語)の絵本製作(日本語版・英語版計720部)を支援。</p>	

<p>海岸エリア</p> <p>○ 海の京都の「主たる滞在促進地区」、「交流地区」として、宿泊、温泉等の魅力に磨きをかけます</p> <p>○ ジオパークに代表される海岸景観や漁港、漁業、豊富な食などの魅力を活用し、ほんまもん体験、まち歩き観光などに展開します</p> <p>○ 歴史・伝説、日本遺産に認定された「丹後ちりめん回廊」の機屋の街並みなどを活かした観光を推進します</p>	丹後地域	7	日本一の鳴砂の浜「琴引浜」のさらなる活用、PR(動画制作など)	○	○	○	○	【文化財保護課】琴引浜の鳴き砂の保全及び保護啓発事業、自然環境学習の援助並びに促進を図る琴引浜鳴き砂文化館の管理運営を実施。	【文化財保護課】琴引浜の鳴き砂の保全及び保護啓発事業、自然環境学習の援助並びに促進を図る琴引浜鳴き砂文化館の管理運営を実施。
		8	浦島太郎、静御前等伝説・伝承の活用	○	○	○	○	【文化財保護課】丹後古代の里資料館、郷土資料館に浦島コーナーを設け、来館者へ浦島伝承を紹介した。	【文化財保護課】丹後古代の里資料館、郷土資料館に浦島コーナーを設け、来館者へ浦島伝承を紹介した。
		新	駅舎内のコインロッカー設置			○	○	網野駅及び夕日ヶ浦木津温泉駅にコインロッカーを設置。網野駅55件、夕日ヶ浦木津温泉駅;60件	網野駅及び夕日ヶ浦木津温泉駅にコインロッカーを設置。
		9	「青の洞窟」「愛の洞窟」※の活用、シーカヤック※など「ジオパーク体験」のさらなる促進		○	○	○	【商工会】新型コロナウイルス感染防止対策による体験サービス提供として感染防止備品の購入を支援。	【商工会】旅育プログラムのDX化による地域ビジネスに繋がるデジタルマップ・パンフレットの作成
					○	○	○	【観光公社】体験ガイドブックと観光公社ホームページ・SNSでPRを実施。	【観光公社】体験ガイドブックと観光公社ホームページ・SNSでPRを実施。
					○	○	○	【丹後市民局】京丹後龍宮プロジェクトが商品化し販売した。	【丹後市民局】京丹後龍宮プロジェクトが商品化し販売した。
		10	間人漁港の競り見学などの観光活用		○	○	○	【海業水産課】令和2年1月に競りを見学できる新しい荷捌き所が完成し、令和2年3月20日に完成記念式典を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。その後についても、当該感染症の影響のため、積極的に荷捌き所の見学を実施していない。	【海業水産課】令和3年度についても、前年度同様、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、積極的に荷捌き所の見学を実施していない。なお、11月6日のズワイガニ漁解禁日の初競り、また、地域の小学校の授業での見学は実施した。
					○	○	○	【観光公社】京都府漁協と連携し、新荷捌き所の「セリ見学体験」の実施を検討。	【観光公社】活イカ流通実証事業において、新荷捌き所内に設置された「活イカ水槽」の見学をモニターツアーの行程に組み入れ、旅行商品化を検討。
		11	港町、ジオサイトを巡るまち歩き、さと歩き、温泉巡りなどの実施		○	○	○	【観光公社】・丹後町支部において、「周辺散策イラストマップ」を3,500枚増刷、道の駅や会員宿等に配架。 ・ジオパークの大自然を活かした旅行商品「京丹後縦断ジオトレイル」を神姫観光(株)(姫路市)とNPO 法人まちづくりサポートセンター、当公社が共同開発。神戸・姫路などから集まった参加者が、1年をかけて全8コースを巡ります。※コロナ禍において未催行。	【観光公社】・丹後町支部において、「周辺散策イラストマップ」を5,000枚増刷、道の駅や会員宿等に配架。 ・ジオパークの大自然を活かした旅行商品「京丹後縦断ジオトレイル」を神姫観光(株)(姫路市)とNPO 法人まちづくりサポートセンター、観光公社が共同開発。神戸・姫路などから集まった参加者が、1年をかけて全8コースを巡りました。
					○	○	○	【丹後市民局】NPOまちづくりサポートセンターがガイドツアーを実施。	【丹後市民局】NPOまちづくりサポートセンターがガイドツアーを実施。
							○		【商工会】間人まち歩きARスタンプラリー企画事業に支援
		12	滞在・周遊促進のための交通、道路整備と公共交通空白地有償運送(ささえ合い交通)の活用促進	○	○	○	○	【観光公社】中浜地区を中心としたヘルスツーリズムを商品化し認証申請を行った。丹後町中浜地区をヘルスツーリズムの実証フィールドに、大手旅行会社「JTB」との連携により『百寿人生のレシピ』体感プログラムを開発。 ・令和2年11月18日、販売に向けてのモニターツアーを11月18日に実施。 ・令和2年12月21日付でヘルスツーリズム認証(同委員会)取得。	【観光公社】ヘルスツーリズム認証を取得した「海の京都『百寿人生のレシピ』体感プログラム」が、京丹後市のふるさと納税の返礼品として、令和3年9月30日から「ふるぽ(ふるさとチョイス)」にて取り扱いを開始。
			○	○	○	【政策企画課】NPO法人「気張る！ふるさと丹後町」の運営により、住民だけでなく観光客の交通手段としても、ウーバーアプリを活用したささえ合い交通の運行を実施し、滞在・周遊促進を図った。	【政策企画課】NPO法人「気張る！ふるさと丹後町」の運営により、住民だけでなく観光客の交通手段としても、ウーバーアプリを活用したささえ合い交通の運行を実施し、滞在・周遊促進を図った。		
					○	【観光公社】ホームページにより周知した。	【観光公社】ホームページにより周知した。		

海岸エリア

<p>○ 海の京都の「主たる滞在促進地区」、「交流地区」として、宿泊、温泉等の魅力に磨きをかけます</p> <p>○ ジオパークに代表される海岸景観や漁港、漁業、豊富な食などの魅力を活用し、ほんまもん体験、まち歩き観光などに展開します</p> <p>○ 歴史・伝説、日本遺産に認定された「丹後ちりめん回廊」の機屋の街並みなどを活かした観光を推進します</p>	丹後地域	13	地域の観光スポットを紹介する電子ガイドブック※、外国人旅行者向けの観光マップの作成、活用	○	○	○	○	【観光公社】ホームページによる周知。観光総合パンフレット「旬めぐり旅京丹後」等の電子書籍化。	【観光公社】ホームページによる周知。観光総合パンフレット「旬めぐり旅京丹後」等の電子書籍化。	
		14	「間人ガニ」の産地として「カニのまち」のさらなる発信				○	○	【観光公社】令和2年11月6日から令和3年3月20日まで実施の「京丹後ふるさと旅行券キャンペーン(冬旅)」のプロモーションとして、訴求力の高い「間人ガニ」を素材にしたポスター及び動画を作成。 ・丹後町支部(宿泊部会)で、新しいメニューやプラン作り、情報発信等を検討。	【観光公社】 ・「ズワイガニ」を素材にした駅広告(デジタルサイネージ広告)を、JR西日本の京阪神主要7駅・12エリア(214面)で、11月1日～7日に展開。 ・「間人ガニ」をメイン素材に、「冬こそ、京丹後。」「京丹後で至福のカニ旅」を訴求メッセージとしたウェブ広告用LPを制作し、冬の京丹後の魅力を訴求し、京丹後への旅行意欲を喚起した。 ・丹後町支部(宿泊部会)で、新しいメニューやプラン作り、情報発信等を検討。 ・公社のオリジナル観光PR商品「お茶レター」(京丹後産緑茶のティーパック商品)のデザインに「ズワイガニ」を採用し、観光客等にPRLした。
							○	○	【海業水産課】「京丹後市で獲れる海産物」をその「旬」の時期に紹介する「海業ブログ」を開設し、新鮮な魚介類の他、観光産業と連携した「地産来消」の取り組みや海を活用した1日漁師体験など海業について情報発信した。	【海業水産課】「京丹後市で獲れる海産物」をその「旬」の時期に紹介する「海業ブログ」を開設し、新鮮な魚介類の他、観光産業と連携した「地産来消」の取り組みや海を活用した1日漁師体験など海業について情報発信した。
		15	大成古墳群周辺の整備及び古代の里資料館、神明山古墳を含む史跡、歴史の活用	○	○	○	○		【文化財保護課】神明山古墳・産土山古墳・高山12号墳等の史跡の維持管理を実施。市ホームページデジタルミュージアム・丹後古代の里資料館での情報発信を実施。	【文化財保護課】神明山古墳・産土山古墳・高山12号墳等の史跡の維持管理を実施。市ホームページデジタルミュージアム・丹後古代の里資料館での情報発信を実施。
							○	○	【丹後市民局】NPOまちづくりサポートセンターがガイドツアーを実施。	【丹後市民局】NPOまちづくりサポートセンターがガイドツアーを実施。
		16	経ヶ岬(灯台)、犬ヶ岬散策道の適切な管理及び活用				○	○	【丹後市民局】新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動を中止。	【丹後市民局】経ヶ岬保存会が経ヶ岬灯台の遊歩道整備を行った。また、同保存会が灯台まつり(一般公開及び露店販売)を開催した。
	久美浜地域	17	かぶと山園地整備と山頂展望台からの絶景の活用及びアクセス道の改良	○	○				新型コロナウイルス感染拡大防止のためかぶと山公園まつり中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のためかぶと山公園まつり中止
		18	久美浜かきのさらなる活用と旬の食材を活かしたランチの促進				○	○	【観光公社】令和2年11月6日から令和3年3月20日まで実施の「京丹後ふるさと旅行券キャンペーン(冬旅)」で、本市の特産品「久美浜かき」を旅行券利用者に特典提供。また、京都府漁協と連携して、「久美浜かき」PRチラシとポスターを作成した。	【観光公社】オンラインショップ「海の京都 旬の京丹後ふるさと便」で取り扱いを開始。
							○	○	【商工会】旅館組合の勉強視察研修を支援した。	【商工会】WITHコロナ・POSTコロナ時代に立ち向う視察研修事業およびセミナー実施
		19	「フルーツ街道(フードトレイル)」としての発信など、フルーツのさらなる活用と発信	○	○	○	○		網野町浜詰から久美浜町にある、果樹直売所を中心とした観光の魅力づくりを創出するため、平成30年度3店舗、令和元年度計5店舗、令和2年度計6店舗の店先等で、旬のフルーツを使ったジュース、スムージー、クレープなどを提供した。	網野町浜詰から久美浜町にある、果樹直売所を中心とした観光の魅力づくりを創出するため、平成30年度3店舗、令和元年度計5店舗、令和2年度計6店舗、令和3年度計6店舗の店先等で、旬のフルーツを使ったジュース、スムージー、クレープなどを提供した。
							○	○	【観光公社】・フルーツ狩り体験のPRにより、大手旅行会社による「フルーツを満喫できる日帰りツアー」の販売が実現した。 ・令和2年9～10月に実施した「京丹後ふるさと旅行券キャンペーン(秋旅)」で、久美浜町産の梨やフルーツスムージーを旅行券利用者に特典提供。	【観光公社】旬のフルーツを中心とした秋食材の魅力を打ち出す構成で、「秋の京丹後」の認知拡大に向けたプロモーションを展開。ウェブ広告用LPの制作や情報紙「リビング京都」への記事掲載。
						○	○	【京丹後市】店舗開設にかかる経費(新規2店舗)と広告宣伝に係る費用を補助した。 FMαステーションにて「フルーツトレイル」をPRLした。	【京丹後市】FMαステーションにて「フルーツトレイル」をPRLした。	

<p>海岸エリア</p> <p>○ 海の京都の「主たる滞在促進地区」、「交流地区」として、宿泊、温泉等の魅力に磨きをかけます</p> <p>○ ジオパークに代表される海岸景観や漁港、漁業、豊富な食などの魅力を活用し、ほんまもん体験、まち歩き観光などに展開します</p> <p>○ 歴史・伝説、日本遺産に認定された「丹後ちりめん回廊」の機屋の街並みなどを活かした観光を推進します</p>	久美浜地域	20	稲葉本家を中心とした久美浜一区の歴史的街並みの保全と活用、久美浜駅再生とまち歩き観光の促進	○	○	○	○	<p>【政策企画課】久美浜駅再生アクションプランによる駅舎工事が平成29年度に完了。平成30年度から駅の多目的ホールで喫茶営業を開始している。新型コロナウイルス感染症の影響により営業自粛等もあり、営業日は限られてしまったが、駅の賑わいづくりと利便性の向上を図った。</p>	<p>【政策企画課】久美浜駅再生アクションプランによる駅舎工事が平成29年度に完了。平成30年度から駅の多目的ホールで喫茶営業を開始している。新型コロナウイルス感染症の影響により営業自粛等もあり、営業日は限られてしまったが、駅の賑わいづくりと利便性の向上を図った。</p>		
							○	○	<p>【観光公社】久美浜町支部において、「周辺散策イラストマップ」を10,000枚増刷、会員宿等に配架。</p>	<p>【観光公社】久美浜町支部において、「周辺散策イラストマップ」を10,000枚作成、会員宿等に配架。</p>	
		21	久美浜湾岸沿い、かぶと山等への桜や花の魅力づくり					○			
		22	トウテイラン、ユウスゲなど丹後砂丘の貴重な海浜植物の保全・保護	○							
		23	久美浜湾、ロングビーチ(小天橋～箱石、函石浜遺跡)、蒲井・旭海岸等を活用した体験、ジオ・アクティビティ(ジオカヌーなど)、遊覧船等の促進	○	○	○	○		<p>【観光公社】・体験ガイドブックと観光公社ホームページ・SNSでPRを実施した。・久美浜町支部においてレンタサイクル事業を実施。</p>	<p>【観光公社】・体験ガイドブックと観光公社ホームページ・SNSでPRを実施した。・久美浜町支部においてレンタサイクル事業を実施。</p>	
				○	○	○	○		<p>【生涯学習課】 ・ワールドマスターズゲームズ2021関西に向けたプレ大会にてカヌーマラソン競技を初めて実施した。 ・久美浜湾カヌーセンターの改築工事に着手した(令和2年度末完成)。 ・夏休み子ども体験教室でカヌー体験を行った。</p>	<p>【生涯学習課】 ・ワールドマスターズゲームズ2021関西に向けたプレ大会及びレガシー大会としてSUP大会の開催とSUP無料体験会を行った。引き続き大会の広報及び機運醸成に務めた。 ・久美浜湾カヌーセンターの運用を実施し、パンフレットの作成など活用に務めた。</p>	
		24	湊宮での漁港活用とまち歩き観光の推進及び教育旅行の受入促進					○	○	<p>【観光公社】・小天橋エリアにおける「ピチピチにぎり寿司体験」の実施に向け、地元漁業団体とともに検討を進めている。 ・久美浜町支部において、「周辺散策イラストマップ」を10,000枚増刷、会員宿等に配架。</p>	<p>【観光公社】・小天橋エリアにおける「ピチピチにぎり寿司体験」の実施に向け、地元漁業団体とともに検討を進めている。小天橋エリアの民宿街における「オイスターバル」の実施について関係者と調整中。 ・久美浜町支部において、「周辺散策イラストマップ」を10,000枚作成、会員宿等に配架。</p>
		25	民間施設(美術館、観光農園、温泉等)の活用と連携促進					○	○		<p>【観光公社】(株)日本旅行と連携し、バスツアー「丹後みどころエクスプレス」における現地体験プログラム(「和久傳ノ森」の見学)を手配。</p>
新	東京2020オリンピック・パラリンピック及びワールドマスターズゲームズ2021関西に向けた競技環境の整備					○	○	○	<p>【生涯学習課】(R2) ・東京2020オリンピック(2021年実施)のホストタウン事業として、スペイン及びポルトガルカヌー代表チームの事前合宿受け入れ準備(調整等)を行った。(令和3年7月) ・ワールドマスターズゲームズ2021関西に向けたプレ大会を開催し、大会・競技運営、新型コロナウイルス感染症対策などのテストを行った。また、ホームページ、各種SNSを立ち上げ、大会の周知・機運醸成を図った。 ・久美浜湾カヌーセンターの改築工事に着手した(令和2年度末完成)。</p>	<p>【生涯学習課】(R3) ・東京2020オリンピックのホストタウン事業として、スペイン及びポルトガルカヌー代表チームの事前合宿受け入れを行った。(令和3年7月) ・ワールドマスターズゲームズ2021関西に向けたプレ大会及びレガシー大会としてSUP大会の開催とSUP無料体験会を行った。引き続き大会の広報及び機運醸成に務めた。 ・4月久美浜湾カヌーセンターの供用を開始。 本年度も、ワールドマスターズゲームズプレ大会などカヌーセンターを会場とした、全国大会を誘致。 ・センターの利用や体験用カヌーの貸出、備品整備など、スポーツと観光を連携させたアクティビティの拠点としての整備を行った。</p>	

第3次京丹後市観光振興計画

②「戦略プロジェクト(エリア別目標・地域別プロジェクト)実施調書」

最優先=赤 優先=オレンジ

エリア	目標	地域	地域別プロジェクト	実施年度					実施内容等(令和2年度分)	実施内容等(令和3年度分)
				H30	H31 R1	R2	R3	R4		
里山エリア	<p>○ 日本遺産認定「丹後ちりめん回廊」の織物業、「ハイテクランド」を構成する機械金属業を活かした産業観光、まち歩きの整備などを進めます</p> <p>○ 京丹後市の南玄関口としてのおもてなし機能を充実させ、観光客をあたたく迎えます</p> <p>○ 農業を活用した体験、山林での自然体験、花、山野草の魅力を活かした観光に取り組みます</p>	峰山地域	26	日本遺産認定「丹後ちりめん回廊」(織物業)を活かしたまち歩き観光、産業観光の推進		○	○	○	【観光公社】与謝野町観光協会との連携により、日本遺産認定「丹後ちりめん回廊」を紹介するパンフレットを改訂。電子書籍化。	【観光公社】(株)日本旅行と連携し、バスツアー「丹後みどころエクスプレス」における現地体験プログラム(金刀比羅神社「こまねこ絵付け体験」)を手配。
					○	○	○		【商工会】手織の準備工程の習得研修会事業(整経から織掛けまで)支援	
					○	○	○	【峰山市民局】市役所付近の「井衾(イネ)の尻橋」の親柱に、ちりめん及び機械金属の作品を継続して展示し、まち歩き場を創設した。	【峰山市民局】市役所付近の「井衾(イネ)の尻橋」の親柱に、ちりめん及び機械金属の作品を継続して展示し、まち歩き場を創設した。	
			27	金刀比羅神社「狛猫」を核としたねこプロジェクトの推進	○	○	○	○	【こまねこまつり実行委員会】こまねこまつり2020を9月に開催。【観光公社】体験ガイドブックと観光公社ホームページ・SNSでPRを実施した。	【こまねこまつり実行委員会】こまねこまつり2021を10月に開催。【観光公社】体験ガイドブックと観光公社ホームページ・SNSでPRを実施した。
			28	羽衣天女伝説、月の輪田(稲作発祥伝説)、赤坂今井墳墓の活用	○	○	○	○	【文化財保護課】赤坂今井墳墓の維持管理を実施。市ホームページデジタルミュージアム・丹後古代の里資料館での情報発信を実施。	【文化財保護課】赤坂今井墳墓の維持管理を実施。市ホームページデジタルミュージアム・丹後古代の里資料館での情報発信を実施。
		29	機械金属業に関連した産業観光の促進		○	○	○		【月の輪田保存会】保存会の取組みとして、田植え・稲刈りなどを実施。 【五箇プロジェクト】五箇地域の活性化を図る取組みとして「五箇朝市」を開催。	【月の輪田保存会】保存会の取組みとして、田植え・稲刈りなどを実施。 【五箇プロジェクト】五箇地域の活性化を図る取組みとして「五箇朝市」を開催。
		30	京丹後の南玄関口での花、ライトアップ等の環境整備	○	○	○	○	【観光公社】大宮町支部が、大宮ロードパーク周辺の環境整備や織物ホールのライトアップ事業を実施。	【観光公社】大宮町支部が、大宮ロードパーク周辺の環境整備や織物ホールのライトアップ事業を実施。	
		31	温泉、自然とのふれあい、農業を活用した体験、農家民泊等の提供		○	○				
		大宮地域	32	内山ブナ林などを活用したノルディックウォーク※の推進		○	○	○	【生活環境課】地域の環境資源を再発見し、自然環境の保全意識の醸成等を図るため内山ブナ林観察会を実施した。(令和元年度)開催日:11月4日 参加人数:32人(令和2年度)開催日:11月1日 参加人数:42人	【生活環境課】地域の環境資源を再発見し、自然環境の保全意識の醸成等を図るため内山ブナ林観察会を実施した。(令和2年度)開催日:11月1日 参加人数:42人(令和3年度)開催日:10月31日 参加人数:38人
						○			【生涯学習課】内山ブナ林などでの「ノルディックウォーキング体験会」は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により未実施(令和2年度)。	【生涯学習課】内山ブナ林などでの「ノルディックウォーキング体験会」は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により未実施(令和3年度)。
	33	小野小町ゆかりの地の活用	○	○	○	○	小町公園のイベント展望ゾーンの回廊補修を実施した。平安時代の歌人・野小町が生涯を終えた地であることちなみ「愛」をテーマとした短歌を募集し「小町ろまん全国短歌大会」を開催。	平安時代の歌人・野小町が生涯を終えた地であることちなみ「愛」をテーマとした短歌を募集し「小町ろまん全国短歌大会」を開催。		

里山エリア	○ 日本遺産認定「丹後ちりめん回廊」の織物業、「ハイテクランド」を構成する機械金属業を活かした産業観光、まち歩きを整備などを進めます ○ 京丹後市の南玄関口としてのおもてなし機能を充実させ、観光客をあたたく迎えます ○ 農業を活用した体験、山林での自然体験、花、山野草の魅力を活かした観光に取り組みます	弥栄地域	34	丹後王国「食のみやこ」での食、花、山野草の魅力発信及び市内の観光施設間の連携促進	○	○						
			35	野間地域(野間川渓谷)の自然を活用した体験、農家民泊や食の提供		○	○	○			【観光公社】弥栄町野間エリアの自然、文化、暮らしを巡るe-Bikeによるサイクリングツアーを造成。	【観光公社】“京丹後流ヘルスツーリズム”の確立に向けた実証事業(観光庁委託事業)を実施。ヘルスツーリズム認証を受けた「京丹後百寿レシピ体感プログラム」を核に、弥栄町野間エリアにおける森、川、海の自然遊び、里山体験、地元名人による自然体験を旅程に加えたツアー商品化に取り組んだ。
			36	森林公園スイス村の芝桜、水辺公園の環境整備、丹後弥栄道路の桜並木など、花のおもてなし	○	○	○			スイス村芝桜:コロナの感染拡大防止のため、イベントの実施を見送った。	スイス村芝桜:4月から指定管理者が変わり、芝桜の観光誘客は行わなくなった。株数が減少し、見どころといえる状況ではない。	
			37	細川ガラシャゆかりの地の活用			○	○	○		【観光公社】・「麒麟が来る」ゆかりの地の情報発信を行うアプリ「明智光秀AI」事業へ参加した。 ・大河ドラマ「麒麟が来る」ゆかりの地を活かした誘客につなげるため、声掛け(現地案内含む)業務、ニーズ聞き取り業務、写真撮影業務、施設点検業務を地元・弥栄町味土野区に委託。 ・弥栄町支部が、PRのぼり旗を味土野までの道中に設置。峰山高校弥栄分校の生徒とトウテイラン等のプランターを「ガラシャ城跡」(女城跡)ほかに配置。	【観光公社】大河ドラマ「麒麟が来る」ゆかりの地を活かした誘客につなげるため、声掛け(現地案内含む)業務、ニーズ聞き取り業務、写真撮影業務、施設点検業務を地元・弥栄町味土野区に委託。 ・弥栄町支部が、PRのぼり旗を味土野までの道中に設置。峰山高校弥栄分校の生徒とトウテイラン等のプランターを「ガラシャ城跡」(女城跡)ほかに配置。
38	遠所遺跡、奈具岡遺跡、黒部銚子山古墳等の活用	○	○	○	○			【文化財保護課】遠所遺跡、黒部銚子山古墳の維持管理を実施。市ホームページデジタルミュージアム・丹後古代の里資料館での情報発信を実施。	【文化財保護課】遠所遺跡、黒部銚子山古墳の維持管理を実施。市ホームページデジタルミュージアム・丹後古代の里資料館での情報発信を実施。			

③withコロナ、afterコロナを見据えたディスカッションの概要

開催：令和4年2月22日（火）

坂上会長からテーマ提示	
①	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナにおいて産業的に発展した企業がたくさんある。デジタル化に前向きに進んでいる所は収益が上がっており、その点をこれからどう考えていくか。国では、マース（MaaS）など、途切れのない移動をスムーズに情報提供しながら、活動・体験を結びつけていく動きもあり、デジタル化の軸にしていく必要があるのではないか。 ・観光業では、量から質への転換が求められており、団体とかグループよりも心の満足度をいかに上げるかということで、宿のリニューアルに取り組まれたところもある。同時にコロナにおいて人材確保の問題が表面化している。 ・2025年の大阪万博の人の流れをどう京丹後に誘客するか。万博テーマ「いのち輝く未来をデザインする」は、ヘルスツーリズム等、京丹後が持っているものとぴったりと合う。広域連合、関西全体としてのPR館の展開と連携が重要。 ・文化庁が本格移転し京都に来るので、文化をどのように観光と結びつけていくか。
委員からの主な意見	
②	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設には温泉もあり、最近、かなり良くなってきているが、宿泊施設を目的に来られ、そのまま帰ってしまうという傾向が強い。いかに安全・安心を確保しながら宿泊のあとの周遊につなげるかが重要。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・夕日ヶ浦も観光の拠点にはなっておらず、カニを食べにくるだけの場所になっている。いかにそれを脱却し、長期滞在をしてもらうために何をどう目指すか、夕日ヶ浦観光協会では議論している。
④	<ul style="list-style-type: none"> ・おかみさんの会では、お宿同士が意見交流も含め助け合いながら、京丹後のファンをつくるような方法を検討したり、地域が元気になるような広報活動を行っている。それぞれのエリアが特徴あるおもてなしや新しいプラン、新商品を開発することが必要。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・ジオパークのガイドを通じて、太平洋側のガイドは津波等の対策も視野に入れていることを聞いた。安心安全対策はしているが、防災面の強化も必要ではないか。 ・教育旅行において、中学校ではデジタル化の対応をしている。京丹後の学校現場もデジタル化の対応ができているのか気になった。
⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・旅館は、コロナの影響に加え、カニの高騰もあり苦労している。久美浜湾周辺に来られるお客さんは、魚釣り等家族で遊ぶような場面をよく見る。京阪神からも近く、コロナが収束すれば、今まで以上に発展成功する要素がある。 ・GOTOトラベル等の補助制度は、手続きがややこしくて年寄りには難しい。高齢者にも、わかりやすい制度にしてほしい。

⑦	<ul style="list-style-type: none"> 京丹後には、グリーンベルトなどいいものがたくさんある。いかにアクセスしてもらい「行きたい」と思わせるかが重要。来た人がSNSでいいねと評価してくれれば、自分も行ってみようかとなる。そのあたりをいかに発信するか。地元の人にも案外知らない良さを、コロナ禍というお客さんが少ない時に地元の人に特典等で泊ってもらい、発信してもらうことも大切。来られた方の感動を活用すべき。
⑧	<ul style="list-style-type: none"> 「漁師体験」は、漁師が減っていることを逆手に取った取組。マイナスをプラスに転換することは、よそにないものを生み出すことにもつながる。どんな業種も発想の転換が必要。素潜り体験は、今後は6月中旬頃から実施したい。
⑨	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通では、観光分野においては未だ半分以下の集客状況。特に団体は深刻であり、個人客を作っていくことが重要。また、人手不足は非常に厳しい。高齢化も雪中での運転手確保が難しく、しっかり地元で募集していくことが必要。
⑩	<ul style="list-style-type: none"> 京丹後を訪れた観光客に、魅力ある商品を提供すること。ファンづくりにつながる商品開発をするうえでも、信頼できる食品表示等、安全安心を意識しながら取り組んでいきたい。多種多様な観光事業とも協力連携しながらSDGsも意識しながら取り組みたい。
⑪	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で少人数の旅を支えていかないといけない。昔のような密になるような旅ではなく、ゆったりと少人数でも楽しめる宿泊施設でありたい。そういう中で少しでも付加価値をつけていく必要性を感じている。
⑫	<ul style="list-style-type: none"> まだまだ丹後の織物は認知度が低い。観光客が増えることで、丹後ちりめんの認知度も上がってくると思っている。コロナが収束したら、工場見学も再開し産業観光でPRをしていきたいし、丹後に来たら高品質のものが買えるという地域にしていきたい。観光事業者の皆さんとともに発展していけたらと思っている。
⑬	<ul style="list-style-type: none"> コロナで鉄道利用客が減っている。4月以降、コロナの収束を期待して、特急利用の促進、フリー切符等、誘客のためのダイヤ改正を考えている。ガストロツーリズム、食べ歩きなどの企画、アニメがらみの新しいコンテンツも考えたい。また、文化財を活用する旅行商品や交通がらみのものも力を入れたい。丹後地域全体に、mobi、MaaSを横展開し、鉄道というよりグループ会社で移動の総量だったり、二次交通だったり、あと誘客という視点で貢献していきたい。
⑭	<ul style="list-style-type: none"> 府では、蔓延防止のため、関係事業者に様々な制約をお願いしている。飲食店時短要請や営業自粛等への協力金の申請をお忘れなく。一定終息したら「京都魅力再発見プロジェクト」を再開するので、積極的に活用していただきたい。 「府内学生就職促進事業」で中長期に学生インターンシップを受入れる事業予算も組んでいる。人手不足対策としてぜひ活用を。
⑮	<ul style="list-style-type: none"> DMOとして、デジタルマーケティングに力を入れていきたい。いかに効率的に情報を伝えるかというところが大切であり、セグメント分析をやっていかななくてはならないと考えている。 インバウンドは、平日対応、閑散期対応として非常に重要。再開に向けた準備として事業者対象のセミナーを開催している。当面、東アジア、その後は欧米豪もお迎えできるような環境づくりをやっていきたい

④withコロナ、afterコロナを見据えたディスカッションから見える課題等（まとめ）

【観光推進体制について】

1. 情報発信・収集

- ① 訪れた方の「満足」を発信するプロモーションが有効。そのためには、地元の人にも京丹後の魅力を再認識してもらうことが重要。
- ② SNSの活用やマース（MaaS）など、デジタルの活用がコロナ禍での観光収益向上につながる。

2. 販売促進

- ①エリアごとのおもてなし、新しいプランや新商品の積極的な開発が必要。
- ②宿そのものが旅の目的ではなく、宿を出た後の周遊こそが長期滞在につながり、結果として宿の稼働率向上ももたらす。

【当面必要となる誘客促進】

1. 大阪万博の人の流れをつかむこと。ヘルスツーリズム等、量より質の価値がある京丹後のコンテンツは万博テーマにも合う。
2. 文化を生かした観光商品づくりが重要。

【その他】

1. これからの観光に安全安心は必須。防災面でも対策強化する必要がある。
2. 学校現場をデジタル化は、将来の各種産業の振興の可能性につながる。
3. コロナをマイナスとして終わらせず、プラスに転換して発想すれば、他にない新たな価値を生み出すことにつながる。
4. 織物業と観光業は相関性がある。産業観光の促進で、観光客増と高品質なちりめんが売れる地域の両立が期待できる。
5. コロナの収束を具体的に意識した取り組みが必要。